

平成26年度

上田市上下水道事業年鑑



上田市上下水道局

目 次

上下水道局の概要

1 経営戦略	
(1) 上田市上水道ビジョン	3
(2) 平成 25 年度の重点目標とその実績	5
(3) 平成 26 年度の重点目標	9
(4) 組織	13
2 事業の状況	
(1) 事業計画及び事業区域	18
(2) 料金及び使用料等の状況	22

水道事業編

1 事業の概要	
(1) 事業の沿革	27
(2) 事業のあゆみ	28
(3) 事業計画	32
2 財政の状況	
(1) 収益的収支及び損益勘定留保資金の推移	34
(2) 資本的収支及び補てん財源の推移	35
(3) 財務諸表の推移	36
(4) 資金の推移	39
(5) 費用構成の推移	40
(6) 固定資産の推移	41
(7) 企業債残高の推移	42
(8) 繰入金の推移	42
(9) 経営分析	43

3 業務の状況

(1) 業務量	45
(2) 給水人口の推移	45
(3) 加入金の状況	46
(4) 収納状況の推移	46
(5) 水道料金の納付方法の推移	46
(6) 口径別有収水量・調定件数調定額	47
(7) 用途別有収水量・調定件数・調定額	48
(8) 公衆浴場組合補助金の状況	48
(9) 県営水道料金差額補助金の状況	48

4 施設の現況

(1) 水源（水利権等の許可状況）	49
(2) 取水施設	50
(3) 浄水施設	51
(4) 配水池・ポンプ施設	53
(5) 管路延長等の状況	55
(6) 配水量の推移	58
(7) 平成25年度の水質	59
(8) 電力使用量の推移	62
(9) 薬品使用量の推移	63

公共下水道事業編

1 事業の概要

(1) 事業の沿革	67
(2) 事業のあゆみ	67
(3) 事業計画	76

2 財政の状況

(1) 収益的収支及び損益勘定留保資金の推移	79
(2) 資本的収支及び補てん財源の推移	80
(3) 財務諸表の推移	81

(4) 資金の推移	84
(5) 費用構成の推移	85
(6) 固定資産の推移	86
(7) 企業債残高の推移	87
(8) 繰入金の推移	87
(9) 経営分析	88
3 業務の状況	
(1) 業務量	91
(2) 水洗化人口の推移	92
(3) 処理可能面積の推移	92
(4) 受益者負担金・分担金の状況	93
(5) 収納状況の推移	93
(6) 下水道使用料の納付方法	93
(7) 下水道排水設備資金融資利子補給制度	94
4 施設の状況	
(1) 処理場の状況	95
(2) ポンプ場の状況	104
(3) 管渠延長等の状況	106
(4) 処理水量の推移	117
(5) 水質検査結果	118
(6) 電力（動力）使用量の推移	120
(7) 薬品使用量の推移	121

農業集落排水事業編

1 事業の概要	
(1) 事業の沿革	125
(2) 事業のあゆみ	125
(3) 事業計画	130
2 財政の状況	
(1) 収益的収支及び損益勘定留保資金の推移	133

(2)	資本的収支及び補てん財源の推移	134
(3)	財務諸表の推移	135
(4)	資金の推移	138
(5)	費用構成の推移	139
(6)	固定資産の推移	140
(7)	企業債残高の推移	141
(8)	繰入金の推移	141
(9)	経営分析	142
3	業務の状況	
(1)	業務量	145
(2)	水洗化人口の推移	146
(3)	加入金の状況	147
(4)	収納状況の推移	147
(5)	農集排使用料の納付方法	147
4	農業集落排水施設の状況	
(1)	処理場の状況	148
(2)	管渠延長等の状況	149
(3)	処理水量の推移	151
(4)	電力（動力）量の推移	152

付録

1	長野県内の上下水道料金比較	
(1)	県内 19 市等上下水道料金一覧表	157
(2)	長野県内の水道使用量別料金比較	158
(3)	長野県内の公共下水道使用量別使用料比較	160
(4)	長野県内の農業集落排水使用量別使用料比較	162
2	県内上下水道事業体の経営の状況	
(1)	水道事業	164

(2) 公共下水道事業	166
(3) 農業集落排水事業	168

3 上下水道指定工事店の状況

(1) 指定工事事業者の推移	170
(2) 指定工事事業者指定基準	170

上下水道局の概要

1. 経営戦略

平成 21 年度から平成 30 年度を計画期間とする「上田市上水道ビジョン」に則り、適正で計画的な経営を行っていきます。

(1) 上田市上水道ビジョン

ア 安全で安心なおいしい水の安定供給

(ア) 安心で良質な水源の確保

- ① 菅平、四阿湧水群、武石地域湧水の有効活用
- ② 湧水水源の水質監視強化
- ③ クリプト対策施設の検討、水源の森や河川清掃の実施

(イ) 安全でおいしい水の供給

- ① 水質管理の徹底と水安全計画の策定
- ② 浄水水質監視とおいしい水の管理
- ③ 貯水槽水道の管理指導

(ウ) 信頼される水道の構築

- ① 導水、送水系統の相互融通、緊急連絡管の設置
- ② 水質検査計画及び結果の公表
- ③ 送配水管路網の統合と配水ブロックの再編

イ 災害に強い施設づくりの推進

(ア) 災害に備えた安定給水の確保

- ① 耐震適合性の評価と計画的耐震化の実施
- ② 施設の適正配置計画による自然流下配水区域の拡大
- ③ 隣接水道事業者との緊急連絡管、二系統受水によるバックアップ管路の計画

(イ) 迅速な応急対策と復旧

- ① 配水ブロック再構築による減断水の即時復旧体制
- ② 給水拠点への応急給水設備の設置
- ③ 危機管理マニュアルの整備、防災訓練の実施

(ウ) 老朽施設の計画的更新

- ① 鉛製管、石綿セメント管早期解消のための布設替え計画の策定
- ② 施設の機能評価に基づく更新計画、財政計画の策定
- ③ アセットマネジメントの導入による維持補修計画の策定

ウ 安定した経営基盤の確立

(ア) 企業マインドによる健全経営

- ① 企業経営の認識を高め、収入増と経費削減の取組
- ② IT化による効率的組織機構への改革
- ③ 水道事業ガイドラインの業務指標による事業管理の推進

(イ) 業務体制の強化と効率化

- ① 4地域の水源、浄水場、送配水施設監視システムの一元化
- ② 上水道、簡易水道事業の統合と管路情報システムの構築
- ③ 水運用支援、管路網解析分析支援、保全管理システムの導入

(ウ) 親しみある開かれた水道

- ① 利用者ニーズに合った窓口サービスの充実
- ② 収納サービスの多元化による収納率の向上
- ③ 水質の安全、給水の安定、適正な費用負担についての総合施策
- ④ 耐震化や改築更新等に必要な負担等についての情報提供

エ 環境にやさしいエネルギー対策の貢献

(ア) 省エネルギー対策

- ① 施設の最適配置や水運用による消費電力、薬品等の節減
- ② 有収率改善事業、老朽管更新等によるエネルギー損失の低減

(イ) エコプロジェクトの推進

- ① 二酸化炭素軽減のため、小水力発電の推進
- ② ISO14001の継続実施によるCO₂の削減

(ウ) 資源の循環、地域への還元

- ① 浄水汚泥の減量と建設廃材のリサイクル
- ② 浄水汚泥の100%有効活用（緑地、農地利用）の推進

上下水道局

重点目標

- 1 災害に備えた施設・組織づくり
- 2 経営効率化の推進
- 3 上水道事業と簡易水道事業の統合、安全でおいしい水の安定供給
- 4 快適で持続可能な水環境の創造と資源の地域循環の推進
- 5 長野県企業局との連携による塩田、川西地区の県営水道の統合推進

平成25年度 重点目標管理シート

重点目標	災害に備えた施設・組織づくり		部局名	上下水道局	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する			市長マニフェスト における位置付け	IV-1-(2)	
現状・課題	上下水道は、ガス、電気と並び市民の安全で清潔かつ快適な生活環境の確保のために必要不可欠なライフラインであり、一日たりとも休むことのできない重要な施設です。特に上下水道施設は現在も創設当時（大正8年）のものが残存していることから、計画的な更新が必要であり、東日本大震災や阪神淡路大震災を初めとする未曾有の大規模地震が発生していることから、施設の耐震化についても進める必要があります。また、いつ、どこで発生するかわからない大災害に対処し、ライフライン機能の確保と迅速な復旧活動を行うために、危機管理マニュアルを見直すとともに、想定訓練の実施や技術力の向上により、緊急対応力を高める必要があります。					
目的・効果	上下水道施設の更新、耐震化を行うことにより、大規模災害はもちろんのこと、日常の管破損などの緊急事故の減少が期待できます。危機管理マニュアルの見直し、想定訓練の実施などによって、各事故事象に合った迅速な対応をできるようにすることで、復旧時間の短縮が期待できます。					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○上下水道基幹施設・管路耐震化 ①老朽管の布設替 ②管路の耐震化	①4月～3月 ②4月～3月	①L=2.0km ②L=3.3km	①L=1.0km発注 ②L=2.2km発注	①L=2.6km完成 ②L=3.7km完成（うち基幹管路 L=0.533km）	
②	○上下水道緊急連絡管整備 長中央給水と本原給水の緊急連絡管整備	4月～3月	L=0.6km	整備計画について検討中	真田長地区の簡易水道統合（土屋水汲の活用）を優先して進めていくことに変更	
③	○災害時に対応できる技術者育成 ①技術伝承研修会の実施 ②作業主任資格の取得（クレーン・玉掛）	①4月～3月 ②3月	①年間4回 ②2名取得	①6回開催（給水車配管、管経手、非常用備品、浄水器等） ②移動式クレーンは1名、玉掛けは2名取得	①6回開催（給水車配管、管経手、非常用備品、浄水器等） ②玉掛は3名、移動式クレーンは2名、床立式クレーンは3名取得	
④	○災害発生時のバックアップ体制の検討 ①危機管理マニュアルの見直し ア 管路破損、赤水、停電等 イ 下水道BCPの策定 ②緊急時対応車両整備	①4月～3月 ②9月	①マニュアル作成 イ 4地域のマンホールポンプの状況調査 ②加圧給水車購入	①ア 作成中 イ 災害時の早期復旧に対応するため、4地域（上田・丸子・真田・武石）のマンホールポンプの状況調査を行い、台帳を整備 ②加圧給水車発注（納期12月）	①ア 3月作成 イ 4地域のマンホールポンプ台帳を作成 ②加圧給水車導入（12月）	
⑤	○想定訓練の実施 ①日常訓練（管破損、漏れ検出等） ②災害時訓練（広範囲災害訓練、停電、給水停止等） ③防災訓練	①上半期 ②下半期 ③防災訓練日	①1回 ②1回 ③1回	① 防災機器操作訓練1回実施 ② 防災訓練にあわせて広範囲災害訓練、携帯用発電機操作訓練、給水訓練を実施 ③ 8月31日防災訓練、9月8日緑馬区震災訓練に参加	① 防災機器操作訓練1回実施 ② 防災訓練にあわせて広範囲災害訓練、携帯用発電機操作訓練、給水訓練を実施 ③ 8月31日防災訓練、9月8日緑馬区震災訓練に参加	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		○取組による効果・残された課題 ・管路の耐震化を促進しました。 ・マニュアル・給水車の整備を行うとともに職員に対し防災機器の取り扱いを周知し、実戦的な訓練を行い、災害発生時に備えて迅速に対応できるようにしました。			

平成25年度 重点目標管理シート

重点目標	経営効率化の推進		部局名	上下水道局	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する			市長マニフェスト における位置付け	IV-1-(2)	
現状・課題	人口減少社会が到来し、地域経済活動も縮小していく中で、料金収入は減少傾向で推移していくことが想定されます。その一方で、老朽化していく施設、設備の更新のほか、耐震化など災害に備えた施設づくりにも取り組む必要があります。そのため、平成24年度に経営方針を決定し今後10年間の財務計画に基づく事業計画を策定しました。今後、この計画に基づき収支バランスのとれた計画的な事業展開に取り組み経営の効率化を推進していくことが求められています。					
目的・効果	策定した事業計画を毎年ローリングし、社会経済情勢に応じた収支バランスのとれた事業展開と予算編成を行っていきます。経営の効率化を推進し、上下水道料金の水準を維持する中で経営の健全性を確保していきます。財務計画との整合を図る中で、公共上下水道施設の長寿命化計画を策定していくことにより、大規模な支出の抑制や支出の平準化を図り、健全な企業経営を行います。					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○経営方針に基づく事業計画の推進 ①策定した事業計画のローリングを行い、それに基き平成26年度予算編成をより安定的な経営管理を実施する。 ②事業改善の「見える化」の推進	①4月～3月 ②4月～3月	①事業計画のローリング実施及び平成26年度予算への反映 ②プロジェクトチームの構成 事業改善計画を策定し「見える化」を推進	①昨年策定した平成25年度から10年間の事業計画についてローリングを行い、平成26年度からの事業計画を10年を目標に策定するように説明会を9月に開催 ②業務改善項目と改善計画を策定し、担当する所管課とプロジェクトチームを決定。各項目について方針（案）を検討中	①10年間の財務計画と事業計画のローリングを行い、事業を平準化することで平成26年度当初予算を編成 ②48の業務改善項目について検討し、43項目について検討結果（改善案等）をまとめ、電気料の節減など可能なものから一部実施。5項目については継続して検討	
②	○下水道施設の長寿命化計画の策定	4月～8月	財務計画及び事業計画との整合を図る中で第1次5ヶ年整備計画を策定	財政計画及び事業計画と整合を図り第1次5ヶ年整備計画（案）を策定	第1次5ヶ年整備計画（長寿命化計画）を国に提出し事業の同意取得	
③	○取納率の向上 ①水道料金・下水道使用料（現年度分） ②下水道負担金・分担金（現年度分） ・現年度分取納率の向上	①3月 ②3月	①取納率 99%台 ②取納率 96%以上	①97.19%（8月31日現在） ②60.81%（9月30日現在）	①98.59%（3月末現在） ②93.13%（3月末現在）	
④	○経営改革の取組 ①広告掲載事業の検討 ②料金等徴収業務の包括的民間委託の推進 ③浄水場施設維持管理業務の民間委託の検討 ④終末処理場の包括委託手法の検討	①4月～3月 ②4月～3月 ③4月～3月 ④4月～3月	①方針の決定 ②方針の決定 ③方針の決定 ④方針の決定	①県内18市1企業団水道事業者の状況を確認。広告掲載取扱要綱（案）の作成に係る市内調整会議に出席 ②プロジェクトチームを編成し、チームで会議を6回開催し委任年度、業務内容、局内体制等について方針（案）を検討中。先進地視察（長野市上下水道局） ③管理のあり方・委託できる業務・職員体制等について方針（案）を検討中。先進地視察（長野県企業局諏訪形浄水場） ④民間委託の方法について方針（案）を決定	①費用に見合う効果が期待できないため、実施を見合わせ ②委任年度、業務内容、局内体制等について方針（案）を策定 ③民間委託に向け先進地視察を実施。業務の中で委託可能な部分について総合的に検討中 ④終末処理場の包括委託手法について方針（案）を策定	
⑤	○公営企業会計の抜本的改正に伴う対応 公営企業会計の抜本的改正が平成26年度予算から導入されるための対応を適切に実施	4月～3月	平成26年度予算から適用	公営企業会計の抜本的改正に対応できるよう準備作業中9月議会全員協議会で改正の概要を説明	12月議会で開催する議案を上げ、3月議会で新会計基準に基づく平成26年度当初予算案を上げ、いずれも可決	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		○取組による効果・残された課題 ・長寿命化計画について、国の同意を得たことから国の補助を得ながら下水道施設を更新していけるようになりました。 ・浄水場の民間委託については、安心安全な水の供給を持続的に進めている体制のあり方を議論する中で方針（案）を策定していく必要があります。			

平成25年度 重点目標管理シート

重点目標	上水道事業と簡易水道事業の統合、安全でおいしい水の安定供給		部局名	上下水道局	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する			市長マニフェスト における位置付け	IV-1-(2)	
現況・課題	上水道事業は、上水道3、簡易水道12の合計15事業で運営されていますが、これらの水源は河川の表流水、ダム水、地下水や湧水などで28箇所にとんでいます。この中で、簡易水道の湧水水源の中には、降雨時における水質が不安定となるものがあり、安全な水の供給について特に注意していく必要があります。一方で、真田地区には水質が安定し、水量も豊富な湧水があることから、簡易水道の統合に当たり、この湧水の活用を検討しています。また、近年、水道水の安全性、さらには「おいしい」水への要求が高まっており、東日本大震災以降は放射線の影響についても監視していく必要が生じています。					
目的・効果	湧水水源の改修・改良を行うと併し、水質検査を充実することにより、安全な水の供給を維持していきます。安定した湧水の活用を行うことにより、現在よりも効率的に安全でおいしい水を安定供給することができるようになります。					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○水源改修・改良 地表水の流入を防ぐ工事の施工	4月～3月	武石地区（権現、長坂）水源の改修	長坂水源の改修については検討中 権現水源は唐沢水源の補給的役割のため改修は見送り	長坂水源は、大雪のため繰越工事実施中 権現水源は唐沢水源の補給的役割のため改修は見送り	
②	○水質検査の充実 ①真田、武石の湧水水源の安全対策 ②泉町水源地の安全対策 ③真田、武石の湧水水源の検査強化 ④セシウム134及び137の検査実施	①4月～3月 ②4月～3月 ③4月～3月 ④4月～3月	①湧水水源4箇所に紫外線照射装置の設置 ②油分検知器、活性炭注入設備の整備 ③クリプトスポリジウム検査11箇所、40検体 指標菌22箇所、122検体 ④浄水場原水：毎月 浄水場浄水：4回 湧水水源：2回	①設計中 先遣地視察（長野市上下水道局、長野県企業局川中島水道管理事務所） ②設計中 ③5箇所の浄水場の原水について各1回、6箇所の湧水水源について各2回実施。いずれも不検出 （クリプトスポリジウムの恐れのある箇所は、検査回数を多くしているため、検査箇所数に差異がある。） ④浄水場原水：毎月、浄水場浄水：2回、湧水水源：1回実施。いずれも不検出	①湧水水源4箇所に紫外線照射装置設置工事実施中 ②泉町水源地油分検知器、活性炭注入設備設置工事実施中 ③湧水水源の水質検査実施。不検出 ④セシウム134及び137の水質検査実施。不検出	
③	○真田地区の簡易水道統合 対策委員会と協議し菅平上水道と真田簡易水道の統合について整備方針を決定	4月～3月	対策委員会と協議をし、整備方針を決定	地元と協議継続中	地元と今後の進め方について協議	
④	○印給水管の布設替	4月～3月	500箇所	368箇所発注	760箇所施工	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題 ・耐塩素性病原生物に対処するための紫外線照射装置の設置に取り組み湧水水源の安全性を高めることができました。 ・各種の事業をとおして、安心安全な水の供給を行いました。		

平成25年度 重点目標管理シート

重点目標	快適で持続可能な水環境の創造と資源の地域循環の推進		部局名	上下水道局	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する			市長マニフェスト における位置付け	IV-1-(2)	
現況・課題	快適で持続可能な水環境を創造するためには、まず下水道未整備箇所を早期に解消しなければなりません。その上で、汚泥量増加に伴う処理機器の負荷軽減と安定した処理能力の確保を図り、さらに汚泥流入量予測を踏まえて処理場また、上下水道事業はエネルギーを消費し、温室効果ガスや汚泥等の排出を伴うため、資源の地域循環や再生可能エネルギーの利用などに配慮していく必要もあります。					
目的・効果	良好な生活環境を形成するため、下水道未整備箇所の管渠工事を実施します。近年の社会情勢を反映した下水道の整備計画を実施していくことにより、適正な維持管理体制の確立と費用の削減を図ります。再生可能エネルギーを積極的に活用することで施設の省資源化に取り組みます。					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○下水道未整備箇所の管渠工事の推進 管渠工事の推進	4月～3月	L=3.9km	3.0km発注	4.0km発注し、2.2km完成	
②	○水洗化の促進 新規接続を促し、水洗化の促進を図る。	4月～3月	新規接続戸数700戸	新規接続戸数395戸	新規接続戸数856戸	
③	○安定した処理能力の確保 施設の適正な維持管理の実施	4月～3月	菅平浄化センターのポンプ設備更新 実施設計発注	策定した長寿命化計画の第1次5ヵ年整備計画（案）確定後に発注予定	菅平浄化センターポンプ設備更新実施設計委託業務を発注し、平成26年度に完了予定	
④	○農業集落排水の公共下水道統合事業の推進 公共下水道統合へ向けた財産処分調査を実施し事業の推進を図る。	4月～3月	3地区に係る財産処分調査の実施	資源循環型施設事業に係る、し尿前処理施設の設置について、設置する処理場を検討中であり、それと整合を図るために調整中	事業の実施時期について検討	
⑤	○浄水場堆積物を改良土として有効活用	4月～3月	改良土化600m ³	改良土化140m ³ 実施	改良土化560.8m ³ 実施	
⑥	○再生可能エネルギーの活用 染屋浄水場に小水力発電を導入し、再生可能エネルギーを積極的に活用する。	4月～3月	小水力発電設備導入	全量売電でいくことに決定 売電に関して、中部電力と事前相談完了 利水に関して、国交省千曲川工事事務所と事前協議完了 検討中	利水及び売電方式の事前協議は完了 工事は新年度実施	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題 ・水洗化促進について4,100戸の戸別訪問を実施しましたが、約3割が不在であったので平成26年度に再訪問を実施してまいります。また、未接続理由の約5割は経済的理由となっており、この対応については今後の課題です。 ・小水力発電設備を早く導入できるように取り組まなければなりません。		

重点目標	長野県企業局との連携による塩田、川西地区の県営水道の統合推進			部局名	上下水道局	優先順位	5位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する				市長マニフェストにおける位置付け	IV-1-(2)	
現況・課題	長野県企業局が事業形態を検討する中で県営水道事業を分割移管する意向を表明したことから、給水エリア内の上田市、坂城町、千曲市、長野市と県企業局との間で、平成21年に協議を行う場が設置され、平成23年には坂城町及び千曲市の独自水源確保の要望を受けた、井戸試験調査が実施され、現在その調査結果の分析が行われています。分割移管の検討においては、独自水源の確保のほか、初期費用、負債の処理、送水計画の立案などが課題となっています。						
目的・効果	同じ自治体の中に2つの水道事業者が並存し、給水の申し込みや料金、サービスがそれぞれ異なる状況が解消されます。						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
①	○県営水道を分割移管するための1企業4市町での検討	4月～3月	他事業者からの供給方法の検討	検討作業部会 1回参加	検討作業部会 2回、検討会 1回参加 検討会（3月18日開催）により、現状では分割移管は現実的な選択ではないとの結論に至り、当面休止と決定 今後は持続可能な事業経営をしていくため、県企業局が4市町との情報を共有し検討していく研究会を設置することを決定		
②							
③							
④							
⑤							
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			

上下水道局

重点目標

- 1 経営効率化の推進
- 2 上水道事業と簡易水道事業の統合、安全でおいしい水の安定供給
- 3 上水道ライフラインの計画的な維持・更新
- 4 下水道施設の計画的な維持・更新
- 5 循環型社会の形成に向けた資源の有効活用の推進

平成26年度 重点目標管理シート

重点目標	経営効率化の推進		部局名	上下水道局	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する			2014 市長マニフェスト における位置付け		Ⅱ-1-②
現状・課題	人口減少社会の到来と節水志向が進行していく中で、料金収入の増加は将来的に見込めない状況となっています。一方で、老朽化していく施設、設備の更新のほか、耐震化など災害に備えた施設づくりに取り組む必要がありますが、そのためには多額の費用を要します。そのため、経営方針に基づき、毎年今後10年間の財務計画とそれに基づく事業計画についてローリングを行い、収支バランスのとれた計画的な事業展開に取り組み、経営の効率化を推進していくことが求められています。業務改善の一環として上下水道料金徴収・窓口業務の包括的民間委託化の実施に向けた検討をしてきており、今後方針を決定し実施に向けた行程表を作成していかねばなりません。また、浄水場施設維持管理業務の民間委託化については、局全体の中で組織再編成を考慮して段階的に進める必要があります。					
目的・効果	財務計画において適切な目標を設定するとともに事業計画において事業の選択と集中を行い、これらについて毎年ローリングを行う中で、営業収益に見合う支出財政規模を定め持続可能な企業運営と経営の効率化を推進します。					
取組項目及び方法・手段(何をどのように)	期間・期限(いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告(目標に対する進捗状況・進捗度)		期末報告(目標に対する達成状況・達成度)	
① ○経営方針に基づく事業計画の推進 (1)支出の平準化を行い安定的な経営管理を行うため、今後10年間における財務計画と事業計画についてローリングの実施 (2)業務改善として公共料金の口座引落実施	(1)7月～12月 (2)7月	(1)事業計画のローリングを踏まえ平成27年度の予算編成 (2)支払伝票の削減20%				
② ○民間委託化の検討 (1)上下水道料金徴収・窓口業務の包括的民間委託化の実施に向けた取組 (2)浄水場施設維持管理業務の民間委託化の検討	(1)4月～3月 (2)4月～3月	(1)委託業務開始に向けた行程表の作成 (2)委託部門の計画策定及び委託化に向けた行程表の作成				
③ ○収納率の向上 (1)水道料金・下水道使用料(現年度分) (2)下水道負担金・分担金(現年度分)	(1)3月 (2)3月	(1)収納率99% (2)収納率96%				
④ ○経理事務の合理化・効率化 公共下水道事業会計と農業集落排水事業会計の統合に向けた検討	4月～3月	平成28年度(予定)からの会計統合に向けた検討				
⑤ ○県企業局主催の水道事業運営研究会(仮称)での方向性研究 県企業局と豊田水道関係4市町(長野市、千曲市、飯綱町、上田市)とで、持続可能な事業運営を維持するための情報の共有や運営の連携のため、今後設立する研究会に参加	4月～3月	研究会での方向性検討				
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・経営の効率化を推進し、必要な事業を実施しつつ上下水道料金の水準を維持するよう努めていきます。		○取組による効果・残された課題			

平成26年度 重点目標管理シート

重点目標	上水道事業と簡易水道事業の統合、安全でおいしい水の安定供給		部局名	上下水道局	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する			2014 市長マニフェスト における位置付け		Ⅰ-2-④
現状・課題	上水道事業は、上水道3、簡易水道12の合計15事業で運営されていますが、これらの水源は河川の表流水、ダム水、地下水や湧水などで28箇所及んでいます。簡易水道の湧水水源の中には、降雨時における水質が不安定となるものがありますが、一方で、真田地区には水質が安定し、水量も豊富な湧水があることから、簡易水道の統合に当たり、この湧水の活用を検討しています。また、近年、水道水の安全性への要求が高まっておりますので、副塩業性病原生物(クリプトスポリジウム等)の地下浸透による水源汚染対策として湧水を水源とする真田地区の傍側中央簡易水道事業と武石簡易水道事業に対し紫外線処理設備を設置するように昨年度から取り組んでいるほか、浄水場原水・浄水及び湧水水源で東日本大震災以降は放射線の影響について検査しています。					
目的・効果	湧水水源の改修・改良を行うとともに、水源水質検査を充実することにより、安全な水の供給を維持していきます。安定した湧水の活用を行うことにより、現在よりも効率的に安全でおいしい水を安定供給することができるようになります。					
取組項目及び方法・手段(何をどのように)	期間・期限(いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告(目標に対する進捗状況・進捗度)		期末報告(目標に対する達成状況・達成度)	
① ○真田地区の簡易水道を上水道へ統合 対策委員会と協議し普平上水道と真田簡易水道の統合について整備方針を決定	3月	関係機関の合意形成 基本的計画フレームの把握				
② ○水源改修・改良 武石地区上本人第2配水池整備	3月	加圧ポンプ設置				
③ ○水源水質検査の強化体制維持 (1)真田、武石地区における湧水水源の水質検査 (2)セプトム134及び137の検査維持 (3)水質等自動監視設備設置	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)3月	(1)クリプトスポリジウム 11箇所 34検体 指標菌 2箇所 122検体 (2)浄水場原水 毎月 浄水場浄水 年4回 湧水水源 年2回 (3)上水道 流量計 2箇所 簡易水道 伝送装置 2箇所 水位計 1箇所 残留計 1箇所 流量計 1箇所				
④ ○管路網解析(水量・水圧・標高等)による給水区 域の見直しとバックアップ体制の整備 管路網解析システムデータ構築	4月～3月	水量・水圧・標高等のデータ入力完了				
⑤ ○有収率の向上及び給水管の布設替 (1)有収率 (2)給水管の布設替	(1)3月 (2)4月～3月	(1)84% (2)N=752箇所				
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・「安全でおいしい、質の高い水の供給」という市民ニーズに対応し、さらに安定的に効率よく水を供給するために各種の事業を実施します。		○取組による効果・残された課題			

平成26年度 重点目標管理シート

重点目標	上水道ライフラインの計画的な維持・更新		部局名	上下水道局	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する			2014 市長マニフェスト における位置付け	I-2-④	
現況・課題	上水道は、ガス、電気と並び市民の安全で快適な生活環境の確保のために必要不可欠なライフラインであり、一日たりとも休むことのできない重要な施設です。管路施設は、現在も創設当時のものが残存していることから、計画的な更新が必要であり、東日本大震災などの未曾有の大規模地震が発生していることから、管路施設の耐震化を進める必要があります。また、浄水施設をはじめとする送水・配水施設等が220箇所あり、その多くが老朽化した施設となっており、今後大規模な改築更新を迎えつつありますが、人口減少による給水収益の減少に伴い、将来の資金確保が難しく財政状況の悪化が懸念されています。そこで水道事業を持続可能なものとするために、中長期的な視点に立って、技術的な知見に基づいた施設整備・更新需要の見通しについて検討し、着実な改築更新を進める必要があります。					
目的・効果	上水道施設の計画的更新や耐震化により、大規模災害はもちろんのこと、日常の管破綻などの減少が期待できます。計画的な改築更新を行うことにより、投資額の平準化が図られ、安定した事業運営が期待できます。					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○上水道管路耐震化 管路の耐震化	4月～3月	L=6.68km（内0.85km老朽管）			
②	○上水道施設アセットマネジメント策定 (1)水道施設耐震老朽度調査 (2)上水道施設アセットマネジメント策定	(1)7月～10月 (2)11月～3月	(1)調査完了 (2)策定完了			
③	○浄水場施設の設備更新 (1)庶務浄水場の設備更新 (2)環状浄水場の設備更新	(1)3月 (2)3月	(1)PAC注入設備更新 (2)傾斜板更新及びPH計・残塩計・濁度計等の設備更新			
④						
⑤						
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・水道管の耐震化を推進し、防災に努めます。 ・水道施設を計画的に更新し、この資産を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは現世代の責務です。そのため、財源計画に基づいたアセットマネジメントを策定します。 (アセットマネジメント(資産管理)：長期的な視点に立ち水道施設のライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に水道施設を管理運営していくことを組織的に実践する活動です。)			○取組による効果・残された課題		

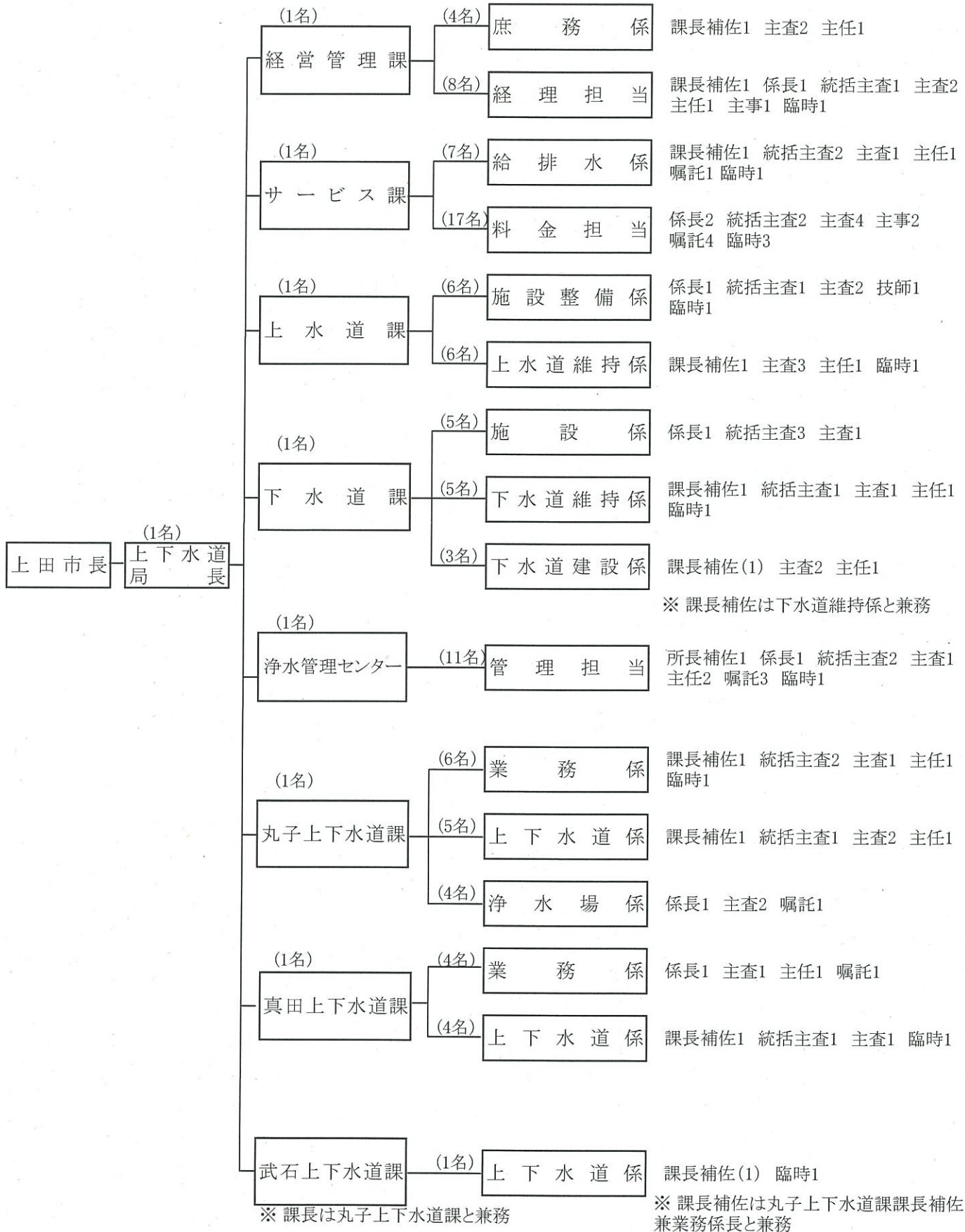
平成26年度 重点目標管理シート

重点目標	下水道施設の計画的な維持・更新		部局名	上下水道局	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する			2014 市長マニフェスト における位置付け	I-2-④	
現況・課題	下水道管渠の整備はほぼ完了しましたが、快適な水環境を創造するためには下水道未整備箇所の早期の解消と、管渠整備済み箇所の下水道接続の促進が必要です。また、人口の減少や少子高齢化の進行、省エネルギー化など、社会状況の変化に伴い、市民のライフスタイルも大きく変化し、下水の流入量も微増に留まっています。下水道施設の維持管理の効率化を更に図る上で、公共下水道施設への接続が有利と思われる農業集落排水施設については、公共下水道との接続についても検討が必要です。下水道が建設から維持管理の時代に移行していく中、施設の老朽化が課題となっており、老朽化が進む施設の計画的な更新を図るため、「下水道施設長寿命化計画」を策定しました。安定した下水処理を維持するため、計画に基づいて施設の更新を実施していく必要があります。					
目的・効果	良好な生活環境と水環境を形成するため、下水道未整備箇所の管渠工事の実施と下水道の接続を促し水洗化を促進します。社会情勢の変化に対応した効率的な施設の維持管理を図るため、農業集落排水施設と公共下水道施設の統合計画を進めます。安定した下水処理を確保するため、下水道施設長寿命化計画による施設の更新を図ります。					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○下水道未整備箇所の管渠工事推進 管渠工事の推進	4月～3月	L=1.6km			
②	○農業集落排水の公共下水道への統合事業推進 公共下水道統合に向けた財産処分調査の実施	4月～3月	財産処分調査の実施 3地区			
③	○長寿命化事業の実施 上田、南部、丸子、管平処理場の設備更新	4月～3月	4処理場の実施設計 管平浄化センターの水処理設備・電気設備更新			
④	○水洗化の促進 新規接続を促し、水洗化率の向上	4月～3月	新規接続戸数500戸目標			
⑤						
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・清潔で快適に生活するための社会インフラ整備として、下水道管渠工事を推進します。 ・下水道未普及地域の解消が回帰生活環境が向上するとともに河川などの水質改善が図れます。 ・下水道施設長寿命化計画に基づき、施設等の更新を行い経営の安定化と生活環境の維持増進に努めます。			○取組による効果・残された課題		

重点目標	循環型社会の形成に向けた資源の有効活用の推進		部局名	上下水道局	優先順位	5位
総合計画における位置付け	第4編 生活環境 第1章 快適な生活環境を実現するために 第2節 安全・安心・清潔に暮らせる生活環境を実現する			2014 市長マニフェスト における位置付け	I-2-④	
現況・課題	上下水道事業はエネルギーを消費し、温室効果ガスや汚泥等の排出を伴うため、資源の地球循環や再生可能エネルギーの利用などに配慮していく必要もあります。低炭素社会の構築に向けて、水道施設における再生可能エネルギーを有効利用し、毎時約51kwを発電できる小水力発電設備を設置していくこととしています。					
目的・効果	再生可能エネルギーとして、小水力発電設備による発電を行い、電力会社へ全量売電するとともにCO2の削減を図ります。 また、浄水場から永続的に発生する浄水場堆積物（泥土）を農作物を作る改良土として利用できるよう有効に活用し資源の循環に努めます。					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○再生可能エネルギーの活用 浄水場浄水場に小水力発電を導入し、再生可能エネルギーの積極的な活用	4月～3月	小水力発電設備設置			
②	○浄水場堆積物の活用 浄水場堆積物（泥土）を農作物を作る改良土として再生できるように活用	4月～3月	改良土化 600m ³			
③						
④						
⑤						
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・地球温暖化防止対策と維持管理費の削減のため、再生可能エネルギーの有効活用を推進します。			○取組による効果・残された課題		

(4) 組織図

平成26年10月1日現在



経営管理課 上下水道局の総括に関すること

庶務係

局の総合調整及び庶務、議会对応、職員服務・給与、労務対応、研修、福利厚生、入札・契約、例規の制定・改廃、主管課として処理する事務

経理担当

上下水道事業予算・決算、経営分析、料金改定、金銭出納、貯蔵品管理、消費税

サービス課 上下水道の料金、下水道受益者負担金・分担金、宅内給排水設備に関すること

給排水係

宅内給排水設備・工事受付審査、検査、指定工事事業者、責任技術者試験、水洗化の普及促進、農集加入金、汚水量認定、量水器購入管理、検満メーター取替

料金担当

上下水道料金の調定・収納・還付充当、開閉栓、給水停止、追跡調査、検針業務統括、異動入力、減免、下水道受益者負担金・分担金

上水道課 上水道事業の総括に関すること

施設整備係

上水道事業の総合調整・認可申請、上水道事業計画・建設(設計監督)、水源開発

上水道維持係

上水道施設の維持管理(管路修繕、漏水調査)・運営、緊急故障対応、当番店対応

下水道課 下水道事業の総括に関すること

施設係

水質規制関係、公害防止、事業所排水指導、公共下水道・農集排水処理施設維持管理、設備台帳、処理場関係調査

下水道維持係

公共下水道・農集施設(管渠)の維持管理、取付管新增設、地域循環プロジェクト、管渠関係・農集調査

下水道建設係

下水道事業の総合調整・認可申請、下水道事業の調査・計画、所管地域の下水道施設建設

浄水管理センター 浄水施設の総括に関すること

管理担当

染屋・石舟浄水場の運転管理、水質検査(水源、河川、浄水場、水道水)、取水・導水・送水・配水設備の維持管理

丸子上下水道課 丸子地域上下水道の総括に関すること

業務係

所管地域の上下水道事業計画、予算・決算、収納、滞納整理、開閉栓、検針、異動入力、減免、下水道受益者負担金・分担金関係、宅内給排水設備工事受付審査、水洗化普及

上下水道係

所管地域の上水道事業計画、水源の水質調査・保全、配水管工事設計積算、漏水調査
所管地域の下水道事業計画・設計・積算、各施設・設備の維持管理

浄水場係

腰越浄水場の運転管理、所管地域の水質検査(水源、河川、浄水場、水道水)、取水・導水・送水・配水設備の維持管理

真田上下水道課 真田地域上下水道の総括に関すること

業務係

所管地域の上下水道事業予算・決算、収納、滞納整理、開閉栓、検針、異動入力、減免、宅内給排水設備工事受付審査

上下水道係

所管地域の上下水道事業計画、上下水道施設の維持管理、水源の水質調査・保全、配水管工事設計積算、漏水調査、水質規制・事業場排水指導、管渠の維持管理

武石上下水道課 武石地域上下水道の総括に関すること

上下水道係

所管地域の上下水道事業予算・決算、収納、滞納整理、開閉栓、検針、異動入力、減免、宅内給排水設備工事受付審査、上下水道施設維持管理、上下水道施設工事、水質調査・保全、緊急故障対応

	課別	局長	課長	課長補佐	係長	統括主査	主査	主任	主事	技師	嘱託	臨時	計	
職員数	局長	1											1	
	経営管理課		1	2	1	1	4	2	1			1	13	
	サービス課		1	1	2	4	5	1	2		5	4	25	
	上水道課		1	1	1	1	5	1		1		2	13	
	下水道課		1	1	1	4	4	2				1	14	
	浄水管理センター		1	1	1	2	1	2			3	1	12	
	丸子上水道課		1	2	1	3	5	2			1	1	16	
	真田上水道課		1	1	1	1	2	1			1	1	9	
	武石上下水道課			(1)	(1)								1	1 (1)
	計	1	7 (1)	9 (1)	8	16	26	11	3	1	10	12	104 (1)	

※()内は、局内兼務職員数(再掲)

イ 会計・階級別職員数

平成26年3月31日現在

		局長	課長	課長補佐	係長	統括主査	主査	主任	主事	技師	正規職員計	嘱託	臨時	合計
水道事業会計	上下水道局長	1									1			1
	経営管理課		1								1			1
	庶務係			1		1	1				3			3
	経理担当			2			2		1		5		1	6
	小計		1	3		1	3		1		9		1	10
	サービス課		1								1			1
	給排水係			1		2	1				4			4
	料金担当				1	2	3		2		8	4	3	15
	小計		1	1	1	4	4		2		13	4	3	20
	上水道課		1								1			1
	施設整備係			1		2	2				5		1	6
	上水道維持係			1			2	1			4		1	5
	小計		1	2		2	4	1			10		2	12
	浄水管理センター		1								1			1
	管理担当				2	1	2	2			7	3	1	11
	小計		1		2	1	2	2			8	3	1	12
	丸子上下水道課					1		2			3		1	4
	業務係					1		1			2	1		3
	浄水場係							1			3			3
	小計			1	2		4	1			8	1	1	10
	真田上下水道課		1								1			1
業務係				1	1					2			2	
上下水道係					1	1				2	1		3	
小計		1		1	2	1				5	1		6	
武石上下水道課														
上下水道係			1							1		1	2	
小計			1							1		1	2	
合計		1	5	8	6	10	18	4	3		55	9	9	73
公共下水道事業会計	経営管理課													
	庶務係						1				1			1
	経理担当						1				1			1
	小計						2				2			2
	サービス課													
	給排水係					1					1	1		2
	料金担当			1			1		1		3			3
	小計			1		1	1		1		4		1	5
	下水道課		1								1			1
	施設係				1	1	1				3			3
	下水道維持係			1		1		1			3		1	4
	下水道建設係			1		1	2	1			5			5
	小計		1	2	1	3	3	2			12		1	13
	丸子上下水道課		1								1			1
	業務係							1			1			1
下水道係					1	1				2			2	
小計		1			1	2				4			4	
真田上下水道課								1						
業務係				1						1			1	
上下水道係										1			1	
小計			1					1		2			2	
合計		2	4	1	5	8	3	1			24	2		26
農業集落排水事業会計	経営管理課													
	経理担当						1				1			1
	小計						1				1			1
	下水道課													
	施設係						1				1			1
	小計						1				1			1
	丸子上下水道課													
	下水道係							1			1			1
小計							1			1			1	
真田上下水道課														
上下水道係						1				1			1	
小計						1				1			1	
武石上下水道課														
上下水道係						1				1			1	
小計						1				1			1	
合計						4	1				5			5

(注) ()内の人数は、兼務職員の数である。


2 事業の状況

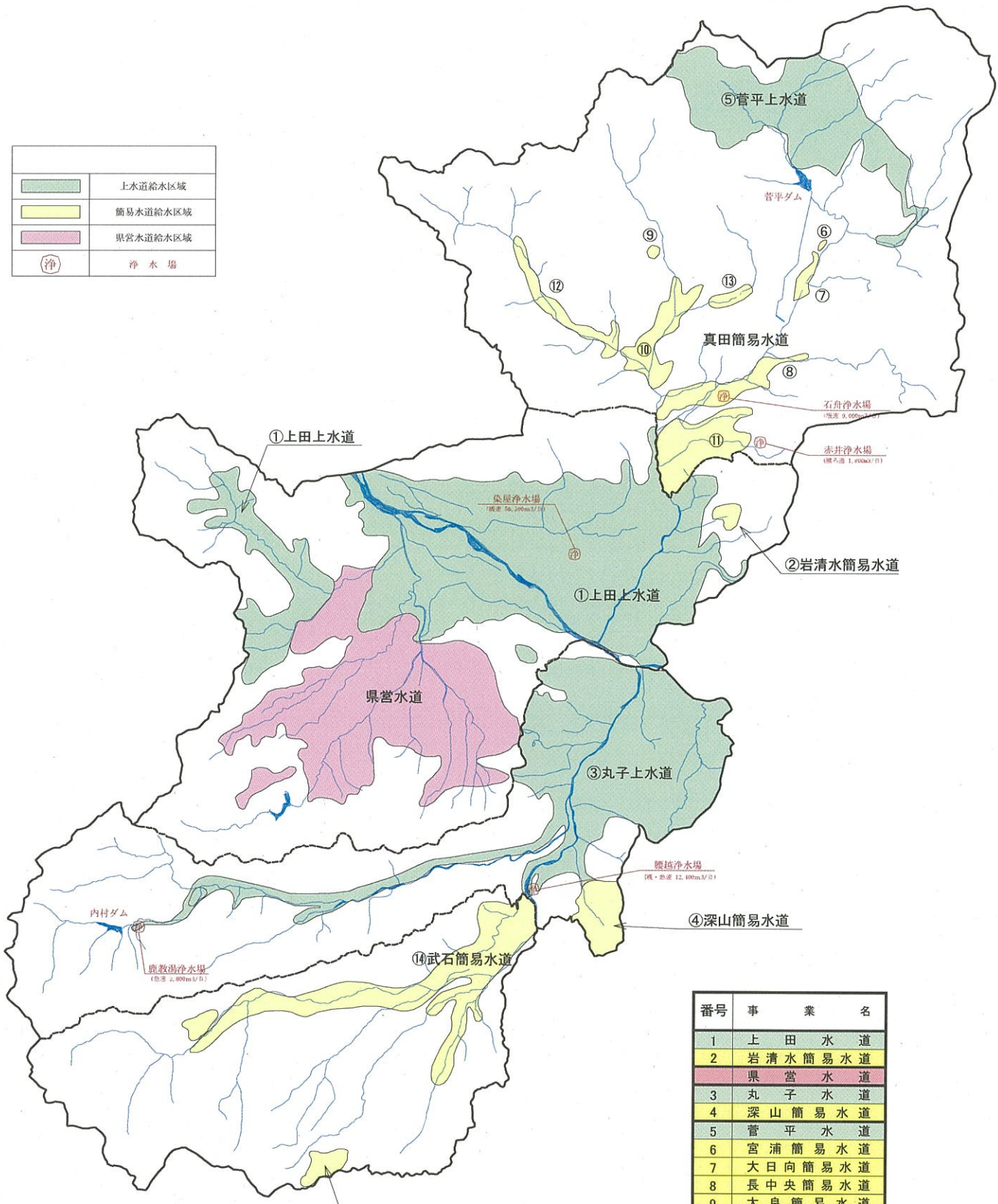
(1) 事業計画及び事業区域

ア 水道事業

名称	計画給水区域	計画給水人口 (人)	計画1日 最大給水量 (m ³)
上田水道事業	二の丸、常磐城一丁目、常磐城二丁目、常磐城三丁目、常磐城四丁目、常磐城五丁目、常磐城六丁目、緑が丘一丁目、緑が丘二丁目、緑が丘三丁目、天神一丁目、天神二丁目、天神三丁目、天神四丁目、大手一丁目、大手二丁目、中央一丁目、中央二丁目、中央三丁目、中央四丁目、中央五丁目、中央六丁目、中央東、中央北一丁目、中央北二丁目、中央北三丁目、中央西一丁目、中央西二丁目、常田一丁目、常田二丁目、常田三丁目、材木町一丁目、材木町二丁目、常入一丁目、踏入一丁目、踏入二丁目、国分一丁目、常入、上田、常磐城、小牧、諏訪形、御所、中之条、秋和、上塩尻、下塩尻、上田原、下之条、神畑、築地、大屋の一部、岩下、蒼久保、国分、福田、吉田、小泉の一部、上野、古里、住吉、芳田、林之郷、殿城の一部、漆戸、岡、浦野、越戸、下室賀、上室賀	113,000	65,500.0
丸子水道事業	旧丸子町地区、大屋千曲川左岸地区	27,000	15,200.0
菅平水道事業	菅平、十の原、渋沢	9,000	3,700.0
岩清水簡易水道事業	殿城の一部	360	50.0
深山簡易水道事業	深山地区	260	360.0
宮浦簡易水道事業	大日向宮浦	170	25.5
大日向簡易水道事業	大日向(渋沢、大洞、宮浦を除く。)	800	120.0
長中央簡易水道事業	角間、横沢、真田、石舟、戸沢、つくし、四日市、横尾	3,000	642.0
大良簡易水道事業	大良	110	16.5
傍陽中央簡易水道事業	穴沢、横道、田中、萩、大庭、曲尾	1,800	910.0
本原簡易水道事業	本原地区、長地区の一部	4,700	1,800.0
傍陽西部簡易水道事業	傍陽中組、岡保、入軽井沢、松井新田	800	317.0
三島平専用水道事業	大倉、三島平	98	24.5
武石簡易水道事業	旧武石村地区(白樺平地区、獅子ヶ城簡易水道給水区域を除く。)、腰越地区の一部	3,930	1,920.0
獅子ヶ城簡易水道事業	東美ヶ原高原保健休養地	2,100	531.0
計		167,128	91,116.5

上田市上水道事業区域図

	上水道給水区域
	簡易水道給水区域
	県営水道給水区域
	浄水場



番号	事業名
1	上田水道
2	岩清水簡易水道
3	県営水道
4	深山簡易水道
5	菅平水道
6	宮浦簡易水道
7	大日向簡易水道
8	長中央簡易水道
9	大良簡易水道
10	傍陽中央簡易水道
11	本原簡易水道
12	傍陽西部簡易水道
13	三島平専用水道
14	武石簡易水道
15	獅子ヶ城簡易水道

⑮獅子ヶ城簡易水道
(美しの国別荘地)

イ 公共下水道事業

名称	計画処理区域	計画処理人口 (人)	計画処理 区域面積 (ha)	計画1日 最大処理量 (m ³)
上田公共下水道事業	二の丸、常磐城一丁目、常磐城二丁目、常磐城三丁目、常磐城四丁目、常磐城五丁目、常磐城六丁目、緑が丘一丁目、緑が丘二丁目、緑が丘三丁目、天神一丁目、天神二丁目、天神三丁目、天神四丁目、大手一丁目、大手二丁目、中央一丁目、中央二丁目、中央三丁目、中央四丁目、中央五丁目、中央六丁目、中央東、中央北一丁目、中央北二丁目、中央北三丁目、中央西一丁目、中央西二丁目、常田一丁目、常田二丁目、常田三丁目、材木町一丁目、材木町二丁目、常入一丁目、踏入一丁目、踏入二丁目、国分一丁目、上田の一部、常磐城の一部、小牧の一部、諏訪形の一部、御所の一部、中之条の一部、秋和の一部、上塩尻の一部、下塩尻の一部、上田原の一部、下之条の一部、神畑の一部、築地の一部、大屋の一部、岩下の一部、蒼久保の一部、国分の一部、福田の一部、吉田の一部、小泉の一部、上野の一部、古里の一部、住吉の一部、芳田の一部、古安曾の一部、下之郷の一部、本郷の一部、五加の一部、中野の一部、小島の一部、保野の一部、舞田の一部、十人の一部、新町の一部、前山の一部、手塚の一部、別所温泉の一部	114,700	3,444	67,060
丸子公共下水道事業	腰越の一部、上丸子の一部、中丸子の一部、下丸子の一部、長瀬の一部、塩川の一部、御嶽堂の一部、生田の一部、西内の一部、鹿教湯温泉の一部、平井の一部、東内の一部	23,800	845	14,200
真田公共下水道事業	菅平の一部、横沢の一部、真田の一部、石舟の一部、戸沢の一部、つくし、横尾の一部、四日市、曲尾、萩の一部、大庭、傍陽中組、岡保、入軽井沢の一部、荒井の一部、竹室の一部、中原の一部、下塚	14,200	326	6,500

ウ 農業集落排水事業

上田農業集落排水事業	下組地区の一部、仁古田地区の一部、岡地区の一部、下之郷地区の一部、下小島地区の一部、小井田地区の一部、古安曾地区の一部、保野舞田地区の一部、豊殿南部地区の一部、富士山地区の一部、八木沢地区の一部、浦里地区の一部、室賀地区の一部、林之郷地区の一部、山田地区の一部、小泉地区の一部及び殿城地区の一部	29,300	823.5	9,454.5
丸子農業集落排水事業	藤原田の一部、東内の一部	2,150	61	711
真田農業集落排水事業	上原、中原の一部、下郷沢の一部、表木、町原の一部、出早、下原の一部、大畑の一部、田中の一部、下横道、中横道、上横道の一部	5,200	122	1,539
武石農業集落排水事業	武石沖の一部、武石鳥屋の一部、下武石の一部、上武石の一部、武石下本入の一部、武石上本入の一部、武石小沢根の一部、武石余里の一部、腰越の一部	4,960	195	1,635
上田小規模集合排水処理施設事業	布引地区の一部	180	2	59.4
公共・農集合計		194,490	5,818.5	101,158.9

(2) 料金及び使用料等の状況

※この表は、消費税率8%で計算されています。
 ※平成28年度まで現行料金(別荘地含む)となります。

ア 口径13mm

(平成26年4月1日現在・2ヶ月税込・単位:円)

使用量 (m ³)	水道料金 (円)	下水道使用料 (円)	合計 (円)	使用量 (m ³)	水道料金 (円)	下水道使用料 (円)	合計 (円)
0	1,172	2,528	3,700	41	5,543	7,686	13,229
1	1,232	2,599	3,831	42	5,694	7,864	13,558
2	1,292	2,670	3,962	43	5,845	8,042	13,887
3	1,352	2,741	4,093	44	5,996	8,220	14,216
4	1,412	2,812	4,224	45	6,147	8,398	14,545
5	1,472	2,883	4,355	46	6,298	8,576	14,874
6	1,532	2,954	4,486	47	6,449	8,754	15,203
7	1,592	3,025	4,617	48	6,600	8,932	15,532
8	1,652	3,096	4,748	49	6,751	9,110	15,861
9	1,712	3,167	4,879	50	6,902	9,288	16,190
10	1,772	3,238	5,010	51	7,053	9,466	16,519
11	1,832	3,309	5,141	52	7,204	9,644	16,848
12	1,892	3,380	5,272	53	7,355	9,822	17,177
13	1,952	3,451	5,403	54	7,506	10,000	17,506
14	2,012	3,522	5,534	55	7,657	10,178	17,835
15	2,072	3,593	5,665	56	7,808	10,356	18,164
16	2,132	3,664	5,796	57	7,959	10,534	18,493
17	2,192	3,735	5,927	58	8,110	10,712	18,822
18	2,252	3,806	6,058	59	8,261	10,890	19,151
19	2,312	3,877	6,189	60	8,412	11,068	19,480
20	2,372	3,948	6,320	61	8,563	11,246	19,809
21	2,432	4,019	6,451	62	8,714	11,424	20,138
22	2,492	4,090	6,582	63	8,865	11,602	20,467
23	2,552	4,161	6,713	64	9,016	11,780	20,796
24	2,612	4,232	6,844	65	9,167	11,958	21,125
25	2,672	4,303	6,975	66	9,318	12,136	21,454
26	2,732	4,374	7,106	67	9,469	12,314	21,783
27	2,792	4,445	7,237	68	9,620	12,492	22,112
28	2,852	4,516	7,368	69	9,771	12,670	22,441
29	2,912	4,587	7,499	70	9,922	12,848	22,770
30	2,972	4,658	7,630	71	10,073	13,026	23,099
31	3,032	4,729	7,761	72	10,224	13,204	23,428
32	3,092	4,800	7,892	73	10,375	13,382	23,757
33	3,152	4,871	8,023	74	10,526	13,560	24,086
34	3,212	4,942	8,154	75	10,677	13,738	24,415
35	3,272	5,013	8,285	76	10,828	13,916	24,744
36	3,332	5,084	8,416	77	10,979	14,094	25,073
37	3,392	5,155	8,547	78	11,130	14,272	25,402
38	3,452	5,226	8,678	79	11,281	14,450	25,731
39	3,512	5,297	8,809	80	11,432	14,628	26,060
40	3,572	5,368	8,940	81	11,583	14,806	26,389

イ 口径20mm

(平成26年4月1日現在・2ヶ月税込・単位:円)

使用量 (m ³)	水道料金 (円)	下水道使用料 (円)	合計 (円)	使用量 (m ³)	水道料金 (円)	下水道使用料 (円)	合計 (円)
0	3,046	2,528	5,574	41	7,417	7,686	15,103
1	3,106	2,599	5,705	42	7,568	7,864	15,432
2	3,166	2,670	5,836	43	7,719	8,042	15,761
3	3,226	2,741	5,967	44	7,870	8,220	16,090
4	3,286	2,812	6,098	45	8,021	8,398	16,419
5	3,346	2,883	6,229	46	8,172	8,576	16,748
6	3,406	2,954	6,360	47	8,323	8,754	17,077
7	3,466	3,025	6,491	48	8,474	8,932	17,406
8	3,526	3,096	6,622	49	8,625	9,110	17,735
9	3,586	3,167	6,753	50	8,776	9,288	18,064
10	3,646	3,238	6,884	51	8,927	9,466	18,393
11	3,706	3,309	7,015	52	9,078	9,644	18,722
12	3,766	3,380	7,146	53	9,229	9,822	19,051
13	3,826	3,451	7,277	54	9,380	10,000	19,380
14	3,886	3,522	7,408	55	9,531	10,178	19,709
15	3,946	3,593	7,539	56	9,682	10,356	20,038
16	4,006	3,664	7,670	57	9,833	10,534	20,367
17	4,066	3,735	7,801	58	9,984	10,712	20,696
18	4,126	3,806	7,932	59	10,135	10,890	21,025
19	4,186	3,877	8,063	60	10,286	11,068	21,354
20	4,246	3,948	8,194	61	10,437	11,246	21,683
21	4,306	4,019	8,325	62	10,588	11,424	22,012
22	4,366	4,090	8,456	63	10,739	11,602	22,341
23	4,426	4,161	8,587	64	10,890	11,780	22,670
24	4,486	4,232	8,718	65	11,041	11,958	23,000
25	4,546	4,303	8,849	66	11,192	12,136	23,330
26	4,606	4,374	8,980	67	11,343	12,314	23,660
27	4,666	4,445	9,111	68	11,494	12,492	24,000
28	4,726	4,516	9,242	69	11,645	12,670	24,340
29	4,786	4,587	9,373	70	11,796	12,848	24,680
30	4,846	4,658	9,504	71	11,947	13,026	25,020
31	4,906	4,729	9,635	72	12,098	13,204	25,360
32	4,966	4,800	9,766	73	12,249	13,382	25,700
33	5,026	4,871	9,897	74	12,400	13,560	26,040
34	5,086	4,942	10,028	75	12,551	13,738	26,380
35	5,146	5,013	10,159	76	12,702	13,916	26,720
36	5,206	5,084	10,290	77	12,853	14,094	27,060
37	5,266	5,155	10,421	78	13,004	14,272	27,400
38	5,326	5,226	10,552	79	13,155	14,450	27,740
39	5,386	5,297	10,683	80	13,306	14,628	28,080
40	5,446	5,368	10,814	81	13,457	14,806	28,420

水道事業編

1 事業の概要

(1) 事業の沿革

上田市の水道事業は、平成 18 年 3 月、上田市、丸子町、真田町、武石村の 4 市町村の合併と経営の統合により、給水人口 14 万 2 千人余りとなり、3 上水道事業、11 簡易水道、1 専用水道の合計 15 事業で新たな上田市水道事業を発足しました。

これら水道事業における水源の状況は、千曲川をはじめ神川、依田川の表流水、内村川のダム水、地下水や湧水など 28 箇所を数え、浄水処理方式は、緩速ろ過、急速ろ過、膜ろ過の 3 種類に、送配水施設においては 170 箇所と多種多様な施設で運営されています。

また、市内には、市営水道のほかに 2 市 1 町に送水する県営水道があり、上田市内では 2 万 4 千人に給水されています。

現在、水道の普及率は 99.8 パーセントに達し、市民のほとんどが水の供給を受けることができるようになった一方、水道施設の老朽化による大規模更新や耐震化の必要が生じてきたこと、さらには人口が減少傾向に転じるなど、水道事業は大きな転換期を迎えています。

このように水道事業を取巻く状況が大変厳しいなか、簡易水道事業の経営基盤の強化を図ることを目的に統合を進め、上水道事業への移行を求められている簡易水道事業においては、平成 26 年度に一次統合として、菅平上水道事業と真田地域簡易水道事業の統合、二次統合として、上田上水道事業と岩清水簡易水道・丸子上水道事業・深山簡易水道・武石地域簡易水道事業も含め、すべての水道事業を平成 28 年度までに一本化し、簡易水道事業の運営強化を図っていく予定となっています。

また、水道事業の現状と将来見通しを分析評価し、目指すべき将来像を描いた上田市水道ビジョンでは、「うるおいある水源を守り安全でおいしい水をお届けします」を基本理念に、

- 1 安全で安心なおいしい水の安定供給
- 2 災害に強い施設づくりの推進
- 3 安定した経営基盤の確立
- 4 環境にやさしいエネルギー対策への貢献

の 4 つの基本目標を掲げました。

今までは、上田、丸子、真田、武石の 4 地域それぞれが水道事業を進めてきましたが、統合により相互連携による水運用、良質な水源の利用が可能になったことで、水道経営の健全性を維持しながら、これらの利点を生かした水道施設再構築に向けた取組みを進めていきます。

(2) 事業のあゆみ

ア 上田地域

大正8年5月1日に、上田市は市制を施行したが、その最大の目的と特色は、水道の建設にあったといわれている。当時の上田市は、世帯数が5,342戸、人口は30,247人であったが、井戸の総数は510程度であり、1つの井戸を10戸ぐらいで使用していたようである。しかし、湧出量が少ないことや水質が悪いことから毎年チフスや赤痢等の伝染病がまん延し、これによる死亡者も相次いでいたことから、上水道建設は市民の大念願であった。

水道事業は、大正12年6月に竣工したが、上田市が誕生して最初の事業が水道の建設であり、予算額は85万円(当時の年間予算は約18万円)という、正に空前の大事業であった。それから、88年の歳月を歩み旧上田市の水道は、拡張と改良などの整備を重ね、産業・経済・文化の発展と市民生活の福祉向上を担って、現在に至っている。

地域	年	認可等	内 容
上 田	大正12年	給水開始	千曲川伏流水を水源とする染屋浄水場を建設し、給水を開始
	昭和9年	水源拡張工事	使用量の増大に対応するための水源補水工事
	昭和20年	第2次水源拡張工事	枅網用水利用に変更するための水源補水工事
	昭和28年	第1次拡張事業	神川水源の新設と染屋浄水場の拡張工事
	昭和33年		北部地区、城下地区への配水管拡張工事
	昭和38年	第2次拡張事業	川辺・塩尻・神川・殿城地区合併に伴う配水管拡張工事
	昭和46年	第3次拡張事業	菅平ダム建設への参画と真田町石舟浄水場の新設による殿城簡易水道の統合
	昭和51年	第4次拡張事業	川西村水道事業の合併による配水管の整備
	昭和53年	第5次拡張事業	維持管理時代に対応した施設整備
	平成10年	第6次拡張事業	芳田地区全域に拡張
平成18年	合併による経営の統合	計画給水人口113,000人 上田水道事業、岩清水簡易水道事業の2事業で運営	

イ 丸子地域

丸子町が誕生した大正元年当時は、東西に細長い地域であることから、簡易水道 6 箇所、簡易給水施設 2 箇所、専用水道が数箇所存在していたが、一般家庭のほとんどは井戸・湧水・沢水を飲料水として利用していた。

しかし、毎年のように赤痢が発生していたことや、農村部の都市化や地域産業の振興に伴う水需要の増加などから、昭和 31 年の町村合併が終了するや、上水道建設に対する熱意が、婦人会を中心とした「水道貯金」の励行により高まり、昭和 32 年に 1 億 7,000 万円の事業計画を議会で議決。昭和 32 年の認可取得により、計画人口 24,730 人で上水道の建設が開始された。埋設される配水管の多くは、手掘りによる市民の共同作業で進めるなど大変な努力がされたものである。

地域	年	許可等	内 容
丸 子	昭和 35 年	給水開始	計画給水人口 16,620 人、依田川を水源とする腰越浄水場を建設し、給水を開始
	昭和 36 年	給水開始	計画給水人口 8,110 人、内村川を水源とする鹿教湯浄水場を建設し、給水を開始
	昭和 37 年	第 1 次拡張事業	霊泉寺・尾野山地区へのポンプアップによる拡張工事
	昭和 48 年	第 2 次拡張事業	腰越浄水場の拡張工事により、昭和 51 年藤原田簡易水道、昭和 52 年腰越簡易水道を統合
	昭和 56 年	第 2 次拡張事業	須川湖ハイランド専用水道の寄付により統合
	昭和 59 年	第 2 次拡張事業	内村ダム建設に伴い、ダムを水源とする鹿教湯浄水場を建設
	平成元年	認可変更	箱畳工業団地建設に伴う配水管拡張工事
	平成 2 年	認可変更	池の芝、千石地区リゾート開発に伴う配水管拡張工事
	平成 11 年		郷仕川原簡易水道の上水道への統合
	平成 18 年	合併による経営の統合	計画給水人口 27,000 人 丸子水道事業、深山簡易水道事業の 2 事業で運営

ウ 真田地域

水道が設置される以前は、共同井戸、沢の水、集落によっては川の水を飲料水として使用していた。しかし、長村において集団赤痢が発生し、約 80 人の患者が出た経験から、婦人会・青年団が中心となって上水道に対する機運が高まり、昭和 29 年ごろから現有の自然湧水を利用した水道施設ができる。そして、昭和 33 年 10 月 1 日当時の傍陽村、長村、本原村の 3 ヶ村が合併し真田町となったことを踏まえ、村単位で水道組合を設立し、水道事業が開始された。

一方、菅平高原水道は、2 ヶ所の湧水を水源とした小規模な水道であったが、観光客の増大や昭和 41 年の松代群発地震により、現状水源では不足する状態となった。このため、7.5km 先である「つちやの沢」から水源を求め、事業費 1 億 7,600 万円で菅平全域と別荘団地に給する上水道事業が、昭和 42 年から開始された。この水は、四阿山の湧水であり昔から集中豪雨があっても水量・水質に変化のない「神の水」として、地元で大切にされた水である。

地域	年	許可等	内 容
真 田	昭和 34 年	給水開始	長中央簡水、傍陽中央簡水が完成し、給水開始
	昭和 38 年	給水開始	本原簡水が完成し、給水開始
	昭和 39 年	給水開始	その他集落単位の水道組合を真田簡易水道として発足
	昭和 44 年	上水道の新設	菅平上水道が完成し、給水開始
	昭和 61 年	簡易水道の統合	傍陽中央簡水と穴沢簡水の統合による施設整備
	平成 4 年	簡易水道の統合	傍陽西部簡水と中組簡水、入軽井沢簡水の統合による施設整備
	平成 7 年	認可変更	菅平上水道の拡張工事
	平成 8 年	認可変更	本原簡水の浄水方法の変更として膜ろ過施設を建設
	平成 18 年	合併による経営の統合	計画給水人口 21,178 人 菅平水道事業、宮浦簡水、大日向簡水、長中央簡水、大良簡水、傍陽中央簡水、本原簡水、傍陽西部簡水、三島平専用水道の計 9 事業で運営
	平成 25 年	認可変更	傍陽中央簡水 紫外線照射装置の設備に伴う浄水方式の変更

エ 武石地域

明治 22 年市町村制度の施行により誕生した武石村の水道は、過半数の家が流水を使用していたため、農耕期になれば流水が極めて減少し、かつ雨降り後は泥水として全く使用できなくなる状況にあった。このようにほとんどの家庭で衛生環境が悪く、伝染病の発生率が高いことから、昭和 30 年に上水道建設委員会を発足し、事業費 4,100 万円で全村を対象とした事業を計画する。

特に、水源地設定におけるワサビ畑の補償では多くの関係者の協力があり、また台所改善を目指す婦人労働による戸別割り当て掘削など、全村挙げた積極的奉仕がされた。こうして、昭和 31 年に「鍛横沢」「唐沢」「上権現」「上余里」地籍の湧水を利用した、すべて自然流下方式による水道の給水が開始された。

地域	年	許可等	内 容
武	昭和 31 年	給水開始	武石村上水道の給水を開始 計画給水人口 5,600 人
	昭和 38 年	水源の拡張工事	水源水量減少に対応するための唐沢水源拡張工事
	昭和 40 年	簡易水道の新設	美ヶ原高原白樺平別荘開発に伴う簡易水道の新設
	昭和 43 年	認可変更	上水道から簡易水道に認可変更
	昭和 50 年	認可変更	増大する給水人口に対応するための権現水源の新設
石	昭和 62 年	拡張工事	石綿管路の布設替工事の実施
	平成 18 年	合併時	計画給水人口 6,100 人。武石簡易水道、獅子ヶ城簡易水道の 2 事業で運営
	平成 20 年	合併による経営の統合	上田市上水道事業に経営統合
	平成 25 年	認可変更	武石簡易水道 紫外線照射装置の整備に伴う浄水方式の変更

(3) 事業計画

ア 上田地域

区分 (事業認可名称)	事業名	認可年月日	認可番号	着工年月	竣工年月	事業費 (千円)	目標 年次	基本計画				
								給水人口 (人)	一人一日 最大給水 量 (ℓ)	一日 最大給水 量 (m ³)	一日 平均給水 量 (m ³)	
上 田	上田上水道	創 設	T9.07.10	内務省8長衛 第93号	T9.07	T12.01	850	-	40,000	97	3,880	-
		第1次拡張	S25.11.30	厚生省長衛 第203号	S25.11	S28.05	55,000	S40	60,000	300	18,000	-
		第2次拡張	S37.03.31	厚生省長環 第119号	S37.03	S38.03	15,800	S48	63,700	300	18,660	-
		第3次拡張	S38.12.26	厚生省収環 第502号	S39.04	S42.03	200,000	S59	66,000	405	26,720	-
		第3次変更(1)	S40.12.06	厚生省環 第828号	S40.04	S47.03	865,500	S59	103,000	480	49,500	-
		第4次拡張	S47.03.31	厚生省衛 第276号	S47.04	S52.03	545,000	S61	107,000	600	64,200	-
		第5次拡張	S53.03.30	厚生省衛 第215号	S53.04	S53.07	18,000	S65	101,000	641	64,700	-
	第6次拡張	H10.07.14	厚生省収生衛 第921号	-	H24.03	9,200,000	H23	113,000	580	65,500	37,060	
岩清水簡易水道	創 設	T14.06.26	-	-	-	-	-	360	139	50	31	

イ 丸子地域

区分 (事業認可名称)	事業名	認可年月日	認可番号	着工年月	竣工年月	事業費 (千円)	目標 年次	基本計画				
								給水人口 (人)	一人一日 最大給水 量 (ℓ)	一日 最大給水 量 (m ³)	一日 平均給水 量 (m ³)	
丸	丸子上水道	創 設	S32.12.09	厚生省長衛 第969号	S33.04	S35.08	150,000	S47	24,730	234	5,777	-
		第1回変更	S35.03.31	厚生省長衛 第285号	S35.09	S36.08	203,000	S47	24,730	234	5,777	-
		第1次拡張	S37.12.28	厚生省長環 第428号	S38.09	S39.05	13,337	S47	24,730	234	5,777	-
		第2次拡張	S48.03.31	厚生省長環 第303号	S48.09	S53.03	860,000	S60	27,000	563	15,200	-
		第1回変更	H1.09.30	長野県指令 元食 第37-6号	H2.09	H3.03	85,000	H15	27,000	563	15,200	-
		第2回変更	H2.08.31	長野県指令 2食 第27-5号	H3.09	S37.07	700,000	H15	27,000	563	15,200	9,773
鹿教湯簡易水道	創 設	S28.03.26	-	-	-	S28.05	2,784	S38	1,150	131	151	553
	変 更		-	-	-	-	-	-	1,500	153	230	-
深山簡易水道	創 設	S28.07.16	-	-	-	S29.03	11,363	S38	1,800	150	270	75
	変 更		-	-	-	-	-	-	-	-	360	-
子 (郷仕川原簡易水道)	創 設	S30.03.30	-	-	-	S30.05	1,450	S40	200	150	30	-
	変 更		-	-	-	-	-	-	-	-	50	-
(藤原田簡易水道)	創 設	S35.07.26	-	-	-	S30.05	6,720	S45	670	150	100.5	-
	変 更	S38.04.19	長野県指令 38環 第55-18号	-	-	-	-	-	870	-	-	-
(須川湖ハイランド専用水道)	創 設	S47.01.18	-	-	-	S47.10	14,475	S57	670	200	134	-

ウ 真田地域

区分 (事業認可名称)	事業名	認可年月日	認可番号	着工年月	竣工年月	事業費 (千円)	目標 年次	基本計画				
								給水人口 (人)	一人一日 最大給水 量 (ℓ)	一日 最大給水 量 (m ³)	一日 平均給水 量 (m ³)	
真	菅平高原上水道	創 設	S42.03.31	長野県指令 42環 第12-2号	S42.04	S45.03	200,000	S51	9,000	411	3,700	-
		第1回変更	H7.12.28	長野県指令 7食 第28-1号	H7.07	H8.03	963,085	H21	9,000	411	3,700	-
	宮浦簡易水道	創 設	S30.07.15	長野県指令 30環 第356号	S30.07	S30.08	870	S39	170	150	25.5	-
	大日向簡易水道	創 設	S33.05.23	長野県指令 33環 第70-2号	S33.11	S34.08	5,060	S42	800	150	120.0	-
	長中央簡易水道	創 設	S33.05.23	長野県指令 33環 第70号	S33.08	S34.03	14,501	S34	3,000	214	642	-
	大良簡易水道	創 設	S30.11.05	長野県指令 30環 第684号	S30.12	S31.03	940	S39	110	150	16.5	-
	(穴沢簡易水道)	創 設	S26.06.28	長野県指令 26河 第912号	S26.08	S27.04	1,808	S35	250	150	37.5	-
	傍陽中央簡易水道 (穴沢簡水は、 S62.3.31廃止統合)	創 設	S33.12.01	長野県指令 33環 第283号	S34.04	S35.10	16,230	S44	3,200	150	480	-
		第1回変更	S62.03.31	長野県指令 61食 第133-26号	S62.06	S62.12	46,200	H6	2,500	220	550.2	-
		第2回変更	H25.07.29	長野県指令 25水 第160-1号	H25.08	H31.03	274,275	H30	1,800	506	910.0	-
本原簡易水道	創 設	S30.07.15	長野県指令 30環 第356号	S30.07	S30.08	870	S39	170	150	25.5	-	
	第1次拡張	H7.06.26	長野県指令 7食 第29-3号	H7.06	H17.03	830,000	H16	4,700	383	1,800	-	
傍陽西部簡易水道 (中組簡水、軽井沢 簡水、松井新田簡 水を廃止統合)	創 設	S32.06.10	長野県指令 32環 -	-	-	-	S41	640	150	96	-	
	創 設	S35.08.03	長野県指令 35環 -	-	-	-	S44	690	150	103.5	-	
	創 設	S35.12.20	長野県指令 35環 -	-	-	-	S44	130	150	19.5	-	
	第1回変更	H4.05.25	長野県指令 4食 第15-8号	H6.09	H8.03	848,000	H13	800	396	317	-	
三島平専用水道(飲 料水供給施設を廃 止し、専用水道とす る)	創 設	H2.03.20	-	-	-	-	H11	98	250	24.5	-	
	第1回変更	H15.03.24	14真上 第127-2号	-	H15.04	-	H24	98	250	24.5	-	

エ 武石地域

区分 (事業認可名称)	事業名	認可年月日	認可番号	着工年月	竣工年月	事業費 (千円)	目標 年次	基本計画				
								給水人口 (人)	一人一日 最大給水 量 (ℓ)	一日 最大給水 量 (m ³)	一日 平均給水 量 (m ³)	
武	武石簡易水道	創 設	S43.03.30	長野県指令 42環 第12-26号	-	S43.03	14,000	S53	4,300	274	1,178	-
		第1次変更	S50.06.12	長野県指令 50環衛水 第3-13号	-	S51.04	82,079	S59	4,300	329	1,415	-
		第2次変更	H25.07.29	長野県指令 25水 第160-2号	H25.08	H28.03	264,328	H33	3,930	489	1,920	-
石	獅子ヶ城簡易水道	創 設	S52.03.31	長野県指令 52環水 第8-27号	S52.04	S52.07	-	S61	320	250	80	-
		第1次変更	S61.02.28	長野県指令 60食 第5-19号	S60.12	S63.03	-	H8	340	235	79.9	-
		第2次変更	S62.07.22	長野県指令 60食 第51-5号	S62.06	H4.03	294,813	H9	1,540	203	312.8	-
		第3次変更	H3.11.11	長野県指令 3食 第21-14号	H3.11	H4.03	66,670	H12	2,100	253	531	-
	第4次変更	H5.03.30	長野県指令 5食 第 号	H5.05	H5.09	134,491	H15	2,100	253	531	-	

2 財政の状況

(1) 収益的収支及び損益勘定留保資金の推移

(税込・単位:円)

項目	平成25年度		平成24年度
	年度	対前年度比	
水道事業収益	2,578,737,680	△0.48%	2,591,074,101
営業収益	2,413,256,925	△0.28%	2,420,006,904
営業外収益	165,480,755	△3.27%	171,067,197
特別利益	-	—	-
水道事業費用	2,292,521,427	0.51%	2,280,928,495
営業費用	1,989,208,057	2.80%	1,935,016,296
営業外費用	302,825,120	△12.46%	345,912,199
特別損失	488,250	皆増	-
収支差引額	286,216,253	△7.72%	310,145,606

(税込・単位:円)

項目	平成25年度		平成24年度
	年度	対前年度比	
損益勘定留保資金発生額	957,907,307	△3.12%	988,749,036
減価償却費	944,400,066	△2.65%	970,114,437
固定資産除却費	13,507,241	△23.57%	17,671,935
固定資産売却損	-	—	-
固定資産譲渡損	-	—	-
繰延勘定償却	-	—	-
固定資産除却損	-	—	-
消費税資本的収支調整額(△)	-	—	-
欠損金(△)	-	—	-
欠損金処理額	-	—	-
その他	-	皆減	962,664
損益勘定留保資金補てん額	760,421,521	49.90%	507,302,643
過年度不足分補てん額	-	—	-
過年度分修正	-	—	-
損益勘定留保資金残高	2,778,374,971	7.65%	2,580,889,185

(2) 資本的収支及び補てん財源の推移

(税込・単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
資本的収入		180,178,300	21.92%	147,778,874
負担金		34,548,300	△34.22%	52,521,874
企業債		19,700,000	9750.00%	200,000
固定資産売却代金		-	—	-
他会計補助金		73,191,000	△10.62%	81,883,000
出資金		10,895,000	174.16%	3,974,000
国庫(県)補助金		41,844,000	364.93%	9,000,000
国庫補助金		41,844,000	364.93%	9,000,000
県補助金		-	—	-
返還金		-	—	-
その他資本的収入		-	皆減	200,000
資本的支出		1,267,175,565	45.32%	871,986,524
建設改良事業費		758,245,939	103.00%	373,518,660
企業債償還金		508,929,626	2.10%	498,467,864
開発費		-	—	-
退職給与金		-	—	-
試験研究費		-	—	-
災害損失		-	—	-
返還金		-	—	-
投資		-	—	-
その他資本的支出		-	—	-
収支差引額		△1,086,997,265	50.09%	△724,207,650
翌年度繰越充当額		-	—	-

(税込・単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
補てん財源		1,086,997,265	50.09%	724,207,650
消費税資本的収支調整額		25,192,558	148.48%	10,138,614
繰越工事資金		-	—	-
引継金		-	—	-
引継貯蔵品		-	—	-
損益勘定留保資金		760,421,521	49.90%	507,302,643
利益剰余金処分額		301,383,186	45.76%	206,766,393
減債積立金		301,383,186	45.76%	206,766,393
建設改良積立金		-	—	-
未処分利益剰余金		-	—	-
その他		-	—	-
補てん不足額		-	—	-

(3) 財務諸表の推移

ア 比較損益計算書

(単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
営業収益		2,298,954,157	△0.27%	2,305,166,452
給水収益		2,285,400,723	△0.47%	2,296,107,494
受託工事収益		3,641,143	924.42%	355,436
その他の営業収益		9,912,291	13.89%	8,703,522
営業費用		1,961,679,250	2.65%	1,911,046,134
原水及び浄水費		298,364,976	13.17%	263,650,076
配水及び給水費		122,636,101	3.87%	118,066,366
量水器費		65,050,488	79.33%	36,275,090
受託工事費		2,485,896	15.76%	2,147,396
営業費		61,653,354	2.43%	60,193,434
総係費		453,581,128	2.63%	441,964,736
減価償却費		944,400,066	△2.65%	970,114,437
資産減耗費		13,507,241	△23.57%	17,671,935
その他の営業費用		-	皆減	962,664
営業利益・損失		337,274,907	△14.42%	394,120,318
営業外収益		161,904,740	△3.80%	168,299,025
受取利息及び配当金		4,611,879	38.85%	3,321,412
加入金		33,916,000	15.70%	29,314,000
他会計補助金		37,263,000	△37.38%	59,507,000
施設管理費		-	—	-
国庫補助金		-	—	-
雑収		86,113,861	13.07%	76,156,613
営業外費用		238,702,604	△8.56%	261,036,157
支払利息及び企業債取扱諸費		221,826,347	△5.84%	235,580,730
繰延勘定償却		-	—	-
雑支出		16,876,257	△33.70%	25,455,427
経常利益・損失		260,477,043	△13.57%	301,383,186
特別利益		-	—	-
固定資産売却益		-	—	-
過年度損益修正益		-	—	-
その他特別利益		-	—	-
特別損失		465,000	皆増	-
固定資産売却損		-	—	-
過年度損益修正損		-	—	-
固定資産譲渡損		-	—	-
固定資産除却損		-	—	-
臨時損失		-	—	-
その他特別損失		-	—	-
災害復旧費		465,000	皆増	-
当年度純利益・損失		260,012,043	△13.73%	301,383,186
前年度繰越利益剰余金・欠損金		-		-
当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金		260,012,043		301,383,186

イ 剰余金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
利益剰余金	前年度繰入額	301,383,186	45.76%	206,766,393
	前年度処分額	301,383,186	45.76%	206,766,393
	当年度末残高	-	—	-
	積立金合計	-	—	-
(欠損金)の部	前年度利益剰余金処分額	301,383,186	45.76%	206,766,393
	減債積立金	301,383,186	45.76%	206,766,393
	前年度欠損金処理額	-	—	-
	当年度純利益・損失	260,012,043	△13.73%	301,383,186
	当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金	260,012,043	△13.73%	301,383,186
資本剰余金の部	受贈財産評価額	-	—	-
	前年度処分額	13,120,642	26.15%	10,401,145
	前年度発生高	-	—	-
	前年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	215,171,787	6.49%	202,051,145
	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	1,561,631,826	18113.35%	8,574,106
	前年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	1,722,336,294	971.74%	160,704,468
	他会計補助金	-	—	-
剰余金の部	前年度処分額	723,183,966	817.34%	78,835,170
	前年度発生高	-	—	-
	前年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	1,256,565,037	135.58%	533,381,071
	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	5,233,309,218	18546.55%	28,065,831
	前年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	5,691,815,153	1141.38%	458,505,935
	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	120,776,693	440.74%	22,335,597
その他の部	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	5,430,665,569	2850104.46%	190,536
	前年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	5,430,856,105	2850204.46%	190,536
翌年度繰越資本剰余金		14,592,927,098	866.27%	1,510,239,184

ウ 比較貸借対照表

(単位:円)

項目	年度	平成25年度末		平成24年度末
			対前年度比	
固定資産		26,602,448,653	△0.86%	26,832,237,772
有形固定資産		26,465,133,004	△0.84%	26,689,997,168
土地		754,183,686	0.19%	752,737,557
建物		2,002,405	0.00%	2,002,405
構築物		452,060,093	△4.28%	472,284,656
機械及び装置		24,024,147,789	△1.21%	24,318,419,028
車両運搬具		1,091,333,414	2.74%	1,062,269,901
工具器具及び備品		37,143,151	73.27%	21,435,987
建設仮勘定		50,458,177	45.99%	34,561,918
無形固定資産		53,804,289	104.69%	26,285,716
電話加入権		137,300,649	△3.46%	142,225,604
施設利用権		1,252,000	0.00%	1,252,000
水利権		134,963,649	△3.47%	139,811,104
その他無形固定資産		1,085,000	△6.67%	1,162,500
投資資産		-	-	-
投資有価証券		15,000	0.00%	15,000
流動資産		15,000	0.00%	15,000
現金及び預金		3,916,861,662	6.75%	3,669,343,984
未収金		3,532,922,654	7.67%	3,281,131,524
貯蔵品		314,779,587	△2.46%	322,702,582
原料		16,400,621	5.53%	15,540,878
水量		12,763,072	39.33%	9,160,258
前払金		3,637,549	△42.99%	6,380,620
その他流動資産		52,758,800	5.58%	49,969,000
繰延勘定		-	-	-
繰延費用		-	-	-
資産合計		30,519,310,315	0.06%	30,501,581,756
固定負債		595,061,143	0.43%	592,524,587
引当金		595,061,143	0.43%	592,524,587
修繕引当金		445,853,943	△0.23%	446,893,943
退職給付引当金		149,207,200	2.46%	145,630,644
流動負債		278,174,281	46.98%	189,256,502
未払金		277,021,643	47.33%	188,027,014
預り金		1,152,638	△6.25%	1,229,488
その他流動負債		-	-	-
負債合計		873,235,424	11.70%	781,781,089
資本		14,793,135,750	△46.99%	27,908,178,297
自己資本		6,161,340,363	△67.20%	18,787,153,284
引継資本		4,553,407,544	△73.97%	17,491,498,651
繰入資本		71,432,500	18.00%	60,537,500
組入資本		1,536,500,319	24.40%	1,235,117,133
借入資本		8,631,795,387	△5.36%	9,121,025,013
企業債		8,631,795,387	△5.36%	9,121,025,013
剰余金		14,852,939,141	719.87%	1,811,622,370
資本剰余金		14,592,927,098	866.27%	1,510,239,184
受贈財産評価額		215,171,787	6.49%	202,051,145
国庫(県)補助金		1,722,336,294	971.74%	160,704,468
他会計補助金		1,256,565,037	135.58%	533,381,071
工事負担金		5,691,815,153	1141.38%	458,505,935
他会計負担金		276,182,722	77.72%	155,406,029
その他資本的収入		5,430,856,105	2850204.46%	190,536
利益剰余金		260,012,043	△13.73%	301,383,186
当年度末処分利益剰余金・未処理欠損金		260,012,043	△13.73%	301,383,186
資本合計		29,646,074,891	△0.25%	29,719,800,667
負債資本合計		30,519,310,315	0.06%	30,501,581,756

(4) 資金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
受 入 資 金		2,764,952,029	0.16%	2,760,602,865
事業収益		2,343,446,305	△0.94%	2,365,674,659
前年度未収金		248,925,771	△10.68%	278,703,750
企業債		19,700,000	9750.00%	200,000
国庫補助金		36,434,000	304.82%	9,000,000
工事負担金		15,570,000	69.36%	9,193,700
他会計補助金		73,191,000	△10.62%	81,883,000
その他資本的収入		-	皆減	200,000
他会計負担金		15,646,300	33.88%	11,686,874
前払金戻入		8,329	98.31%	4,200
契約保証金		1,067,750	皆増	-
還付預り金		1,174	皆増	-
その他預り金		48,300	2642.76%	1,761
資産売却代金		-	——	-
事業費戻入		18,100	△77.63%	80,921
資本的支出戻入		-	——	-
固定資産売却代金		-	——	-
一般会計出資金		10,895,000	174.16%	3,974,000
支 払 資 金		2,513,160,899	16.10%	2,164,644,620
事業費用		1,110,733,711	2.38%	1,084,865,358
前年度未払金		173,626,614	25.65%	138,185,218
貯蔵品		21,330,148	34.58%	15,848,897
建設改良費		466,638,199	82.27%	256,015,037
企業債償還金		508,929,626	2.10%	498,467,864
退職給与引当金取崩		5,177,444	△76.82%	22,335,009
短期貸付金		-	——	-
前払金		222,548,450	55.18%	143,417,690
契約保証金返還		687,750	皆増	-
還付金		3,391,357	△38.43%	5,507,786
その他預り金		97,600	5442.31%	1,761
収 支 差 引 額		251,791,130	△57.75%	595,958,245
前年度末現金預金残高		3,281,131,524	22.19%	2,685,173,279
当年度末現金預金残高		3,532,922,654	7.67%	3,281,131,524

(5) 費用構成の推移

(税抜・単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
経常費用		2,200,381,854	1.30%	2,172,082,291
受託工事費		2,485,896	15.76%	2,147,396
材料及び不用品売却原価		-	皆減	962,664
費用合計		2,197,895,958	1.33%	2,168,972,231

項目	年度	平成25年度			平成24年度	
			構成比	対前年度比		構成比
費用合計		2,197,895,958	100.00%	1.33%	2,168,972,231	100.00%
維持管理費		1,031,669,545	46.94%	7.10%	963,277,064	44.41%
職員給与費		397,981,751	18.11%	2.49%	388,320,691	17.90%
動力費		103,746,491	4.72%	10.11%	94,220,829	4.34%
光熱水費		5,501,937	0.25%	2.63%	5,360,752	0.25%
通信運搬費		19,815,230	0.90%	6.63%	18,582,859	0.86%
修繕費		193,452,709	8.80%	10.01%	175,852,651	8.11%
材料費		1,480,555	0.07%	△61.89%	3,885,411	0.18%
薬品費		14,810,497	0.67%	1.15%	14,642,706	0.68%
路面復旧費		-	0.00%	-	-	0.00%
委託料		119,637,033	5.44%	4.11%	114,917,653	5.30%
その他		175,243,342	7.97%	18.81%	147,493,512	6.80%
資本費		1,166,226,413	53.06%	△3.27%	1,205,695,167	55.59%
支払利息		221,826,347	10.09%	△5.84%	235,580,730	10.86%
減価償却費		944,400,066	42.97%	△2.65%	970,114,437	44.73%

項目	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
A 費用合計 (円)		2,197,895,958	1.33%	2,168,972,231
B 年間有収水量 (m ³)		14,965,999	△0.37%	15,021,301
給水原価 (A/B) (円/m ³)		146.86	1.71%	144.39

(6) 固定資産の推移

ア 有形固定資産

(単位:円)

資産名	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
土地		754,183,686	0.19%	752,737,557
施設用地		754,183,686	0.19%	752,737,557
立木		2,002,405	0.00%	2,002,405
建物		452,060,093	△4.28%	472,284,656
事務所用建物		24,005,721	△4.69%	25,186,064
施設用建物		422,111,157	△4.15%	440,385,350
その他建物		5,943,215	△11.47%	6,713,242
構築物		24,024,147,789	△1.21%	24,318,419,028
原水及び浄水設備		2,966,041,208	△1.90%	3,023,609,528
配水設備		21,058,106,581	△1.11%	21,294,809,500
機械及び装置		1,091,333,414	2.74%	1,062,269,901
電気設備		77,337,760	△10.36%	86,277,236
ポンプ設備		132,911,321	△1.14%	134,438,335
塩素滅菌設備		41,270,182	△8.73%	45,217,413
量水器		123,460,928	△0.26%	123,776,789
その他機械装置		716,353,223	6.51%	672,560,128
車両運搬具		37,143,151	73.27%	21,435,987
工具器具及び備品		50,458,177	45.99%	34,561,918
建設仮勘定		53,804,289	104.69%	26,285,716

(注) 金額は減価償却累計額を減じた純額で掲載している。

イ 無形固定資産

(単位:円)

資産名	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
電話加入権		1,252,000	0.00%	1,252,000
施設利用権		134,963,649	△3.47%	139,811,104
水利権		1,085,000	△6.67%	1,162,500

ウ 投資

(単位:円)

資産名	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
投資有価証券		15,000	0.00%	15,000

(7) 企業債残高の推移

ア 借入先別内訳

(単位:円)

借入先	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
財政融資資金	特別会計からの引継ぎ額	-	—	-
	借入額	-	—	-
	返済額	348,787,057	1.67%	343,042,244
	年度末未償還残高	6,023,976,804	△5.47%	6,372,763,861
公営企業金融	特別会計からの引継ぎ額	-	—	-
	借入額	19,700,000	9750.00%	200,000
	返済額	160,142,569	3.03%	155,425,620
	年度末未償還残高	2,607,818,583	△5.11%	2,748,261,152
合計	特別会計からの引継ぎ額	-	—	-
	借入額	19,700,000	9750.00%	200,000
	返済額	508,929,626	2.10%	498,467,864
	年度末未償還残高	8,631,795,387	△5.36%	9,121,025,013

イ 利率別年度末残高

(単位:円)

利率	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
1%未満		19,700,000	皆増	-
1.0%以上2.0%未満		2,214,582,285	△4.21%	2,311,900,321
2.0%以上3.0%未満		4,258,621,357	△4.86%	4,476,230,551
3.0%以上4.0%未満		1,088,920,451	△7.06%	1,171,580,452
4.0%以上5.0%未満		1,049,971,294	△9.59%	1,161,313,689
5.0%以上6.0%未満		-	—	-
6.0%以上7.0%未満		-	—	-
7.0%以上7.5%未満		-	—	-
7.5%以上8.0%未満		-	—	-
8.0%以上		-	—	-

(8) 繰入金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
損益勘定繰入金	営業収益	1,052,228	593.43%	151,742
	基準内繰入金	1,052,228	593.43%	151,742
	基準外繰入金	-	—	-
資本勘定繰入金	営業外収益	37,263,000	△37.38%	59,507,000
	基準内繰入金	37,226,000	△26.82%	50,866,000
	基準外繰入金	37,000	△99.57%	8,641,000
	計	38,315,228	△35.78%	59,658,742
資本勘定繰入金	基準内繰入金	38,278,228	△24.97%	51,017,742
	基準外繰入金	37,000	△99.57%	8,641,000
	資本勘定繰入金	104,311,700	△4.47%	109,187,174
合計	基準内繰入金	103,392,700	△0.11%	103,505,174
	基準外繰入金	919,000	△83.83%	5,682,000
	合計	142,626,928	△15.53%	168,845,916
合計	基準内繰入金	141,670,928	△8.32%	154,522,916
	基準外繰入金	956,000	△93.33%	14,323,000

(9) 経営分析

ア 労働の生産性

項目		平成25年度		平成24年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
平均給与 (千円)	上田市	9,045	↑416	8,629	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの職員給与費を示し、高すぎても低すぎてもよくない。
	同規模事業体平均			8,520		
	全国平均			8,858		
労働生産性 (千円)	上田市	52,249	↑1,023	51,226	$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの営業収益を示し高いほどよい。
	同規模事業体平均			78,282		
	全国平均			66,982		
労働分配率 (%)	上田市	17.31	↑0.46	16.85	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうち、職員に分配される割合を示し高すぎても低すぎてもよくない。
	同規模事業体平均			10.88		
	全国平均			13.22		
職員1人あたり有収水量 (㎡/人)	上田市	340,136	↑6,329	333,807	$\frac{\text{有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	高いほど効率的な経営がなされていると言える。
	同規模事業体平均			448,582		
	全国平均			369,226		

イ 施設の効率性

項目		平成25年度		平成24年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
施設利用率 (%)	上田市	54.06	↓0.74	54.80	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$	施設の能力のうち、実際に利用されている割合を表す指標。高いほどよい。
	同規模事業体平均			62.50		
	全国平均			60.63		
負荷率 (%)	上田市	85.27	↓1.93	87.20	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	高いほどよい。なお、この値が低いとピーク時以外に利用しない容量が生じ、非効率となる。
	同規模事業体平均			87.62		
	全国平均			87.45		
最大稼働率 (%)	上田市	63.40	↑0.55	62.85	$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$	高いほどよいが、100%に近い場合は施設能力が限界に近いため、注意が必要である。
	同規模事業体平均			71.33		
	全国平均			69.32		
有収率 (%)	上田市	83.33	↑0.19	83.14	$\frac{\text{有収水量}}{\text{年間配水量}} \times 100$	配水量のうち、実際に料金収入に結びつく水量の割合。高いほどよい。
	同規模事業体平均			89.62		
	全国平均			89.97		
配水管使用効率 (㎡/m)	上田市	17.75	↓0.13	17.88	$\frac{\text{年間配水量}}{\text{管路総延長}}$	管1mあたり、年間どのくらいの水が流れたかをみる指標。高いほど効率的である。
	同規模事業体平均			20.62		
	全国平均			23.05		

ウ 経営資本の効率性及び財政状態の健全性

項目		平成25年度		平成24年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
経営資本 営業利益率 (%)	上田市	1.11	↓0.18	1.29	$\frac{\text{営業利益}}{\text{平均経営資本}} \times 100$	投下した経営資本と営業利益との関係を表す指標。高いほどよい。
	同規模事業者平均			1.05		
	全国平均			1.15		
営業収益 営業利益率 (%)	上田市	14.67	↓2.43	17.10	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうちどの程度の割合が利益であるのかを示す指標。高いほどよい。
	同規模事業者平均			10.24		
	全国平均			11.03		
経営資本 回転率 (回)	上田市	0.08	0.00	0.08	$\frac{\text{営業収益}}{\text{平均経営資本}}$	投下した経営資本と営業収益との関係を表す指標。高いほどよい。
	同規模事業者平均			0.10		
	全国平均			0.10		
経常収支比率 (%)	上田市	111.84	↓2.04	113.88	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}}$	経常的な収益・費用の関係を表す指標。100%以上なら経常利益が出ている。高いほどよい。
	同規模事業者平均			107.91		
	全国平均			108.21		
供給単価 (円/m)	上田市	152.71	↓0.15	152.86	$\frac{\text{給水収益}}{\text{有収水量}}$	料金対象水量1m ³ 当たりの料金。高いほど料金水準が高いことを示す。
	同規模事業者平均			166.43		
	全国平均			171.60		
給水原価 (円/m)	上田市	146.86	↑2.47	144.39	$\frac{\text{給水費用}}{\text{有収水量}}$	水を1m ³ 供給するためのコスト。高いほど料金水準を高くする必要がある。
	同規模事業者平均			166.17		
	全国平均			173.17		
企業債 元利償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	31.97	0.00	31.97	$\frac{\text{企業債元利償還金}}{\text{給水収益}} \times 100$	企業債発行額が事業規模に適切かどうかを判断する基準。低いほどよい。
	同規模事業者平均			25.86		
	全国平均			29.45		
企業債 元償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	22.27	↑0.56	21.71	$\frac{\text{企業債償還金}}{\text{給水収益}} \times 100$	料金収入のうち、企業債返済に充てられる割合を示す指標。低いほどよい。
	同規模事業者平均			19.43		
	全国平均			22.14		
企業債利息対 料金収入比率 (%)	上田市	9.71	↓0.55	10.26	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	料金収入のうち、企業債利息に充てられる割合を示す指標。低いほどよい。
	同規模事業者平均			6.43		
	全国平均			7.31		
減価償却率 (%)	上田市	3.53	↓0.06	3.59	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{減価償却対象資産}} \times 100$	償却資産に投資した資金の回収速度を示す。高いほど回収が早くなる。
	同規模事業者平均			3.46		
	全国平均			3.55		

(注) 平均経営資本=(総資本(負債資本合計)-建設仮勘定-投資)の前年度末と当年度末の平均

(注) 給水費用=経常費用-(受託工事費+附帯事業費+材料及び不用品売却原価)

(注) 減価償却費対象資産=有形固定資産+無形固定資産-(土地+建設仮勘定)+減価償却費

項目		平成25年度		平成24年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
固定資産 構成比率 (%)	上田市	87.17	↓0.80	87.97	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資産合計}} \times 100$	資産合計に対する固定資産の割合を示す指標。低い方が望ましい。
	同規模事業者平均			87.77		
	全国平均			89.27		
自己資本 構成比率 (%)	上田市	68.86	↑1.33	67.53	$\frac{\text{資本}}{\text{総資本}} \times 100$	企業の自己資本調達度を判断する指標。50%以上が望ましい。
	同規模事業者平均			72.36		
	全国平均			68.29		
固定比率 (%)	上田市	126.59	↓3.67	130.26	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本}} \times 100$	自己資本で固定資産をどの程度賄っているかをみる指標。理論上では100%以下が望ましい。
	同規模事業者平均			121.30		
	全国平均			130.73		
固定負債 構成比率 (%)	上田市	30.23	↓1.62	31.85	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	総資本に対する固定負債の割合を示す指標。低いほどよい。
	同規模事業者平均			25.72		
	全国平均			29.53		
固定資産 長期資本比率 (%)	上田市	87.97	↓0.55	88.52	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本+固定負債}} \times 100$	固定資産への投資の健全性をみる指標。100%以下がよい。
	同規模事業者平均			89.49		
	全国平均			91.26		
流動比率 (%)	上田市	1,408.06	↓530.76	1,938.82	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	企業の短期的な支払能力をみる指標。100%以上で高いほどよい。
	同規模事業者平均			633.31		
	全国平均			491.95		
酸性試験比率 (当座比率) (%)	上田市	1,383.20	↓521.00	1,904.20	$\frac{\text{現金預金+未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	流動比率よりもさらに即時的な支払能力をみる指標。高いほどよい。
	同規模事業者平均			569.60		
	全国平均			419.94		

(注) この表では、借入資本金を資本ではなく固定負債に分類して算出を行っている。

* 同規模事業者平均は、給水人口10万人以上15万人未満の事業者の平均である。

* 全国平均は、末端給水事業(上水道事業のみ)の平均である。

* 出典:地方公営企業年鑑

3 業務の状況

(1) 業務量

		平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
A	行政区域内人口 (人)	160,839	△0.31%	161,337
B	給水区域内人口 (人)	137,066	△0.29%	137,460
C	年度末給水人口 (人)	136,775	△0.28%	137,164
C/A	普及率 (対行政区域内) (%)	85.04	/	85.02
C/B	普及率 (対給水区域内) (%)	99.79		99.78
D	給水区域内戸数 (戸)	56,255	0.62%	55,906
E	年度末給水戸数 (戸)	56,139	0.64%	55,784
E/D	普及率 (%)	99.79	/	99.78
F	年間配水量 (m ³)	17,959,805	△0.60%	18,068,291
G	年間有収水量 (m ³)	14,965,999	△0.37%	15,021,301
G/F	有収率 (%)	83.33	/	83.14
	供給単価 (円/m ³)	152.71	/	152.86
	給水原価 (円/m ³)	146.86	/	144.39
	薬品及び電力使用量			
	滅菌用次亜塩素酸ソーダ (kg)	146,924	4.39%	140,740
	沈澱用ポリ塩化アルミニウム (kg)	131,100	59.16%	82,370
	ポリシカ鉄凝集剤 (kg)	107,540	△0.33%	107,900
	揚水電力量 (kwh)	5,930,497	5.43%	5,625,195
	水道料金調定件数 (件)	359,576	0.53%	357,675

(注) 人口は、外国人登録者を含む。

(2) 給水人口の推移

(単位:人)

事業	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
上田水道事業		99,156	△0.08%	99,240
丸子水道事業		22,799	△0.57%	22,930
菅平水道事業		1,229	△2.07%	1,255
岩清水簡易水道事業		192	0.52%	191
深山簡易水道事業		125	△0.79%	126
宮浦簡易水道事業		37	△5.13%	39
大日向簡易水道事業		223	0.00%	223
長中央簡易水道事業		2,335	△0.93%	2,357
大良簡易水道事業		3	0.00%	3
傍陽中央簡易水道事業		1,772	△1.72%	1,803
本原簡易水道事業		4,443	△0.27%	4,455
傍陽西部簡易水道事業		604	△2.27%	618
三島平専用水道事業		54	1.89%	53
	小計	132,972	△0.24%	133,293
武石簡易水道事業		3,784	△1.82%	3,854
獅子ヶ城簡易水道事業		19	11.76%	17
	計	136,775	△0.28%	137,164

(3) 加入金の状況
(税込・単位:円)

期間 口径	平成26年4月1日～
13mm	49,680
20mm	124,200
25mm	248,400
30mm	356,400
40mm	680,400
50mm	1,296,000
75mm	3,348,000
100mm	4,536,000
125mm以上	管理者が別に定める額
備考	消費税改正に伴う改定

(4) 収納状況の推移

(税込・単位:円)

年度	調定額	収入額	収入未済額	現年収納率		不納欠損額
					前年との差	
平成24年度	2,410,912,849	2,380,553,711	30,359,138	98.74%	△0.31	18,671,427
平成25年度	2,399,670,756	2,367,056,110	32,614,646	98.64%	△0.10	15,178,791

(注) それぞれ、翌年度5月末日時点の数値である。

(5) 水道料金の納付方法の推移(1期当たり平均)

(単位:件)

納付方法	年度	平成25年度		平成24年度		
		構成比	対前年度比	構成比		
口座振替		31,155	82.02%	0.37%	31,040	82.51%
直接納付		6,830	17.98%	3.83%	6,578	17.49%
コンビニエンスストア		4,560	12.00%	2.15%	4,464	11.87%
その他		2,270	5.98%	7.38%	2,114	5.62%
合計		37,985	100.00%	0.98%	37,618	100.00%

(注) 旧上田市で実施していたコンビニ収納を平成18年7月から全地域で始めた。

(6) 口径別有収水量・調定件数・調定額

ア 有収水量

(単位: m³)

	平成25年度			平成24年度	
		構成比	対前年度比		構成比
13mm	10,195,804	68.13%	△0.56%	10,253,284	68.26%
20mm	938,682	6.27%	0.36%	935,287	6.23%
25mm	739,268	4.94%	0.88%	732,852	4.88%
30mm	272,301	1.82%	3.48%	263,139	1.75%
40mm	676,511	4.52%	1.27%	668,043	4.45%
50mm	935,243	6.25%	△6.46%	999,841	6.66%
75mm	953,442	6.37%	9.20%	873,131	5.81%
100mm	225,630	1.51%	△7.55%	244,052	1.62%
125mm	0	0.00%	△100.00%	8,544	0.06%
150mm	29,118	0.19%	△32.48%	43,128	0.29%
合計	14,965,999	100.00%	△0.37%	15,021,301	100.00%

イ 調定件数

(単位: 件)

	平成25年度			平成24年度	
		構成比	対前年度比		構成比
13mm	332,158	92.37%	0.53%	330,403	92.38%
20mm	16,697	4.64%	0.75%	16,573	4.63%
25mm	6,376	1.77%	△0.48%	6,407	1.79%
30mm	1,140	0.32%	3.73%	1,099	0.31%
40mm	1,717	0.48%	△0.12%	1,719	0.48%
50mm	998	0.28%	1.11%	987	0.28%
75mm	415	0.12%	1.97%	407	0.11%
100mm	69	0.02%	1.47%	68	0.02%
125mm	0	0.00%	△100.00%	6	0.00%
150mm	6	0.00%	0.00%	6	0.00%
合計	359,576	100.00%	0.53%	357,675	100.00%

ウ 調定額 (税込)

(単位: 円)

	平成25年度			平成24年度	
		構成比	対前年度比		構成比
13mm	1,436,299,609	59.85%	△0.80%	1,447,951,667	60.06%
20mm	171,240,495	7.14%	0.32%	170,687,964	7.08%
25mm	143,877,454	6.00%	0.64%	142,966,932	5.93%
30mm	60,477,577	2.52%	8.34%	55,822,636	2.32%
40mm	146,061,805	6.09%	△0.39%	146,639,078	6.08%
50mm	192,622,164	8.03%	△5.54%	203,926,102	8.46%
75mm	194,315,151	8.10%	8.08%	179,783,053	7.46%
100mm	48,026,447	2.00%	△6.22%	51,213,453	2.12%
125mm	0	0.00%	△100.00%	2,748,180	0.11%
150mm	6,750,054	0.28%	△26.42%	9,173,784	0.38%
合計	2,399,670,756	100.00%	△0.47%	2,410,912,849	100.00%

(7) 用途別有収水量・調定件数・調定額

ア 有収水量

(単位:m³)

	平成25年度	
		構成比
家庭用	11,353,554	75.86%
浴場用	21,282	0.14%
官公署用	396,423	2.65%
学校用	256,442	1.71%
病院用	320,286	2.14%
事務所用	324,542	2.17%
営業用	1,383,027	9.24%
工場用	808,388	5.40%
その他	102,055	0.68%
合計	14,965,999	100.00%

イ 調定件数

(単位:件)

	平成25年度	
		構成比
家庭用	334,811	93.11%
浴場用	24	0.01%
官公署用	3,687	1.03%
学校用	390	0.11%
病院用	997	0.28%
事務所用	5,972	1.66%
営業用	9,087	2.53%
工場用	2,234	0.62%
その他	2,374	0.66%
合計	359,576	100.00%

ウ 調定額(税込)

(単位:円)

	平成25年度	
		構成比
家庭用	1,667,346,621	69.48%
浴場用	3,980,631	0.17%
官公署用	90,196,103	3.76%
学校用	61,239,844	2.55%
病院用	62,598,098	2.61%
事務所用	70,757,142	2.95%
営業用	263,456,091	10.98%
工場用	157,530,360	6.56%
その他	22,565,866	0.94%
合計	2,399,670,756	100.00%

(8) 公衆浴場組合補助金の状況

年度	組員数	使用水量 (m ³)	補助金額 (円)	対前年比 (%)
24	2	3,105	500,000	
25	2	3,132	503,000	100.6

出典:生活環境課

(9) 県営水道料金差額補助金の状況

年度	件数 (件)	補助金額 (円)	対前年比 (%)
24	5,318	17,158,544	
25	5,424	17,301,762	100.8

出典:市民課

4 施設の現況

(1) 水源(水利権等の許可状況)

水源名	種別	位置	河川名	水利権 許可年月日	取水量 (m ³ /日)
泉町水源	表流水	上田市小牧字坂下969-8	千曲川	平成24.4.9	36,288
新屋水源	表流水	上田市上野字堀越1789-2	神川(菅平ダム)	平成24.4.9	20,995
真田水源	表流水	上田市真田町長字下中井3784-5	神川(菅平ダム)	平成24.4.9	8,985
室賀水源	湧水	上田市上室賀字氷沢2987-1			290
岩清水水源	湧水	上田市殿城			50
依田川水源	表流水	上田市腰越字繁倉848-1	依田川	平成20.5.12	12,900
内村川水源	表流水	上田市西内字熊倉1766-11	内村川(内村ダム)	平成20.5.12	2,900
深山水源	湧水	上田市腰越			360
つちや水源	湧水	上田市真田町長1278-2442・2443			3,000
産子清水水源	湧水	上田市菅平高原1223-4697			300
裏ダボス水源	深井戸	上田市菅平高原1223-2344			400
宮浦水源	湧水	上田市真田町長1106			25.5
和熊水源	湧水	上田市真田町長1793-2			120
角間水源	湧水	上田市真田町長2808-3			642
旗見原水源	湧水	上田市真田町長4682			195.1
松井新田水源	深井戸	上田市真田町傍陽9052			317
小碓水源	湧水	上田市真田町傍陽3571			16.5
大松水源	湧水	上田市真田町傍陽国有林班48-3			600
菅ノ沢水源	湧水	上田市真田町傍陽1905-3			42
奈良尾第1水源	湧水	上田市真田町本原国有林班28-イ			600
奈良尾第2水源	表流水	上田市真田町本原4524-1	大沢川	平成26.4.1	1,400
長坂水源	湧水	上田市武石上本入2384-1			187
唐沢水源	湧水	上田市武石上本入1520			1,425
権現水源	湧水	上田市武石上本入572			176
余里水源	湧水	上田市武石余里1035-ニ			87
獅子ヶ城第1水源	深井戸	上田市武石小沢根576-46			80
獅子ヶ城第2水源	深井戸	上田市武石小沢根576-631			239
獅子ヶ城第3水源	湧水	上田市武石小沢根576-627			475
合計					93,095.1

(2) 取水施設(表流水)

ア 泉町水源地(上田水道)

施設の状況	規模及び能力	施設数
頭首工名	上田農水頭首工	
水利権取水量	0.42m ³ /s	
専用又は供用	供用	
沈砂池	RC造 2,100m ³	1池
ポンプ井	RC造 118m ³	1池

イ 新屋取入口(上田水道)

施設の状況	規模及び能力	施設数
水利権取水量	0.243m ³ /s	
専用又は供用	供用	
分水槽	RC造 7.0m ³	1池
沈砂池	RC造 362m ³	1池

ウ 真田取入口(上田水道)

施設の状況	規模及び能力	施設数
頭首工名	真田水源頭首工	
水利権取水量	0.104m ³ /s	
専用又は供用	供用	
沈砂池	RC造 102m ³	1池

エ 依田川取入口(丸子水道)

施設の状況	規模及び能力	施設数
頭首工名	依田川頭首工	
水利権取水量	0.149m ³ /s	
専用又は供用	供用	

オ 内村ダム取入口(丸子水道)

施設の状況	規模及び能力	施設数
名称	内村ダム	
水利権取水量	0.034m ³ /s	
専用又は供用	供用	

カ 奈良尾第2水源地(本原簡易水道)

施設の状況	規模及び能力	施設数
水利権取水量	0.0162m ³ /s	
沈砂池	RC造 37.2m ³	1池

(3) 浄水施設

ア 染屋浄水場

位置 上田市古里2250番地

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 56,500m ³ /日、(現況浄水能力46,800m ³ /日)	
着水井	RC造 79m ³	1井
混和池	RC造 70m ³	1池
フロック形成池	RC造 1,594m ³	1池
沈殿池	傾斜板方式 4,779m ³	1池
緩速ろ過池	RC造 ろ過面積 780m ² /池、ろ過速度 4.0~6.0m/日	13池
次亜塩注入機	150cc/分 340cc/分	4台、2台
配水池	RC造 2,000m ³ 、PC造 6,000m ³ 、PC造 4,800m ³ 、PC造 4,800m ³	4池
排水処理施設	加圧脱水機 206m ³ /日	1式
管理棟	RC造 2階建 280m ² 、123.9m ²	2棟
水質検査棟	RC造 2階建 331.9m ²	1棟

イ 石舟浄水場

位置 上田市真田町長4100番地

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 9,000m ³ /日、(現況浄水能力9,000m ³ /日)	
着水井	RC造 17.2m ³	1井
混和池	RC造 12.0m ³	1池
フロック形成池	RC造 387m ³	1池
沈殿池	RC造 4,250m ³	1池
緩速ろ過池	RC造 ろ過面積 780m ² /池、ろ過速度 4.0~6.0m/日	5池
次亜塩注入機	240cc/分	2台
配水池	PC造 2,400m ³ 、PC造 2,100m ³	2池
管理棟	RC造 2階建 280m ²	1棟

ウ 腰越浄水場

位置 上田市腰越845番地

(緩速系) 建設年月日:昭和35年12月1日

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 4,200m ³ /日、(現況浄水能力4,200m ³ /日)	
沈砂池	RC造 15m ³	1池
着水井	RC造 30m ³	1池
フロック形成池	RC造 204m ³	2池
沈殿池	RC造 904m ³	2池
緩速ろ過池	RC造 ろ過面積 300m ² /池、ろ過速度 3.0~6.0m/日	4池
次亜塩注入機	55cc/分	2台
配水池	RC造 1,880m ³	2池

エ 腰越浄水場
(急速系)

建設年月日:昭和51年3月31日

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 8,200m ³ /日、(現況浄水能力8,200m ³ /日)	
沈砂池	RC造 145m ³	2池
着水井	RC造 40m ³	1池
混和池	RC造 19m ³	1池
フロック形成池	RC造 233m ³	2池
沈殿池	RC造 548m ³	2池
急速ろ過池	RC造 ろ過面積 23.1m ² /池、ろ過速度 70m~120m/日	4池
次亜塩注入機	88cc/分	2台
配水池	RC造 1,770m ³	2池
管理棟	RC造 2階建 1,473m ²	1棟

オ 鹿教湯浄水場

建設年月日:昭和59年3月31日

位置 上田市西内1766番地13

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 2,800m ³ /日、(現況浄水能力2,800m ³ /日)	
着水井	RC造 46.0m ³	1井
混和池	RC造 8.4m ³	1池
フロック形成池	RC造 76m ³	2池
沈殿池	RC造 173m ³	2池
急速ろ過池	RC造 4.2m ² ろ過速度50~80m/日	8池
次亜塩注入機	18cc/分 55cc/分	2台 2台
配水池	RC造 1,560m ³	2池
管理棟	RC造 2階建 1,028.8m ²	1棟

カ 赤井浄水場

建設年月日:平成8年3月20日

位置 上田市真田町本原3703番地

施設の状況	規模及び能力	施設数
浄水能力	計画浄水能力 1,800m ³ /日、(現況浄水能力1,800m ³ /日)	
循環水槽	RC造 26m ³	1池
浄水機	膜ろ過浄水能力300m ³ /日	6基
次亜塩注入機	16cc/分	8基
機械室	鉄骨造 264m ²	1棟

(4) 配水池・ポンプ施設

染屋系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m ³)	台数	種類	最大揚水能力 (m ³ /日)
染屋第1	1	RC	2,000			
染屋第2	1	PC	6,000			
染屋第3	1	PC	4,800			
染屋第4	1	PC	4,800			
泉町				3	送水	36,000
須川	1	RC	38	2	送水	144
倉升第1	1	RC	560	2	送水	4,320
倉升第2	1	PC	1,500			
久保田				2	送水	2,880
半過	1	RC	77	2	送水	324
越戸	1	RC	64			
上洞	1	RC	35	2	送水	302
岡第1	1	RC	64			
岡第2	1	PC	840			
岡第3	1	PC	500			
浦野	2	RC	280			
上室賀第1	2	RC	157	2	送水	907
上室賀第2	2	RC	16	2	送水	504
神科	1	PC	2,500	2	送水	4,608
(小計)	20		24,231	19		49,989

石舟系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m ³)	台数	種類	最大揚水能力 (m ³ /日)
石舟第1	1	PC	2,100			
石舟第2	1	PC	2,400			
小井田第1	1	RC	570			
小井田第2	1	PC	2,500			
大日木	1	RC	400			
赤坂	1	RC	130	2	送水	216
樋之沢	1	RC	110			
北部	1	RC	300			
大屋	1	RC	160			
米沢	1	RC	17	2	送水	144
滝の宮	1	RC	190			
山口	1	PC	2,000	2	送水	5,328
岩清水	1	RC	63			
長入	1	RC	19			
(小計)	14		10,959	6		5,688

腰越系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m ³)	台数	種類	最大揚水能力 (m ³ /日)
腰越低区第1	1	RC	1,880			
腰越低区第2	1	RC	1,770			
腰越高区	1	PC	700	2	送水	2,736
池の芝第1				3	送水	490
池の芝第2				3	送水	490
池の芝	1	PC	500			
平戸	1	RC	72	2	送水	115
練合	2	RC	45	2	送水	504
新藤原田	1	PC	700			
藤原田	2	RC	150	2	送水	490
箱畳	1	RC	80	2	送水	86
尾野山	1	RC	73	2	送水	432
二本木	1	RC	70			
茂沢	1	RC	70			
須川湖高区	1	RC	40	2	送水	316
須川湖低区	1	RC	40			
郷仕川原	1	RC	10			
上平				3	加圧	432
宮原				3	加圧	576
南方				3	加圧	432
南原				3	加圧	720
茂沢				3	加圧	936
(小計)	17		6,200	35		8,755

鹿教湯系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m ³)	台数	種類	最大揚水能力 (m ³ /日)
鹿教湯浄水	1	RC	1,560			
鹿教湯	1	RC	500			
虚空蔵	1	RC	250			
霊泉寺	1	RC	40	2	送水	216
新屋	1	RC	94			
新屋	1	PC	250			
(小計)	6		2,694	2		216

真田系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m ³)	台数	種類	最大揚水能力 (m ³ /日)
宮浦	1	RC	24			
宮前	1	RC	18	2	加圧	100
和熊	1	RC	39			
角間	1	RC	320			
横沢	1	RC	49			
長谷寺	1	RC	88			
真田	1	PC	500			
横尾	1	RC	79			
三島平	1	RC	50			
横道	2	RC	289			
穴沢高区	1	RC	48	2	送水	91
穴沢低区	1	RC	23			
菽	1	RC	114			
大良	1	RC	18			
松井新田	1	RC	155	1	揚水	800
				2	加圧	864
中組	1	RC	180			
赤井	2	RC	180			
本原中央	1	PC	1,000			
本原中央	1	RC	216			
番匠	1	RC	55			
熊久保	1	RC	9			
(小計)	23		3,454	7		1,855

菅平系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m ³)	台数	種類	最大揚水能力 (m ³ /日)
四阿高原第1				3	送水	3,312
四阿高原第2	1	RC	90	3	送水	2,304
四阿高原加圧P				2	加圧	2,016
高区	1	RC	480			
高原	2	RC	600			
カントリー	1	RC	216	2	送水	600
裏ダボス	1	RC	500	1	送水	400
東組	2	RC	280			
穴水	1	RC	120			
西北	1	RC	180	2	送水	720
大松	1	RC	73	2	送水	403
中ノ沢	1	RC	480			
渋沢	1	RC	50			
(小計)	13		3,069	15		9,755

武石系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m ³)	台数	種類	最大揚水能力 (m ³ /日)
長坂ポンプ室				2	送水	187
内の山ポンプ室				1	加圧	
上本入第1配水池	1	RC	200			
上本入第2配水池	1	RC	90			
上本入第3配水池	1	RC	18			
上本入第4配水池	1	RC	26			
上本入第5配水池	1	RC	18			
中央第1配水池	1	RC	280			
中央第2配水池	1	RC	48			
中央第3配水池	1	PC	400			
中央第3配水池	1	RC	293			
中央第4配水池	1	PC	300			
余里第1配水池	1	RC	90			
余里第2配水池	1	RC	56			
(小計)	12		1,819	3		187

獅子ヶ城系統						
	配水池			ポンプ設備		
	池数	種類	容量 (m ³)	台数	種類	最大揚水能力 (m ³ /日)
第1水源				1	送水	170
第1送水ポンプ室				2	送水	403
第1配水池	1		100			
第2水源				1	送水	259
第2送水ポンプ室				2	送水	576
第2配水池	1		125			
第3配水池	1		90			
第4配水池	1		156			
第3送水ポンプ室				2	送水	576
第4送水ポンプ室				2	送水	250
第5送水ポンプ室				2	送水	250
(小計)	4		471	12		2,484

(5) 管路延長等の状況

ア 用途・管種別延長

合計 (単位:m)

用途・管種	年度 年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
铸铁管	38,690.0	0.0 0.0	0.0 1,166.4	39,856.4
ダクタイル铸铁管 (耐震型継手を有す ダクタイル铸铁管 (上記以外))	17,794.9	624.5 1,493.5	0.0 0.0	15,676.9
鋼管	28,936.6	0.0 0.0	0.0 201.3	29,137.9
石綿セメント管	4,983.1	0.0 0.0	0.0 124.5	5,107.6
硬質塩化ビニル管	109,261.8	0.0 0.0	0.0 1,245.5	110,507.3
ポリエチレン管 (HPPE)	22,353.2	516.8 2,838.1	0.0 0.0	18,998.3
ステンレス管	554.4	0.0 12.0	0.0 0.0	542.4
その他(不詳等)	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
導送配水管延長計	939,201.4	1,184.1 4,423.5	0.0 4,265.5	937,859.3

上田地域 (単位:m)

用途・管種	年度 年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
铸铁管	38,690.0	0.0 0.0	0.0 1,166.4	39,856.4
ダクタイル铸铁管 (耐震型継手を有す ダクタイル铸铁管 (上記以外))	14,068.4	397.7 1,479.7	0.0 0.0	12,191.0
鋼管	22,187.4	0.0 0.0	0.0 174.1	22,361.5
石綿セメント管	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
硬質塩化ビニル管	34,399.1	0.0 0.0	0.0 0.0	34,399.1
ポリエチレン管 (HPPE)	6,352.2	370.4 1,440.9	0.0 0.0	4,540.9
ステンレス管	331.4	0.0 12.0	0.0 0.0	319.4
その他(不詳等)	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
導送配水管延長計	522,037.2	786.6 2,956.8	0.0 2,798.8	521,092.6

イ 用途・口径別延長

合計 (単位:m)

用途・口径	年度 年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
導水管	300mm未満	0.0 0.0	0.0 0.0	29,720.3
	300以上500mm未満	0.0 0.0	0.0 0.0	2,847.3
	導水管延長計	0.0 0.0	0.0 0.0	32,567.6
送水管	300mm未満	40.8 27.2	0.0 27.2	63,869.2
	送水管延長計	40.8 27.2	0.0 27.2	63,869.2
配水管	75mm	53.4 122.9	0.0 298.9	132,876.0
	100mm	628.1 1,657.2	0.0 1,581.4	403,743.4
	125mm	0.0 0.0	0.0 474.5	2,292.4
	150mm	15.5 995.1	0.0 519.3	158,695.0
	200mm	206.3 923.9	0.0 910.9	61,566.8
	250mm	0.0 675.0	0.0 431.1	38,893.1
	300mm	0.0 22.2	0.0 22.2	15,584.4
	350mm	240.0 0.0	0.0 0.0	12,241.4
	400mm	0.0 0.0	0.0 0.0	10,136.7
	450mm	0.0 0.0	0.0 0.0	4,860.5
	500mm	0.0 0.0	0.0 0.0	533.0
配水管延長計	1,143.3 4,396.3	0.0 4,238.3	841,422.7	
導送配水管延長計	1,184.1 4,423.5	0.0 4,265.5	937,859.5	

上田地域 (単位:m)

用途・口径	年度 年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
導水管	300mm未満	0.0 0.0	0.0 0.0	19,748.3
	300以上500mm未満	0.0 0.0	0.0 0.0	2,847.3
	導水管延長計	0.0 0.0	0.0 0.0	22,595.6
送水管	300mm未満	0.0 0.0	0.0 0.0	28,014.0
	送水管延長計	0.0 0.0	0.0 0.0	28,014.0
配水管	75mm	5.9 10.3	0.0 16.2	10,983.3
	100mm	628.1 740.0	0.0 935.1	276,146.4
	125mm	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	150mm	0.0 748.7	0.0 519.3	86,074.5
	200mm	152.6 782.8	0.0 897.1	40,613.8
	250mm	0.0 675.0	0.0 431.1	28,424.1
	300mm	0.0 0.0	0.0 0.0	10,764.4
	350mm	0.0 0.0	0.0 0.0	7,940.1
	400mm	0.0 0.0	0.0 0.0	9,515.0
	450mm	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
	500mm	0.0 0.0	0.0 0.0	533.0
配水管延長計	786.6 2,956.8	0.0 2,798.8	470,483.0	
導送配水管延長計	786.6 2,956.8	0.0 2,798.8	521,092.6	

ウ ざい道・水路延長

合計 (単位:m)

用途・口径	年度 年度末 延長	平成25年度 布設 布設替増	除却 布設替減	平成24年度 年度末 延長
ざい道・水路延長	1,314.0	0.0 0.0	0.0 0.0	1,314.0

上田地域 (単位:m)

用途・口径	年度 年度末 延長	平成25年度 布設 布設替増	除却 布設替減	平成24年度 年度末 延長
ざい道・水路延長	1,314.0	0.0 0.0	0.0 0.0	1,314.0

エ 消火栓数

合計 (単位:基)

種類	年度	平成25年度		平成24年度
		設置数	撤去数	
地上式	2,589	12	14	2,591
地下式	1,219	17	5	1,207
合計	3,808	29	19	3,798

上田地域 (単位:基)

種類	年度	平成25年度		平成24年度
		設置数	撤去数	
地上式	600	1	3	602
地下式	1,189	15	5	1,179
合計	1,789	16	8	1,781

丸子地域

(単位:m)

年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
3,327.8	226.8 13.8	0.0 0.0	3,087.2
116,860.3	24.3 55.7	0.0 69.5	116,849.8
1,934.4	0.0 0.0	0.0 27.2	1,961.6
1,178.6	0.0 0.0	0.0 124.5	1,303.1
41,149.5	0.0 0.0	0.0 971.5	42,121.0
8,951.0	146.4 1,123.2	0.0 0.0	7,681.4
196.2	0.0 0.0	0.0 0.0	196.2
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
173,597.8	397.5 1,192.7	0.0 1,192.7	173,200.3

真田地域

年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
178.4	0.0 0.0	0.0 0.0	178.4
79,616.9	0.0 0.0	0.0 0.0	79,616.9
908.2	0.0 0.0	0.0 0.0	908.2
1,404.5	0.0 0.0	0.0 0.0	1,404.5
3,249.0	0.0 0.0	0.0 0.0	3,249.0
649.3	0.0 0.0	0.0 0.0	649.3
26.8	0.0 0.0	0.0 0.0	26.8
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
86,033.1	0.0 0.0	0.0 0.0	86,033.1

菅平地域

年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
220.3	0.0 0.0	0.0 0.0	220.3
57,532.9	0.0 0.0	0.0 0.0	57,532.9
1,970.6	0.0 0.0	0.0 0.0	1,970.6
2,400.0	0.0 0.0	0.0 0.0	2,400.0
23,578.2	0.0 0.0	0.0 274.0	23,852.2
3,065.8	0.0 274.0	0.0 0.0	2,791.8
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
88,767.8	0.0 274.0	0.0 274.0	88,767.8

丸子地域

(単位:m)

年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
395.0	0.0 0.0	0.0 0.0	395.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
395.0	0.0 0.0	0.0 0.0	395.0
8,782.0	40.8 27.2	0.0 27.2	8,741.2
8,782.0	40.8 27.2	0.0 27.2	8,741.2
36,251.6	47.5 40.6	0.0 210.7	36,374.2
43,900.0	0.0 715.2	0.0 444.3	43,629.1
1,190.9	0.0 0.0	0.0 474.5	1,665.4
42,358.8	15.5 246.4	0.0 0.0	42,096.9
16,911.3	53.7 141.1	0.0 13.8	16,730.3
8,964.9	0.0 0.0	0.0 0.0	8,964.9
4,820.0	0.0 22.2	0.0 22.2	4,820.0
4,541.3	240.0 0.0	0.0 0.0	4,301.3
621.7	0.0 0.0	0.0 0.0	621.7
4,860.5	0.0 0.0	0.0 0.0	4,860.5
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
164,421.0	356.7 1,165.5	0.0 1,165.5	164,064.3
173,598.0	397.5 1,192.7	0.0 1,192.7	173,200.5

真田地域

年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
6,167.0	0.0 0.0	0.0 0.0	6,167.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
6,167.0	0.0 0.0	0.0 0.0	6,167.0
3,447.0	0.0 0.0	0.0 0.0	3,447.0
3,447.0	0.0 0.0	0.0 0.0	3,447.0
35,856.2	0.0 0.0	0.0 0.0	35,856.2
27,027.9	0.0 0.0	0.0 0.0	27,027.9
135.0	0.0 0.0	0.0 0.0	135.0
12,531.0	0.0 0.0	0.0 0.0	12,531.0
869.0	0.0 0.0	0.0 0.0	869.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
76,419.1	0.0 0.0	0.0 0.0	76,419.1
86,033.1	0.0 0.0	0.0 0.0	86,033.1

菅平地域

年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
130.0	0.0 0.0	0.0 0.0	130.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
130.0	0.0 0.0	0.0 0.0	130.0
19,665.0	0.0 0.0	0.0 0.0	19,665.0
19,665.0	0.0 0.0	0.0 0.0	19,665.0
23,187.0	0.0 72.0	0.0 72.0	23,187.0
30,878.8	0.0 202.0	0.0 202.0	30,878.8
492.0	0.0 0.0	0.0 0.0	492.0
10,964.0	0.0 0.0	0.0 0.0	10,964.0
1,703.0	0.0 0.0	0.0 0.0	1,703.0
1,748.0	0.0 0.0	0.0 0.0	1,748.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
68,972.8	0.0 274.0	0.0 274.0	68,972.8
88,767.8	0.0 274.0	0.0 274.0	88,767.8

丸子地域

(単位:m)

年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0

真田地域

年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0

菅平地域

年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
	布設 布設替増	除却 布設替減	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0

丸子地域

(単位:基)

年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
	設置数	撤去数	
709	7	7	709
27	2	0	25
736	9	7	734

真田地域

年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
	設置数	撤去数	
619	1	1	619
2	0	0	2
621	1	1	621

菅平地域

年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
	設置数	撤去数	
335	3	3	335
0	0	0	0
335	3	3	335

武石地域

用途・管種	年度 年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
管路合計				
铸铁管	0.0	0.0	0.0	0.0
ダクタイル铸铁管 (耐震型継手を有す ダクタイル铸铁管 (上記以外)	0.0	0.0	0.0	0.0
鋼管	42,934.0	0.0	0.0	42,934.0
石綿セメント管	1,001.0	0.0	0.0	1,001.0
硬質塩化ビニル管	0.0	0.0	0.0	0.0
ポリエチレン管 (HPPE)	4,880.0	0.0	0.0	4,880.0
ステンレス管	3,334.9	0.0	0.0	3,334.9
その他(不詳等)	0.0	0.0	0.0	0.0
導送配水管延長計	52,149.9	0.0	0.0	52,149.9

獅子ヶ城地域

用途・管種	年度 年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
管路合計				
铸铁管	0.0	0.0	0.0	0.0
ダクタイル铸铁管 (耐震型継手を有す ダクタイル铸铁管 (上記以外)	0.0	0.0	0.0	0.0
鋼管	13,674.6	0.0	0.0	13,674.6
石綿セメント管	935.0	0.0	0.0	935.0
硬質塩化ビニル管	0.0	0.0	0.0	0.0
ポリエチレン管 (HPPE)	2,006.0	0.0	0.0	2,006.0
ステンレス管	0.0	0.0	0.0	0.0
その他(不詳等)	0.0	0.0	0.0	0.0
導送配水管延長計	16,615.6	0.0	0.0	16,615.6

武石地域

用途・口径	年度 年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
導水管				
300mm未満	3,215.0	0.0	0.0	3,215.0
300以上500mm未満	0.0	0.0	0.0	0.0
導水管延長計	3,215.0	0.0	0.0	3,215.0
送水管				
300mm未満	0.0	0.0	0.0	0.0
送水管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
配水管				
75mm	24,916.9	0.0	0.0	24,916.9
100mm	15,802.0	0.0	0.0	15,802.0
125mm	0.0	0.0	0.0	0.0
150mm	6,527.0	0.0	0.0	6,527.0
200mm	1,689.0	0.0	0.0	1,689.0
250mm	0.0	0.0	0.0	0.0
300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
350mm	0.0	0.0	0.0	0.0
400mm	0.0	0.0	0.0	0.0
450mm	0.0	0.0	0.0	0.0
500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
配水管延長計	48,934.9	0.0	0.0	48,934.9
導送配水管延長計	52,149.9	0.0	0.0	52,149.9

獅子ヶ城地域

用途・口径	年度 年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
導水管				
300mm未満	65.0	0.0	0.0	65.0
300以上500mm未満	0.0	0.0	0.0	0.0
導水管延長計	65.0	0.0	0.0	65.0
送水管				
300mm未満	4,002.0	0.0	0.0	4,002.0
送水管延長計	4,002.0	0.0	0.0	4,002.0
配水管				
75mm	1,558.4	0.0	0.0	1,558.4
100mm	10,259.2	0.0	0.0	10,259.2
125mm	0.0	0.0	0.0	0.0
150mm	731.0	0.0	0.0	731.0
200mm	0.0	0.0	0.0	0.0
250mm	0.0	0.0	0.0	0.0
300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
350mm	0.0	0.0	0.0	0.0
400mm	0.0	0.0	0.0	0.0
450mm	0.0	0.0	0.0	0.0
500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
配水管延長計	12,548.6	0.0	0.0	12,548.6
導送配水管延長計	16,615.6	0.0	0.0	16,615.6

武石地域

用途・口径	年度 年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
ざい道・水路延長	0.0	0.0	0.0	0.0

獅子ヶ城地域

用途・口径	年度 年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
		布設 布設替増	除却 布設替減	
ざい道・水路延長	0.0	0.0	0.0	0.0

武石地域

種類	年度 設置数	平成25年度		平成24年度 設置数
		設置数	撤去数	
地上式	258	0	0	258
地下式	1	0	0	1
合計	259	0	0	259

獅子ヶ城地域

種類	年度 設置数	平成25年度		平成24年度 設置数
		設置数	撤去数	
地上式	68	0	0	68
地下式	0	0	0	0
合計	68	0	0	68

(6) 配水量の推移

合計 (単位: m³)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	1,433,646	0.40%	1,428,002
5月	1,529,941	2.71%	1,489,590
6月	1,491,992	1.84%	1,465,032
7月	1,605,804	1.92%	1,575,563
8月	1,642,869	0.34%	1,637,331
9月	1,465,941	△1.52%	1,488,539
10月	1,479,704	△0.38%	1,485,290
11月	1,425,410	△1.17%	1,442,264
12月	1,489,588	△3.21%	1,539,026
1月	1,520,451	△2.58%	1,560,705
2月	1,370,285	△2.95%	1,411,979
3月	1,504,174	△2.64%	1,544,970
計	17,959,805	△0.60%	18,068,291
1日平均配水量	49,205		49,502

上田地域 (単位: m³)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	959,140	0.13%	957,891
5月	1,024,815	2.25%	1,002,279
6月	1,000,238	0.87%	991,584
7月	1,083,852	3.43%	1,047,909
8月	1,091,830	1.56%	1,075,054
9月	990,119	0.54%	984,797
10月	1,006,246	1.35%	992,875
11月	963,747	△0.25%	966,172
12月	1,014,713	△2.37%	1,039,355
1月	1,027,462	△1.34%	1,041,445
2月	924,128	△2.35%	946,376
3月	1,016,236	△2.20%	1,039,057
計	12,102,526	0.15%	12,084,794
1日平均配水量	33,158		33,109

丸子地域 (単位: m³)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	286,437	1.61%	281,885
5月	300,150	6.22%	282,580
6月	294,270	3.66%	283,891
7月	307,714	1.62%	302,805
8月	295,228	△6.89%	317,076
9月	277,722	△5.69%	294,478
10月	286,086	△5.83%	303,794
11月	280,903	△3.15%	290,054
12月	287,513	△6.45%	307,338
1月	289,957	△7.10%	312,126
2月	260,734	△5.93%	277,174
3月	287,249	△4.20%	299,839
計	3,453,963	△2.79%	3,553,040
1日平均配水量	9,463		9,734

真田地域 (単位: m³)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	91,384	8.76%	84,026
5月	98,502	5.49%	93,376
6月	94,124	5.78%	88,981
7月	101,322	2.48%	98,873
8月	96,416	△4.39%	100,848
9月	86,807	△8.54%	94,908
10月	86,993	△4.15%	90,764
11月	84,977	△5.31%	89,742
12月	87,369	△2.86%	89,938
1月	88,517	△4.56%	92,750
2月	76,968	△5.34%	81,309
3月	84,978	△10.89%	95,361
計	1,078,357	△2.05%	1,100,876
1日平均配水量	2,954		3,016

菅平地域 (単位: m³)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	55,189	△5.76%	58,565
5月	61,318	△3.20%	63,344
6月	59,495	8.85%	54,656
7月	66,271	△14.30%	77,327
8月	110,557	17.16%	94,362
9月	68,615	△1.49%	69,655
10月	57,385	8.21%	53,032
11月	54,428	2.49%	53,105
12月	55,470	△5.27%	58,554
1月	66,329	△3.47%	68,715
2月	65,205	0.31%	65,003
3月	70,007	3.30%	67,768
計	790,269	0.79%	784,086
1日平均配水量	2,165		2,148

武石地域 (単位: m³)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	40,593	△9.63%	44,919
5月	43,912	△7.32%	47,378
6月	42,977	△5.74%	45,592
7月	45,654	△3.98%	47,545
8月	47,304	△1.90%	48,222
9月	41,678	△4.93%	43,841
10月	41,995	△4.43%	43,943
11月	40,202	△5.15%	42,386
12月	43,422	0.99%	42,996
1月	46,744	4.70%	44,644
2月	41,965	1.89%	41,185
3月	44,445	5.93%	41,958
計	520,891	△2.57%	534,609
1日平均配水量	1,427		1,465

獅子ヶ城地域 (単位: m³)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	903	26.12%	716
5月	1,244	96.52%	633
6月	888	170.73%	328
7月	991	△10.24%	1,104
8月	1,534	△13.28%	1,769
9月	1,000	16.28%	860
10月	999	13.27%	882
11月	1,153	43.23%	805
12月	1,101	30.30%	845
1月	1,442	40.68%	1,025
2月	1,285	37.88%	932
3月	1,259	27.56%	987
計	13,799	26.76%	10,886
1日平均配水量	38		30

(7) 平成25年度の水質

ア 基準項目 (法令で達成しなければならないと定められている項目)

項目名	単位	基準値	染屋浄水場系	石舟浄水場系	腰越浄水場系	鹿教湯浄水場系
			給水栓水 最大値	給水栓水 最大値	給水栓水 最大値	給水栓水 最大値
1 一般細菌	個/ml	100 以下	1	2	10	4
2 大腸菌		検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出
3 カドミウム	mg/l	0.003 以下	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満
4 水銀	mg/l	0.0005 以下	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満
5 セレン	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
6 鉛	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
7 ヒ素	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
8 六価クロム	mg/l	0.05 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
9 シアン	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
10 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/l	10 以下	2.01	2.30	1.12	0.48
11 フッ素	mg/l	0.8 以下	0.13	0.10	0.07	0.06
12 ほう素	mg/l	1.0 以下	0.09	0.15	0.02 未満	0.02 未満
13 四塩化炭素	mg/l	0.002 以下	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
14 1,4-ジオキサン	mg/l	0.05 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
15 シス及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l	0.04 以下	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
16 ジクロロメタン	mg/l	0.02 以下	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
17 テトラクロロエチレン	mg/l	0.01 以下	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
18 トリクロロエチレン	mg/l	0.01 以下	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
19 ベンゼン	mg/l	0.01 以下	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
20 塩素酸	mg/l	0.6 以下	0.11	0.12	0.12	0.27
21 クロロ酢酸	mg/l	0.02 以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
22 クロロホルム	mg/l	0.06 以下	0.030	0.023	0.019	0.027
23 ジクロロ酢酸	mg/l	0.04 以下	0.002 未満	0.003	0.006	0.010
24 ジブromクロロメタン	mg/l	0.1 以下	0.004	0.002	0.001 未満	0.001 未満
25 臭素酸	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
26 総トリハロメタン	mg/l	0.1 以下	0.048	0.033	0.022	0.031
27 トリクロロ酢酸	mg/l	0.2 以下	0.008	0.006	0.006	0.012
28 ブロモジクロロメタン	mg/l	0.03 以下	0.014	0.009	0.003	0.004
29 ブロモホルム	mg/l	0.09 以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
30 ホルムアルデヒド	mg/l	0.08 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
31 亜鉛	mg/l	1.0 以下	0.01 未満	0.01 未満	0.15	0.02
32 アルミニウム	mg/l	0.2 以下	0.03	0.03	0.02	0.02
33 鉄	mg/l	0.3 以下	0.02	0.01 未満	0.01 未満	0.04
34 銅	mg/l	1.0 以下	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
35 ナトリウム	mg/l	200 以下	23.0	17.2	6.5	8.4
36 マンガン	mg/l	0.05 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
37 塩化物イオン	mg/l	200 以下	21.1	10.6	6.8	20.2
38 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/l	300 以下	64	64	26	65
39 蒸発残留物	mg/l	500 以下	145	127	83	114
40 陰イオン界面活性剤	mg/l	0.2 以下	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
41 ジェオスミン	mg/l	0.00001 以下	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001
42 2-メチルイソボルネオール	mg/l	0.00001 以下	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001 未満	0.000001
43 非イオン界面活性剤	mg/l	0.02 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
44 フェノール類	mg/l	0.005 以下	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
45 有機物(TOC)	mg/l	3 以下	1.0	1.3	1.0	1.1
46 pH値		5.8以上8.6以下	8.1	8.1	7.4	7.4
47 味		異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
48 臭気		異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
49 色度	度	5 以下	0.9	0.9	1.2	0.7
50 濁度	度	2 以下	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.03

項目名	単位	長坂水系 給水栓水	東組水系 給水栓水	真田水系 給水栓水	傍陽西部水系 給水栓水	傍陽中央水系 給水栓水	赤井水系 給水栓水
		最大値	最大値	最大値	最大値	最大値	最大値
一般細菌	個/ml	1	2	1	1	0	1
大腸菌		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
カドミウム	mg/l	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満
水銀	mg/l	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満
セレン	mg/l	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
鉛	mg/l	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
ヒ素	mg/l	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
六価クロム	mg/l	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
シアン	mg/l	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/l	0.39	0.24	1.29	0.25	0.97	0.50
フッ素	mg/l	0.05	0.05	0.07	0.15	0.13	0.08
ほう素	mg/l	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.03	0.02 未満	0.02
四塩化炭素	mg/l	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
1,4-ジオキサン	mg/l	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
シス及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/l	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
ジクロロメタン	mg/l	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
テトラクロロエチレン	mg/l	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
トリクロロエチレン	mg/l	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
ベンゼン	mg/l	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
塩素酸	mg/l	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.05	0.07
クロロ酢酸	mg/l	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
クロロホルム	mg/l	0.004	0.004	0.002	0.007	0.012	0.038
ジクロロ酢酸	mg/l	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002	0.007
ジブromクロロメタン	mg/l	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003	0.002	0.001 未満
臭素酸	mg/l	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
総トリハロメタン	mg/l	0.004	0.005	0.002	0.011	0.018	0.041
トリクロロ酢酸	mg/l	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.009
ブromジクロロメタン	mg/l	0.001	0.001	0.001 未満	0.003	0.005	0.003
ブromホルム	mg/l	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001	0.001 未満	0.001 未満
ホルムアルデヒド	mg/l	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
亜鉛	mg/l	0.02	0.01	0.02	0.01 未満	0.01 未満	0.02
アルミニウム	mg/l	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
鉄	mg/l	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
銅	mg/l	0.05	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
ナトリウム	mg/l	3.1	6.3	5.1	14.4	9.6	6.3
マンガン	mg/l	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.007
塩化物イオン	mg/l	1.2	8.5	1.5	13.2	9.2	1.8
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/l	18	28	31	55	31	27
蒸発残留物	mg/l	30	87	93	124	58	86
陰イオン界面活性剤	mg/l	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
ジェオスミン	mg/l						
2-メチルイソボルネオール	mg/l						
非イオン界面活性剤	mg/l	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
フェノール類	mg/l	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
有機物(TOC)	mg/l	0.2 未満	0.2 未満	0.3	0.2 未満	0.5	0.7
pH値		7.8	7.3	7.1	8.2	7.9	7.7
味		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
臭気		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	度	0.3	0.3	0.9	0.2	0.5	1.0
濁度	度	0.01 未満	0.01 未満	0.07	0.01	0.01 未満	0.01 未満

イ 水質管理目標設定項目 (将来にわたって安全性を確保するために、監視していくことが望ましい項目)

採水日:H25.5.9

採水日:H25.7.4

項目名	単位	目標値	染屋浄水場系 給水栓水	石舟浄水場系 給水栓水
1 アンチモン	mg/l	0.015 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
2 ウラン	mg/l	0.002 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
3 ニッケル	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満
4 亜硝酸態窒素	mg/l	0.05 以下	0.01 未満	0.01 未満
5 1,2-ジクロロエタン	mg/l	0.004 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
8 トルエン	mg/l	0.4 以下	0.0005 未満	0.0005 未満
9 フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	mg/l	0.1 以下	0.01 未満	0.01 未満
10 亜塩素酸	mg/l	0.6 以下	----	----
12 二酸化塩素	mg/l	0.6 以下	----	----
13 ジクロロアセトニトリル	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満
14 抱水クロラール	mg/l	0.02 以下	0.003	0.002 未満
15 農薬類		検出値と目標値 の比の和として、 1以下	0.001 未満	0.001 未満
16 残留塩素	mg/l	1 以下	0.3	0.4
17 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/l	10以上100以下	51	64
18 マンガン	mg/l	0.01 以下	0.001 未満	0.001 未満
19 遊離炭酸	mg/l	20 以下	1.3	1.3
20 1,1,1-トリクロロエタン	mg/l	0.3 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
21 メチル-tert-ブチルエーテル	mg/l	0.02 以下	0.0005 未満	0.0005 未満
22 有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	mg/l	3 以下	1.4	1.6
23 臭気強度(TON)		3 以下	1	1
24 蒸発残留物	mg/l	30以上200以下	110	122
25 濁度	度	1 以下	0.01 未満	0.01 未満
26 pH値		7.5 程度	8.1	8.1
27 腐食性(ランゲリア指数)		-1程度以上とし 極力0に近づける	-0.7	-0.4
28 従属栄養細菌	個/ml	2000 以下	32	21
29 1,1-ジクロロエチレン	mg/l	0.1 以下	0.0002 未満	0.0002 未満
30 アルミニウム	mg/l	0.1 以下	0.02	0.02

項目名	腰越浄水場系 給水栓水	鹿教湯浄水場系 給水栓水
1 アンチモン	0.0002 未満	0.0002 未満
2 ウラン	0.0002 未満	0.0002 未満
3 ニッケル	0.001 未満	0.001 未満
4 亜硝酸態窒素	0.01 未満	0.01 未満
5 1,2-ジクロロエタン	0.0002 未満	0.0002 未満
8 トルエン	0.0005 未満	0.0005 未満
9 フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.01 未満	0.01 未満
10 亜塩素酸	----	----
12 二酸化塩素	----	----
13 ジクロロアセトニトリル	0.002	0.002
14 抱水クロラール	0.004	0.007
15 農薬類	0.001 未満	----
16 残留塩素	0.4	0.3
17 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	23	43
18 マンガン	0.001	0.001
19 遊離炭酸	3.1	3.3
20 1,1,1-トリクロロエタン	0.0002 未満	0.0002 未満
21 メチル-tert-ブチルエーテル	0.0005 未満	0.0005 未満
22 有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	1.5	2.0
23 臭気強度(TON)	1	2
24 蒸発残留物	74	100
25 濁度	0.01 未満	0.01 未満
26 pH値	7.1	7.2
27 腐食性(ランゲリア指数)	-2.1	-1.7
28 従属栄養細菌	5	2
29 1,1-ジクロロエチレン	0.0002 未満	0.0002 未満
30 アルミニウム	0.01	0.01

6、7、11番は欠番

ウ その他の項目

採水日:H25.8.26

採水日:H25.7.4

項目名	単位	染屋浄水場系 原水	石舟浄水場系 原水
1 クリプトスポリジウム	(個/10L)	0	0
2 ジアルジア	(個/10L)	0	0

項目名	腰越浄水場系 原水	鹿教湯浄水場系 原水
1 クリプトスポリジウム	0	0
2 ジアルジア	0	0

(8) 電力使用量の推移

合計

(単位:kWh)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	443,385	△0.31%	444,742
5月	437,806	3.78%	421,875
6月	472,236	13.80%	414,982
7月	510,620	8.45%	470,842
8月	571,771	△1.40%	579,888
9月	581,392	0.97%	575,809
10月	497,836	△1.86%	507,294
11月	461,990	9.12%	423,396
12月	430,866	△0.08%	431,200
1月	472,496	1.96%	463,412
2月	466,860	2.24%	456,637
3月	583,239	34.04%	435,118
計	5,930,497	5.43%	5,625,195

上田地域

(単位:kWh)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	292,632	4.59%	279,784
5月	281,458	5.09%	267,830
6月	318,591	18.32%	269,263
7月	362,095	11.89%	323,625
8月	386,395	△1.13%	390,809
9月	384,260	△2.14%	392,655
10月	340,156	△5.52%	360,035
11月	290,035	3.74%	279,572
12月	276,154	△3.31%	285,593
1月	299,308	1.40%	295,181
2月	300,949	2.21%	294,447
3月	431,873	54.58%	279,391
計	3,963,906	6.61%	3,718,185

丸子地域

(単位:kWh)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	63,598	△0.69%	64,042
5月	65,298	1.95%	64,046
6月	61,453	1.02%	60,831
7月	59,286	△3.34%	61,332
8月	69,939	4.20%	67,121
9月	71,255	3.19%	69,052
10月	67,821	12.35%	60,364
11月	79,016	25.74%	62,841
12月	69,656	7.57%	64,755
1月	85,510	22.63%	69,731
2月	76,002	15.89%	65,583
3月	70,008	13.51%	61,676
計	838,842	8.75%	771,374

真田地域

(単位:kWh)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	15,187	△2.29%	15,543
5月	16,912	1.14%	16,721
6月	15,917	△6.36%	16,998
7月	15,853	7.78%	14,709
8月	18,241	11.77%	16,320
9月	17,293	0.51%	17,205
10月	17,484	5.27%	16,609
11月	21,545	22.01%	17,658
12月	20,582	18.78%	17,328
1月	20,649	21.20%	17,037
2月	18,522	18.75%	15,598
3月	16,267	19.04%	13,665
計	214,452	9.76%	195,391

菅平地域

(単位:kWh)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	67,879	△12.24%	77,345
5月	68,980	2.20%	67,493
6月	70,589	12.41%	62,795
7月	68,742	3.40%	66,482
8月	91,797	△7.59%	99,337
9月	101,988	13.30%	90,018
10月	67,618	2.30%	66,100
11月	65,844	12.37%	58,595
12月	59,114	0.37%	58,895
1月	60,876	△19.79%	75,896
2月	65,416	△13.12%	75,294
3月	58,880	△21.40%	74,911
計	847,723	△2.91%	873,161

武石地域

(単位:kWh)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	2,715	30.40%	2,082
5月	2,383	4.38%	2,283
6月	2,212	14.14%	1,938
7月	2,105	△2.86%	2,167
8月	2,406	8.97%	2,208
9月	2,468	5.56%	2,338
10月	2,158	9.82%	1,965
11月	2,644	19.80%	2,207
12月	2,545	6.17%	2,397
1月	2,973	32.72%	2,240
2月	2,599	16.39%	2,233
3月	2,526	25.92%	2,006
計	29,734	14.08%	26,064

獅子ヶ城地域

(単位:kWh)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	1,374	△76.89%	5,946
5月	2,775	△20.76%	3,502
6月	3,474	10.04%	3,157
7月	2,539	0.47%	2,527
8月	2,993	△26.88%	4,093
9月	4,128	△9.09%	4,541
10月	2,599	17.02%	2,221
11月	2,906	15.18%	2,523
12月	2,815	26.12%	2,232
1月	3,180	△4.42%	3,327
2月	3,372	△3.16%	3,482
3月	3,685	6.23%	3,469
計	35,840	△12.63%	41,020

(9) 薬品使用量の推移

ア ポリ塩化アルミニウム(PAC)

上田地域 (単位:kg)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	4,300	△21.82%	5,500
5月	2,900	31.82%	2,200
6月	14,200	67.06%	8,500
7月	7,400	△58.19%	17,700
8月	10,400	42.47%	7,300
9月	26,000	687.88%	3,300
10月	17,900	82.65%	9,800
11月	600	△62.50%	1,600
12月	600	20.00%	500
1月	200	0.00%	200
2月	2,200	214.29%	700
3月	14,400	700.00%	1,800
計	101,100	71.07%	59,100

丸子地域 (単位:kg)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	2,100	△22.22%	2,700
5月	1,500	△16.67%	1,800
6月	2,500	19.05%	2,100
7月	2,600	52.94%	1,700
8月	2,100	△19.23%	2,600
9月	4,000	90.48%	2,100
10月	3,600	56.52%	2,300
11月	1,500	0.00%	1,500
12月	2,000	42.86%	1,400
1月	3,300	120.00%	1,500
2月	2,400	41.18%	1,700
3月	2,200	29.41%	1,700
計	29,800	29.00%	23,100

イ ポリシリカ鉄 (PSI)

丸子地域 (単位:kg)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	6,400	6.67%	6,000
5月	6,100	△4.69%	6,400
6月	5,500	△26.67%	7,500
7月	5,200	△29.73%	7,400
8月	5,900	△16.90%	7,100
9月	6,500	△7.14%	7,000
10月	6,100	△4.69%	6,400
11月	5,400	△18.18%	6,600
12月	5,200	0.00%	5,200
1月	4,700	△14.55%	5,500
2月	4,500	△16.67%	5,400
3月	5,000	△13.79%	5,800
計	66,500	△12.84%	76,300

ウ 次亜塩素酸ナトリウム

合計 (単位:kg)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	10,276	8.35%	9,484
5月	11,639	15.21%	10,102
6月	13,753	22.44%	11,232
7月	15,360	6.56%	14,414
8月	18,961	12.49%	16,856
9月	15,412	6.04%	14,534
10月	12,092	△3.73%	12,560
11月	11,034	△13.40%	12,742
12月	10,007	△3.10%	10,327
1月	9,990	5.68%	9,453
2月	9,364	0.34%	9,332
3月	9,686	1.79%	9,516
計	147,574	5.00%	140,552

上田地域 (単位:kg)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	6,800	6.25%	6,400
5月	7,800	13.04%	6,900
6月	9,000	20.00%	7,500
7月	11,300	6.60%	10,600
8月	13,600	8.80%	12,500
9月	10,800	2.86%	10,500
10月	7,900	△7.06%	8,500
11月	7,000	△11.39%	7,900
12月	6,400	0.00%	6,400
1月	6,400	10.34%	5,800
2月	5,800	7.41%	5,400
3月	6,200	5.08%	5,900
計	99,000	4.98%	94,300

丸子地域 (単位:kg)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	2,600	13.04%	2,300
5月	2,900	20.83%	2,400
6月	3,800	31.03%	2,900
7月	3,100	3.33%	3,000
8月	4,300	22.86%	3,500
9月	3,600	12.50%	3,200
10月	3,200	0.00%	3,200
11月	3,100	△22.50%	4,000
12月	2,700	△12.90%	3,100
1月	2,700	△3.57%	2,800
2月	2,700	△12.90%	3,100
3月	2,600	△7.14%	2,800
計	37,300	2.75%	36,300

真田地域 (単位:kg)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	740	4.23%	710
5月	750	4.17%	720
6月	780	5.41%	740
7月	770	4.05%	740
8月	790	6.76%	740
9月	780	8.33%	720
10月	750	4.17%	720
11月	750	4.17%	720
12月	750	4.17%	720
1月	740	4.23%	710
2月	740	2.78%	720
3月	730	14.06%	640
計	9,070	5.47%	8,600

武石地域 (単位:kg)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
4月	136	83.78%	74
5月	189	130.49%	82
6月	173	88.04%	92
7月	190	156.76%	74
8月	271	133.62%	116
9月	232	103.51%	114
10月	242	72.86%	140
11月	184	50.82%	122
12月	157	46.73%	107
1月	150	4.90%	143
2月	124	10.71%	112
3月	156	△11.36%	176
計	2,204	63.02%	1,352

公共下水道事業編

1 事業の概要

(1) 事業の沿革

上田市の公共下水道事業は、昭和 42 年公共下水道の事業の認可を受け、旧上田市の中心市街地から着手し、以来管渠施設の整備と下水処理場の建設を進めてきました。

公共下水道は、上田地域では千曲川右岸地域の上田処理区・神川東処理区を「上田終末処理場」、千曲川左岸地域の南部処理区・中塩田処理区を「南部終末処理場」、別所温泉処理区を「別所温泉終末処理場」の 3 つの施設で処理しています。

真田地域では、菅平処理区を「菅平浄化センター」、真田処理区を「真田浄化センター」の 2 つの施設で処理し、丸子地域では丸子処理区(丸子分区・依田分区)を「丸子浄化センター」、西内処理区を「西内浄化センター」の 2 つの施設で処理しています。

平成 18 年 3 月の新上田市の誕生に伴い、千曲川右岸地域に 4 処理区・千曲川左岸地域に 5 処理区を抱え、処理区域面積 4,615ha、計画処理人口 152,700 人を目標に下水道管渠の建設と終末処理場の拡張を行い千曲川をはじめとする公共用水域の水質汚濁の防止、快適で文化的な生活環境作りを目指しています。

(2) 事業のあゆみ

ア 上田地域

上田地域の公共下水道事業は、昭和 42 年に当初事業認可を取得し、下水道事業に着手した。その後、管渠施設の整備と下水処理場の建設を進め、昭和 47 年には上田終末処理場の供用開始に至り、さらに平成 7 年に別所温泉終末処理場、平成 11 年に南部終末処理場の供用開始に至っている。

また、下水道全体計画は、当初昭和 42 年の 1,129ha (千曲川右岸の市街地) から昭和 55 年には千曲川左岸の南部処理区を加えて 2,230ha に拡大し、平成 2 年には別所温泉処理区、平成 7 年には中塩田処理区、平成 8 年には神川東処理区を加えて現在 3,444ha となっている。

昭和39年	4月	建設部都市計画係にて認可事務開始
昭和42年	3月	公共下水道の設置を市議会で議決
	9月	第1期計画決定(公共:上田処理区)487.4ha
	10月	事業計画認可(公共:上田処理区)190.5ha 管渠布設開始
昭和44年	5月	第1期受益者負担金省令公布(m ² 当たり90.76円) 賦課区域面積168.4ha 終末処理場建設開始
昭和46年	7月	建設部に下水道課を新設
	10月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)
昭和47年	4月	下水道条例公布
	5月	下水道課に普及係、建設係を設置

昭和47年	7月	終末処理場運転開始供用開始告示57ha 終末処理場を上小衛生施設組合に管理委託
昭和51年	1月	第1期計画決定変更(公共:上田処理区)(計画面積合計550ha)
	3月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)225.4ha (認可面積合計415.9ha)
昭和53年	4月	終末処理場の管理委託を民間管理会社に変更
	7月	下水道使用料の3か年次分改定
	12月	第2期受益者負担金条例公布(m ² 当たり200円) 賦課区域面積138.7ha
昭和56年	3月	計画決定変更(公共:上田処理区)(計画面積合計1,155ha)
	7月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)583ha(認可面積合計998.9ha)
昭和58年	12月	第3期受益者負担金条例公布(m ² 当たり270円) 下水道使用料改定
昭和59年	4月	第3期工事区域の内、前期分賦課区域公告307.8ha
昭和61年	10月	下水道課に下水浄化センター設置3係となる
昭和62年	1月	終末処理場の用地拡大計画決定
	2月	終末処理場の用地拡大事業計画変更認可
昭和62年	12月	下水道使用料改定
昭和63年	3月	ポンプ場位置変更の計画決定
昭和63年	8月	ポンプ場位置変更の事業計画変更認可
平成元年	4月	下水道使用料改定(消費税導入) 第3期工事区域の内、後期分賦課区域公告255.3ha
平成2年	3月	ポンプ場位置変更、終末処理場用地減少の計画変更
	7月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)136.1ha(認可面積合計1,135ha)
	12月	上塩尻ポンプ場運転開始
平成3年	3月	第4期受益者負担金条例公布(m ² 当たり360円)
	4月	第4期工事区域の賦課区域公告109.7ha
	10月	計画決定(特環:別所温泉処理区)68ha(計画面積合計1,223ha)
	12月	事業計画認可(特環:別所温泉処理区)68ha(認可面積合計1,203ha)
平成4年	4月	下水道使用料改定
	10月	下塩尻ポンプ場運転開始
	12月	受益者負担金条例公布(特環:m ² 当たり470円)
平成5年	4月	別所温泉処理区の賦課区域公告61.9ha
	7月	計画決定変更(公共:上田処理区)655ha(公共:南部処理区)850ha (計画面積合計2,728ha)
	11月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)330ha(公共:南部処理区)292ha (認可面積合計1,825ha)
平成6年	12月	第5期受益者負担金条例公布(m ² 当たり510円)
平成7年	4月	第5期工事区域の賦課区域公告545ha
	5月	機構改革により農村下水道課と合併
	7月	下水道使用料改定
	12月	別所温泉終末処理場運転開始一部供用開始
平成8年	1月	事業計画変更認可(特環:別所温泉処理区)事業完了年月日、事業費の変更

平成8年	12月	上田終末処理場内汚泥焼却炉運転開始
平成9年	4月	機構改革により建設部下水道課から水道局下水道課、水道局計画管理課の2課となる。 下水道使用料改定
平成10年	2月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)345ha(公共:南部処理区)304ha 事業計画認可(特環:中塩田処理区)98ha(認可面積合計2,572ha)
	12月	第6期受益者負担金(分担金)条例公布(㎡当たり560円)
平成11年	2月	事業認可(特環:神川東処理区)98ha(認可面積合計2,670ha)
	4月	下水道使用料改定
	7月	計画決定変更(公共:上田処理区)70ha(計画面積合計2,798ha)
	10月	事業計画変更認可(公共:南部処理区)34ha(特環:中塩田処理区)136ha (認可面積合計2,840ha)
	12月	南部終末処理場運転開始
平成12年	4月	機構改革により計画管理課を営業課と改称する。
	6月	事業計画変更認可(公共:上田処理区)70ha (特環:神川東処理区)125ha (認可面積合計3,035ha)
	11月	計画決定変更北部汚水中継ポンプ場廃止
平成13年	4月	水道局を上下水道局と改称し、事業管理者を置く。 下水道事業に地方公営企業法を全部適用する。 下水道使用料改定
	6月	計画決定変更(公共:南部処理区)15ha(計画面積合計2,813ha) 事業計画変更認可(公共:南部処理区)235ha (特環:中塩田処理区)128ha (認可面積合計3,398ha)
平成14年	10月	事業計画変更認可(特環:神川東処理区)58ha (認可面積合計3,456ha)
平成15年	3月	事業計画変更認可 (特環:別所温泉処理区)事業年度の変更 平成14年度→平成19年度 (認可面積合計3,456ha)
	4月	中塩田処理区一部供用開始(約2,500戸7,000人)
	12月	神川東処理区一部供用開始(約1,100戸2,900人) 神川東ポンプ場運転開始
平成16年	3月	計画決定変更(公共:上田処理区) 国分汚水ポンプ場をマンホール形式ポンプ場に変更 事業計画変更認可(公共:上田処理区) 国分汚水ポンプ場をマンホール形式ポンプ場に変更
	10月	事業計画変更認可(公共:上田終末処理場・南部終末処理場) 設備の構造及び能力の変更 下水道法施行令の改定に伴う計画放流水の変更
平成20年	3月	事業計画変更認可(公共:上田処理区・南部処理区 特環:別所温泉処理区・中塩田処理区・神川東処理区)計画諸元及び事業区域・工事終了予定年月日の変更
平成21年	3月	下水道地震対策緊急整備計画策定(上田処理区管渠)
平成25年	12月	下水道長寿命化計画策定(処理場)
平成26年	1月	下水道長寿命化計画策定(管渠、マンホールポンプ)

平成26年 3月 事業計画の変更(公共:上田処理区・南部処理区 特環:別所温泉処理区・中塩田処理区・神川東処理区)工事終了予定年月日の変更

イ 丸子地域

丸子地域の公共下水道事業は、昭和55年2月に西内処理区の当初事業認可を取得し、下水道事業に着手した。その後、昭和62年12月に西内終末処理場の供用開始に至り、さらに平成11年3月に丸子終末処理場の供用開始に至っている。

また、下水道全体計画は当初昭和52年4月の西内処理区(47ha)から、平成2年3月に丸子処理区を加え、その後、平成20年3月に見直し計画を立案し、現在845haとなっている。

・公共(丸子処理区)

平成2年	3月	基本計画策定
平成4年度		終末処理場位置決定
平成5年	3月	第2次都市計画変更決定
平成5年	11月	下水道法及び都市計画変更決定(99.0ha) 管渠工事着手
平成6年度		第1回変更事業認可(幹線管渠路線変更) 処理場用地買収(土地開発公社) 処理場実施(基本)設計業務委託(日本下水道事業団)
平成7年度		処理場用地買戻し(~10年度) 処理場実施(詳細)設計業務委託(日本下水道事業団)
平成7年	5月	第1回変更事業認可(幹線管渠路線変更)
平成8年度		処理場建設工事に係る基本協定締結(日本下水道事業団) 処理場第1期建設工事着手(水処理施設:2,400m ³ /日) (汚泥処理設備:2,400m ³ /日) 事業計画見直し業務委託(日本下水道事業団) 公共下水道事業受益者負担金に関する条例制定
平成9年	8月	第2回変更事業認可(区域、計画人口、計画汚泥量変更)510.0ha
平成10年度		平成11年3月27日一部供用開始
平成11年度		処理場第2期基本協定変更(日本下水道事業団) (水処理施設:9,600m ³ /日)
平成12年度		全体計画見直し業務委託(日本下水道事業団)
平成14年度		第3次都市計画変更決定
平成14年	8月	第3回変更事業認可(区域、計画人口、計画汚泥量変更)716.0ha (水処理施設:12,000m ³ /日)
平成15年度		事業再評価の実施(事業継続)
平成16年度		事業再評価の実施(事業継続) 議会12月定例会、使用料アップ改定案可決(施行日、平成17年4月1日) 下水道使用料改定諮問(アップ答申を得る)

		議会12月定例会、使用料アップ改定案可決(施行日、平成17年4月1日)
		都市計画決定区域の変更
平成17年度		地方公営企業法を全部適用
平成20年	3月	第4回変更事業認可(区域、計画人口、計画汚泥量変更)752.0ha
平成25年	12月	下水道長寿命化計画策定(処理場)
平成26年	3月	事業計画の変更(工事終了予定年月日の変更)
・特環(西内処理区)		
昭和52年度		基本計画策定
昭和54年度		処理場位置決定
		公共下水道事業特別会計設置
昭和55年度		下水道係新設
		処理場用地買収
昭和55年	3月	下水道法事業認可(47.0ha)
昭和56年度		処理場用地買収
昭和57年度		管渠工事着手
		事業計画見直し業務委託(日本下水道事業団)
昭和58年	10月	第1回変更事業認可(区域及び計画汚水量変更)49.1ha
昭和59年度		処理場実施(基本)設計業務委託(日本下水道事業団)
		特定環境保全公共下水道審議会条例制定
		下水道事業受益者分担に関する条例制定
昭和60年度		処理場実施(詳細)設計業務委託(日本下水道事業団)
昭和60年	5月	第2回変更事業認可(処理方式変更:回転円盤→OD)
		処理場用地買収
		処理場建設工事に係る基本協定締結(日本下水道事業団)
		公共下水道都市計画決定
		処理場第1期建設工事着手(水処理施設:2,200m ³ /日)
		(汚泥処理設備:1,650m ³ /日)
昭和62年度		下水道条例制定
		下水道条例施行規則制定
		下水道指定工事店の指定等に関する規則制定
		水洗便所改造資金融資あっ旋要綱制定
		処理場管理本館及び水処理施設完成
		一部供用開始(12月15日)
昭和63年度		下水道事業受益者分担に関する条例施行規則制定
		処理場第1期建設工事完了
平成元年度		下水道条例の一部改正
		下水道条例施行規則の一部改正
		49.1haの管渠整備完了
		事業計画見直し業務委託(日本下水道事業団)
		処理場第2期実施(詳細)設計業務委託(下水道事業団)
平成2年度		処理場第2期建設工事着手(水処理施設:1,100m ³ /日)
		(汚泥処理設備:1,650m ³ /日)

		処理場汚泥処理設備全設備完了
平成2年	8月	第3回変更事業認可(区域の変更)64.8ha
平成3年度		処理場全体計画施設完了 全体事業計画の見直し業務委託(日本下水道事業団)
平成4年	5月	第4回変更事業認可(全体計画区域の拡大)79.1ha
平成5年度		計画区域内の管渠整備概成
平成6年度		下水道条例の全部改正 下水道条例施行規則の全部改正 下水道排水設備指定工事店規則の全部改正
平成7年度		第5回変更事業認可(事業期間の延伸)
平成11年度		下水道使用料改定諮問(審議会5回開催、24.6%アップ答申を得る) 議会3月定例会、使用料24.6%アップ改定案提出 継続審議
平成12年度		議会6月定例会、使用料アップ改定案可決(施行日、平成13年1月1日) 全体事業計画の見直し業務委託(日本下水道事業団)
平成16年度		事業再評価の実施(事業継続) 議会12月定例会、使用料アップ改定案可決(施行日、平成17年4月1日) 下水道使用料改定諮問(アップ答申を得る) 議会12月定例会、使用料アップ改定案可決(施行日、平成17年4月1日)
平成16年	11月	都市計画決定区域の変更
平成17年	3月	第6回変更事業認可(計画区域拡大)86.0ha
平成17年度		地方公営企業法を全部適用
平成20年	3月	第7回変更事業認可(計画人口、計画汚水量変更)
平成21年	3月	下水道地震対策緊急整備計画策定(管渠、処理場)
平成25年	12月	下水道長寿命化計画策定(処理場)
平成26年	3月	事業計画の変更(工事終了予定年月日の変更)

ウ 真田地域

真田地域の公共下水事業は、昭和 52 年に菅平処理区の当初事業認可を取得し、下水道事業に着手した。その後、昭和 60 年 6 月に菅平浄化センターの供用開始に至り、さらに平成 9 年 4 月に真田浄化センターの供用開始に至っている。

また、下水道全体計画は当初の菅平処理区(210ha)から、平成 4 年度に真田処理区を加え、その後、平成 10 年度に真田処理区の見直し、平成 13 年度に菅平処理区の見直し計画(区域の縮小)を立案し、現在 326ha となっている。

・特環(真田処理区)

平成4年	3月	基本計画策定
	12月	下水道法事業認可
平成5年	3月	処理場用地買収 処理場地質調査
平成6年	6月	処理場水処理棟建設工事着手

平成7年	7月	処理場管理汚泥棟建設工事着手 処理場水処理機械電気設備工事着手(1/2系列 1,600m ³ /日)
平成8年	3月	第1回変更事業認可(区域の拡大及び工事完成予定の延伸及び全体計画の一部見直し)
	7月	処理場汚泥設備工事着手 処理場場内整備工事
平成9年	4月	平成9年4月1日一部供用開始 (1/2系列1,600m ³ /日) 処理場汚泥処理設備工事着手
	11月	全体計画区域の見直し(全体計画区域の拡大及び排水量原単位の見直し) 第2回変更事業認可(区域の拡大及び工事完成期限の延伸)
平成11年	12月	第3回変更事業認可(区域の拡大)
平成13年	10月	処理場水処理機械電気工事着手(2/2系列 1,600m ³ /日)
平成14年	2月	154ha管渠整備完了
	3月	2/2系列目供用開始(1,600m ³ /日)
平成16年	2月	第4回変更事業認可(計画処理量の変更及び工事完成予定の延伸) (3,200m ³ /日→2,400m ³ /日)
	3月	事業計画変更認可(計画諸元、施設計画の変更及び工事終了予定年月日の変更、計画処理量変更) (2,400m ³ /日→3,200m ³)
平成20年	4月	地方公営企業法を全部適用
	3月	下水道地震対策緊急整備事業策定(処理場)
平成21年	3月	下水道地震対策緊急整備事業策定(処理場)
平成25年	12月	下水道長寿命化計画策定(処理場)
平成26年	3月	事業計画の変更(工事終了予定年月日の変更)

・特環(菅平処理区)

昭和52年	2月	基本計画策定	
		下水道法事業認可 処理場用地買収	
昭和53年	6月	処理場実施設計 処理場造成工事 管渠工事着手	
		5月	処理場実施設計 処理場造成工事
		9月	第1回変更事業認可(区域の拡大及び工事完成予定の延伸) 処理場土木工事着手
昭和55年	7月	処理場建築工事着手	
昭和57年	9月	処理場機械設備工事着手	
昭和58年	1月	第2回変更事業認可(放流渠の位置の変更及び工事完成予定の延伸)	
昭和59年	9月	処理場電気設備工事着手	
昭和60年	6月	1/2系列供用開始(2,250m ³ /日)(6月24日)	
昭和62年	12月	第3回変更事業認可(工事完成予定の延伸)	
昭和63年	8月	第4回変更事業認可(区域の拡大)	
平成元年	12月	3/4系列目供用開始(1,125m ³ /日)	
平成4年	7月	第5回変更事業認可(区域の拡大及び工事完成予定の延伸)	

- 12月 4/4系列目供用開始(1,125m³/日)
- 平成5年 9月 172ha管渠整備完了
- 平成9年 7月 第6回変更事業認可(工事完成予定の延伸)
- 平成13年 3月 第7回変更事業認可(工事完成予定の延伸)
- 平成14年 3月 全体計画見直し(区域の縮小及び水処理方式の変更)
- 平成15年 3月 第8回変更事業認可(水処理方式の変更)
- 平成19年 12月 OD法で処理開始(水処理方式の変更) ※OD法=酸化溝法(オキシデーショディッチ法)
- 平成20年 3月 事業計画変更認可(計画諸元、施設計画の変更及び工事終了予定年月日の変更)
- 4月 地方公営企業法を全部適用
- 平成25年 12月 下水道長寿命化計画策定(処理場)
- 平成26年 1月 下水道長寿命化計画策定(マンホールポンプ)
- 3月 事業計画の変更(工事終了予定年月日の変更)

(3) 事業計画

項目		単位	上田公共下水道事業					
			上田終末処理場		南部終末処理場		別所温泉 終末処理場	
			上田処理区	神川東 処理区	南部処理区	中塩田 処理区	別所温泉 処理区	
目標年次	全体計画	年	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	
	認可計画	年	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	
計画処理区域	全体計画	ha	1,869	282	859	364	70	
	認可計画	ha	1,869	282	859	364	70	
計画処理人口	常住人口	人	52,100	9,900	29,400	9,900	1,300	
	観光人口(宿泊)	人	--	--	--	--	1,400	
	観光人口(日帰り)	人	6,200	--	--	2,300	2,200	
生活・営業 汚水量原単位	日平均	生活	L/日・人	290	220	270	220	230
		営業	L/日・人	120	40	50	40	--
		営業用水率	%	40	20	20	20	--
		計	L/日・人	410	260	320	260	230
	日最大	L/日・人	550	350	430	350	330	
	時間最大	L/日・人	940	600	730	600	560	
地下水量原単位		L/日・人	110	70	60	50	70	
計画汚水量(日最大)	生活・営業	m ³ /日	28,660	3,470	12,640	3,470	430	
	地下水量	m ³ /日	5,730	690	1,760	500	90	
	工場	m ³ /日	4,180	90	880	--	--	
	観光	m ³ /日	527	--	--	127	737	
	その他	m ³ /日	3,000	--	--	--	--	
	計	m ³ /日	42,097	4,250	15,280	4,097	1,257	
計画処理水量(日平均)	全体計画	m ³ /日	33,482	3,340	11,960	3,162	898	
	認可計画	m ³ /日	33,802	3,340	11,960	3,162	898	
計画処理水量(日最大)	全体計画	m ³ /日	42,097	4,250	15,280	4,097	1,257	
	認可計画	m ³ /日	37,912	4,064	14,116	3,801	1,242	
計画処理水量(時間最大)	全体計画	m ³ /日	69,028	6,810	24,980	6,647	2,065	
	認可計画	m ³ /日	69,668	6,810	24,980	6,647	2,065	

項目		単位	丸子公共下水道事業			真田公共下水道事業		
			丸子浄化センター		西内 浄化センター	菅平 浄化センター	真田 浄化センター	
			丸子処理区 (丸子分区)	丸子処理区 (依田分区)	西内処理区	菅平処理区	真田処理区	
目標年次	全体計画	年	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	
	認可計画	年	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	
計画処理区域	全体計画	ha	559	200	86	172	154	
	認可計画	ha	557	195	86	172	154	
計画処理人口	常住人口	人	14,600	5,500	1,100	900	5,000	
	観光人口(宿泊)	人	--	--	2,200	6,400	--	
	観光人口(日帰り)	人	--	--	400	1,900	--	
生活・営業 汚水量原単位	日平均	生活	L/日・人	240	220	440	275	220
		営業	L/日・人	70	40	--	--	40
		営業用水率	%	30	20	--	--	20
		計	L/日・人	310	260	440	275	260
	日最大	L/日・人	410	350	590	670	350	
	時間最大	L/日・人	700	600	890	1,340	700	
地下水量原単位		L/日・人	60	50	120	130	50	
計画汚水量(日最大)	生活・営業	m ³ /日	5,990	1,930	650	600	1,750	
	地下水量	m ³ /日	880	280	130	120	250	
	工場	m ³ /日	2,630	10	120	--	--	
	観光	m ³ /日	--	--	1,192	3,742	--	
	その他	m ³ /日	--	--	360	--	--	
	計	m ³ /日	9,500	2,220	2,452	4,462	2,000	
計画処理水量(日平均)	全体計画	m ³ /日	7,780	1,720	1,957	1,918	1,550	
	認可計画	m ³ /日	7,850	1,750	2,017	1,918	1,590	
計画処理水量(日最大)	全体計画	m ³ /日	9,500	2,220	2,452	4,462	2,000	
	認可計画	m ³ /日	8,736	2,090	2,442	4,376	1,990	
計画処理水量(時間最大)	全体計画	m ³ /日	16,360	3,600	3,508	8,814	3,750	
	認可計画	m ³ /日	16,510	3,660	3,608	8,814	3,830	

2 財政の状況

(1) 収益的収支及び損益勘定留保資金の推移

(税込・単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
下水道事業収益	4,826,569,069	△0.87%		4,868,994,708
営業収益	2,492,207,954	0.71%		2,474,672,827
営業外収益	2,334,361,115	△2.50%		2,394,321,881
特別利益	-	—		-
下水道事業費用	4,502,421,904	△3.95%		4,687,789,893
営業費用	3,195,830,105	△3.07%		3,296,996,481
営業外費用	1,306,591,799	△6.05%		1,390,793,412
特別損失	-	—		-
収支差引額	324,147,165	78.88%		181,204,815

(税込・単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
損益勘定留保資金発生額	2,199,462,714	△6.50%		2,352,421,993
減価償却費	2,199,462,714	△0.76%		2,216,215,687
固定資産除却費	-	皆減		102,542,317
固定資産売却損	-	皆減		33,663,989
固定資産譲渡損	-	—		-
繰延勘定償却	-	—		-
固定資産除却損	-	—		-
消費税資本的収支調整額(△)	-	—		-
欠損金(△)	-	—		-
欠損金処理額	-	—		-
その他	-	—		-
損益勘定留保資金補てん額	2,432,345,119	1.32%		2,400,753,514
過年度不足分補てん額	-	—		-
過年度分修正	-	—		-
損益勘定留保資金残高	3,535,578,778	△6.18%		3,768,461,183

(2) 資本的収支及び補てん財源の推移

(税込・単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
資本的収入		694,552,400	△53.88%	1,505,854,745
企業債		194,300,000	△65.02%	555,400,000
国庫補助金		69,560,800	△87.06%	537,685,450
受益者負担金		89,780,600	△3.50%	93,035,712
工事負担金		16,652,000	△11.88%	18,897,100
他会計補助金		324,259,000	11.58%	290,609,000
固定資産売却代金		-	皆減	10,227,483
貸付金返還金		-	——	-
他会計長期借入金		-	——	-
他会計出資金		-	——	-
他会計負担金		-	——	-
その他資本的収入		-	——	-
資本的支出		3,306,651,139	△18.33%	4,048,687,176
建設改良費		469,242,373	△65.11%	1,345,082,172
企業債償還金		2,837,036,016	4.94%	2,703,605,004
補助金返還金		-	——	-
受益者負担金返還金		372,750	皆増	-
他会計長期借入金返還金		-	——	-
投資		-	——	-
開発費		-	——	-
退職給与金		-	——	-
試験研究費		-	——	-
災害損失		-	——	-
その他資本的支出		-	——	-
収支差引額		△2,612,098,739	2.72%	△2,542,832,431
翌年度繰越充当額		31,382,500	△34.09%	47,617,745

(税込・単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
補てん財源		2,643,481,239	2.05%	2,590,450,176
消費税資本的収支調整額		2,425,000	△87.94%	20,111,440
繰越工事資金		47,617,745	93.44%	24,616,800
損益勘定留保資金		2,432,345,119	1.32%	2,400,753,514
引継金		-	——	-
利益剰余金処分量		161,093,375	11.12%	144,968,422
減債積立金		161,093,375	11.12%	144,968,422
建設改良積立金		-	——	-
未処分利益剰余金		-	——	-
その他		-	——	-
補てん不足額		-	——	-

(3) 財務諸表の推移

ア 比較損益計算書

(単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
営業収益		2,373,578,968	0.71%	2,356,859,150
下水道使用料		2,372,579,890	0.69%	2,356,274,150
一般会計負担金		-	—	-
受託事業収益		-	—	-
その他営業収益		999,078	70.78%	585,000
営業費用		3,159,490,077	△3.14%	3,261,746,716
管渠費		122,812,009	14.20%	107,541,080
ポンプ場費		27,385,993	△9.26%	30,180,223
処理場費		612,129,842	△1.45%	621,154,454
受託事業費		-	—	-
水質規制費		1,750,050	△15.12%	2,061,900
普及促進費		2,257,671	98.73%	1,136,062
業務費		65,021,100	4.19%	62,405,425
総係費		128,670,698	13.06%	113,809,568
減価償却費		2,199,462,714	△0.76%	2,216,215,687
資産減耗費		-	皆減	107,242,317
その他営業費用		-	—	-
営業利益・損失		△785,911,109	△13.15%	△904,887,566
営業外収益		2,334,811,038	△2.36%	2,391,354,889
受取利息及び配当金		7,447,536	△17.61%	9,039,359
国庫補助金		539,000	皆増	-
他会計補助金		2,314,309,000	△2.32%	2,369,341,000
その他雑収益		12,515,502	△3.54%	12,974,530
営業外費用		1,227,177,764	△7.41%	1,325,373,948
支払利息及び企業債取扱諸費		1,208,182,542	△4.62%	1,266,738,079
繰延勘定償却		-	—	-
その他雑支出		18,995,222	△67.60%	58,635,869
経常利益・損失		321,722,165	99.71%	161,093,375
特別利益		-	—	-
固定資産売却益		-	—	-
過年度損益修正益		-	—	-
その他特別利益		-	—	-
特別損失		-	—	-
固定資産売却損		-	—	-
過年度損益修正損		-	—	-
災害派遣費		-	—	-
その他特別損失		-	—	-
当年度純利益・損失		321,722,165	99.71%	161,093,375
前年度繰越利益剰余金・欠損金		-		-
当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金		321,722,165		161,093,375

イ 剰余金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
利益剰余金	前年度繰入額	161,093,375	11.12%	144,968,422
	当年度処分額	161,093,375	11.12%	144,968,422
	当年度末残高	-	—	-
	積立金合計	-	—	-
剰余金(欠損金)の部	前年度利益剰余金処分額	161,093,375	11.12%	144,968,422
	減債・積立金	161,093,375	11.12%	144,968,422
	前年度欠損金処理額	-	—	-
	当年度純利益・損失	321,722,165	99.71%	161,093,375
	当年度末処分利益剰余金・未処理欠損金	321,722,165	99.71%	161,093,375
資本剰余金の部	前年度処分額	-	—	-
	当年度発生高	29,483,486,342	5655.26%	512,287,370
	当年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	35,879,466,351	460.97%	6,395,980,009
	前年度処分額	-	—	-
	当年度発生高	7,297,780,114	7980.84%	90,309,724
	当年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	8,858,628,094	467.55%	1,560,847,980
	前年度処分額	-	—	-
	当年度発生高	56,250,506	211.84%	18,038,500
	当年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	223,677,308	33.60%	167,426,802
剰余金の部	前年度処分額	-	—	-
	当年度発生高	1,380,340,934	390.39%	281,479,334
	当年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	4,420,218,450	45.41%	3,039,877,516
	前年度処分額	-	—	-
	当年度発生高	32,033,750	皆増	-
剰余金の部	前年度処分額	-	—	-
	当年度発生高	-	—	-
	当年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	255,684,458	14.32%	223,650,708
	前年度処分額	-	—	-
	当年度発生高	-	—	-
剰余金の部	前年度処分額	-	—	-
	当年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	495,238	0.00%	495,238
	翌年度繰越資本剰余金	49,638,169,899	335.87%	11,388,278,253

ウ 比較貸借対照表

(単位:円)

項目	年度	平成25年度末		平成24年度末
			対前年度比	
固定資産		109,200,274,650	△1.58%	110,947,763,577
有形固定資産		109,198,423,980	△1.58%	110,945,826,405
土地		3,542,715,454	0.01%	3,542,715,454
建物		6,746,235,363	1.10%	6,672,987,404
構築物		82,853,853,787	△1.20%	83,863,345,494
機械及び装置		16,004,552,611	4.83%	15,267,267,231
車両運搬具		2,030,898	△22.93%	2,635,248
工具器具及び備品		35,269,680	41.11%	24,994,782
建設仮勘定		13,766,187	△99.12%	1,571,880,792
無形固定資産		1,850,670	△4.47%	1,937,172
地上権		85,618	△50.00%	171,236
地役権		1,765,052	△0.05%	1,765,936
流動資産		5,272,897,512	△12.39%	6,018,762,878
現金及び預金		4,918,979,409	△4.01%	5,124,256,719
現金		31,000	0.00%	31,000
預金		4,918,948,409	△4.01%	5,124,225,719
未収金		315,474,903	△63.10%	855,054,559
営業未収金		294,521,851	△0.87%	297,116,309
営業外未収金		-	皆減	1,474,100
その他の未収金		20,953,052	△96.23%	556,464,150
前払金		38,443,200	△2.56%	39,451,600
繰延勘定資産		-	-	-
資産合計		114,473,172,162	△2.13%	116,966,526,455
固定負債		1,195,071,159	7.40%	1,112,734,268
引当金		1,195,071,159	7.40%	1,112,734,268
修繕引当金		1,117,647,236	7.78%	1,036,974,001
退職給付引当金		77,423,923	2.20%	75,760,267
流動負債		189,142,910	△79.64%	928,856,307
未払金		189,004,909	△79.65%	928,586,731
営業未払金		109,836,655	12.10%	97,978,858
営業外未払金		33,528,200	△84.23%	212,642,750
その他の未払金		45,640,054	△92.61%	617,965,123
その他の流動負債		138,001	△48.81%	269,576
預り金		138,001	△48.81%	269,576
負債合計		1,384,214,069	△32.20%	2,041,590,575
資本		63,129,066,029	△38.93%	103,375,564,252
自己資本		8,618,621,808	△81.35%	46,222,384,015
引継資本		6,695,524,934	△84.94%	44,460,380,516
組入資本		1,923,096,874	9.14%	1,762,003,499
借入資本		54,510,444,221	△4.62%	57,153,180,237
企業債		54,510,444,221	△4.62%	57,153,180,237
剰余金		49,959,892,064	332.58%	11,549,371,628
資本剰余金		49,638,169,899	335.87%	11,388,278,253
国庫補助金		35,879,466,351	460.97%	6,395,980,009
受益者負担金		8,858,628,094	467.55%	1,560,847,980
工事負担金		223,677,308	33.60%	167,426,802
他会計補助金		4,420,218,450	45.41%	3,039,877,516
受贈財産評価額		255,684,458	14.32%	223,650,708
その他の資本的収入		495,238	0.00%	495,238
利益剰余金		321,722,165	99.71%	161,093,375
当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金		321,722,165	99.71%	161,093,375
資本合計		113,088,958,093	△1.60%	114,924,935,880
負債資本合計		114,473,172,162	△2.13%	116,966,526,455

(4) 資金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
収	入	6,046,183,835	0.72%	6,002,772,928
事業収益		4,603,093,967	△0.86%	4,642,918,242
前年度未収金		760,597,118	96.09%	387,883,114
企業債		194,300,000	△65.02%	555,400,000
国庫補助金		56,278,300	皆増	0
受益者負担金		89,777,800	△3.51%	93,039,832
工事負担金		16,652,000	48.19%	11,237,100
他会計補助金		324,259,000	11.58%	290,609,000
一時借入金		-	—	-
短期貸付金		-	—	-
前払金戻入		-	皆減	12,401,200
契約保証金		1,143,713	41.13%	810,390
還付預り金		14,643	皆増	-
その他預り金		-	—	-
資産売却代金		-	—	-
その他資本的収入		-	皆減	8,473,920
特別会計引継金		-	—	-
事業費用戻入		67,294	51664.62%	130
支	出	6,251,461,145	2.73%	6,085,425,039
事業費用		2,013,285,367	7.95%	1,865,046,131
前年度未払金		927,112,631	25.66%	737,808,427
建設改良費		361,263,989	△64.84%	1,027,628,580
企業債償還金		2,837,036,016	22.76%	2,311,127,513
受益者負担金還付金		372,750	皆増	-
一時借入金返済		-	—	-
短期貸付金		-	—	-
前払金		108,602,894	△18.19%	132,754,320
契約保証金返還		71,663	△97.91%	3,424,890
還付金		3,715,835	△51.33%	7,635,178
その他預り金		-	—	-
補助金返還金		-	—	-
収支差引額		△ 205,277,310	148.36%	△ 82,652,111
前年度末現金預金残高		5,124,256,719	△1.59%	5,206,908,830
当年度末現金預金残高		4,918,979,409	△4.01%	5,124,256,719

(5) 費用構成の推移

(税抜・単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度		
		構成比	対前年度比	構成比	対前年度比	
費用合計		4,386,667,841	100.00%	△4.37%	4,587,120,664	100.00%
維持管理費①		979,022,585	22.32%	1.64%	963,260,592	21.00%
職員給与費		110,820,360	2.53%	9.09%	101,585,571	2.21%
動力費		176,976,577	4.03%	7.21%	165,076,825	3.60%
光熱水費		1,033,468	0.02%	13.20%	912,971	0.02%
通信運搬費		4,113,888	0.09%	5.81%	3,887,902	0.08%
修繕費		160,629,203	3.66%	1.18%	158,752,927	3.46%
材料費		2,192,435	0.05%	178.01%	788,626	0.02%
薬品費		49,010,000	1.12%	△20.33%	61,520,000	1.34%
路面復旧費		-	0.00%	-	-	0.00%
委託料		394,606,845	9.00%	△5.12%	415,883,243	9.07%
その他		79,639,809	1.82%	45.19%	54,852,527	1.20%
資本費②		3,407,645,256	77.68%	△5.97%	3,623,860,072	79.00%
支払利息		1,208,182,542	27.54%	△4.62%	1,266,738,079	27.62%
減価償却費		2,199,462,714	50.14%	△0.76%	2,216,215,687	48.31%
その他		-	0.00%	皆減	140,906,306	3.07%
公費負担分		2,443,165,849	55.70%	66.02%	1,471,636,024	32.08%
維持管理費①'		19,121,000	0.44%	0.43%	19,040,000	0.42%
資本費②'		2,424,044,849	55.26%	66.88%	1,452,596,024	31.67%
使用料対象経費③		1,943,501,992	44.30%	△37.62%	3,115,484,640	67.92%
維持管理費①-①'		959,901,585	21.88%	1.66%	944,220,592	20.58%
資本費②-②'		983,600,407	22.42%	△54.70%	2,171,264,048	47.33%

(税抜・単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度	
			対前年度比		対前年度比
年間有収水量 (m ³) ④		12,742,963	0.53%		12,675,944
汚水処理原価 (円/m ³) ③/④		152.52	△37.95%		245.78
維持管理分		75.33	1.13%		74.49
資本費分		77.19	△54.94%		171.29
使用料収入 (円) ⑤		2,372,579,890	0.69%		2,356,274,150
使用料単価 (円/m ³) ⑤/④		186.19	0.16%		185.89

(6) 固定資産の推移

ア 有形固定資産

(単位:円)

資産名	平成25年度		平成24年度
	年度	対前年度比	
土地	3,542,715,454	0.00%	3,542,715,454
施設用地	3,542,715,454	0.00%	3,542,715,454
建物	6,746,235,363	1.10%	6,672,987,404
施設用建物	6,745,350,657	1.10%	6,672,020,947
その他建物	884,706	△8.46%	966,457
構築物	82,853,853,787	△1.20%	83,863,345,494
排水設備	75,583,928,834	△1.43%	76,683,045,168
処理設備	6,617,250,642	1.63%	6,510,897,296
その他構築物	652,674,311	△2.50%	669,403,030
機械及び装置	16,004,552,611	4.83%	15,267,267,231
電気設備	5,090,679,058	9.72%	4,639,836,000
内燃設備	266,643,184	△4.60%	279,491,616
ポンプ設備	1,762,980,701	△0.36%	1,769,377,715
滅菌設備	224,991,410	△2.58%	230,944,556
その他機械装置	8,659,258,258	3.73%	8,347,617,344
車両運搬具	2,030,898	△22.93%	2,635,248
工具器具及び備品	35,269,680	41.11%	24,994,782
建設仮勘定	13,766,187	△99.12%	1,571,880,792

(注) 金額は減価償却累計額を減じた純額で掲載している。

イ 無形固定資産

(単位:円)

資産名	平成25年度		平成24年度
	年度	対前年度比	
地上権	85,618	△50.00%	171,236
地役権	1,765,052	△0.05%	1,765,936

(7) 企業債残高の推移

ア 借入先別内訳

(単位:円)

借入先	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
財政 金融 資金	特別会計からの引継額	-	-	-
	借入額	194,300,000	△65.02%	555,400,000
	返済額	949,560,853	6.22%	893,918,034
	年度末未償還残高	20,292,935,946	△3.59%	21,048,196,799
地方 金融 公共 機関	特別会計からの引継額	-	-	-
	借入額	-	-	-
	返済額	1,058,599,305	2.87%	1,029,033,803
	年度末未償還残高	17,979,974,484	△5.56%	19,038,573,789
簡便 保険 易生 資金	特別会計からの引継額	-	-	-
	借入額	-	-	-
	返済額	828,875,858	6.18%	780,653,167
	年度末未償還残高	16,237,533,791	△4.86%	17,066,409,649
合 計	特別会計からの引継額	-	-	-
	借入額	194,300,000	△65.02%	555,400,000
	返済額	2,837,036,016	4.94%	2,703,605,004
	年度末未償還残高	54,510,444,221	△4.62%	57,153,180,237

イ 利率別年度末残高

(単位:円)

利率	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
1.0%未満		375,201,254	△2.40%	384,415,987
1.0%以上2.0%未満		20,857,149,626	△3.41%	21,594,490,093
2.0%以上3.0%未満		26,315,245,388	△4.52%	27,560,215,551
3.0%以上4.0%未満		4,332,975,770	△6.83%	4,650,550,719
4.0%以上5.0%未満		2,629,872,183	△11.26%	2,963,507,887
5.0%以上6.0%未満		-	-	-
6.0%以上7.0%未満		-	-	-
7.0%以上7.5%未満		-	-	-
7.5%以上8.0%未満		-	-	-
8.0%以上		-	-	-

(8) 繰入金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
損 益 勘 定 繰 入 金	営業収益	-	-	-
	基準内繰入金	-	-	-
	基準外繰入金	-	-	-
	営業外収益	2,314,309,000	△2.32%	2,369,341,000
	基準内繰入金	2,313,658,000	0.96%	2,291,552,000
	基準外繰入金	651,000	△99.16%	77,789,000
資本 勘 定 繰 入 金	計	2,314,309,000	△2.32%	2,369,341,000
	基準内繰入金	2,313,658,000	0.96%	2,291,552,000
	基準外繰入金	651,000	△99.16%	77,789,000
	資本勘定繰入金	324,259,000	11.58%	290,609,000
	基準内繰入金	290,275,000	2.47%	283,289,000
	基準外繰入金	33,984,000	364.26%	7,320,000
合 計		2,638,568,000	△0.80%	2,659,950,000
	基準内繰入金	2,603,933,000	1.13%	2,574,841,000
	基準外繰入金	34,635,000	△59.31%	85,109,000

(9) 経営分析

ア 労働の生産性

項目		平成25年度		平成24年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
平均給与 (千円)	上田市	9,235	↑1,421	7,814	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの職員給与費を示し、高すぎても低すぎてもよくない。
	全国平均			9,866		
労働生産性 (千円)	上田市	197,798	↑16,501	181,297	$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの営業収益を示し高いほどよい。
	全国平均			145,530		
労働分配率 (%)	上田市	4.67	↑0.36	4.31	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうち、職員に分配される割合を示し高すぎても低すぎてもよくない。
	全国平均			6.78		
職員1人あたり有収水量 (m ³ /人)	上田市	1,061,914	↑86,841	975,073	$\frac{\text{有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	高いほど効率的な経営がなされていると言える。
	全国平均			600,375		

イ 施設の効率性

項目		平成25年度		平成24年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
施設利用率 (%)	上田市	51.33	↑0.89	50.44	$\frac{\text{1日平均処理水量}}{\text{処理能力}} \times 100$	施設の能力のうち、実際に利用されている割合を表す指標。高いほどよい。
	全国平均			68.07		
負荷率 (%)	上田市	60.87	↓9.30	70.17	$\frac{\text{1日平均処理水量}}{\text{1日最大処理水量}} \times 100$	高いほどよい。なお、この値が低いとピーク時以外に利用しない容量が生じ、非効率となる。
	全国平均			73.26		
最大稼働率 (%)	上田市	84.32	↑12.43	71.89	$\frac{\text{1日最大処理水量}}{\text{処理能力}} \times 100$	高いほどよいが、100%に近い場合は施設能力が限界に近いため、注意が必要である。
	全国平均			92.91		
有収率 (%)	上田市	86.21	↓1.05	87.26	$\frac{\text{有収水量}}{\text{年間処理水量}} \times 100$	処理水量のうち、実際に使用料収入に結びつく水量の割合。高いほどよい。
	全国平均			71.59		
管渠使用効率 (m ³ /m)	上田市	16.24	↑0.23	16.01	$\frac{\text{年間処理水量}}{\text{管渠総延長}}$	管1mあたり、年間どのくらいの汚水が流れたかをみる指標。高いほど効率的である。
	全国平均			40.18		

ウ 経営資本の効率性及び財政状態の健全性

項目		平成25年度		平成24年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
経営資本 営業利益率 (%)	上田市	△0.68	↑0.10	△0.78	$\frac{\text{営業利益}}{\text{平均経営資本}} \times 100$	投下した経営資本と営業利益との関係を表す指標。高いほどよい。
	全国平均			1.13		
営業収益 営業利益率 (%)	上田市	△33.11	↑5.28	△38.39	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうちどの程度の割合が利益であるのかを示す指標。高いほどよい。
	全国平均			24.68		
経営資本 回転率 (回)	上田市	0.02	0.00	0.02	$\frac{\text{営業収益}}{\text{平均経営資本}}$	投下した経営資本と営業収益との関係を表す指標。高いほどよい。
	全国平均			0.05		
経常収支比率 (%)	上田市	107.33	↑3.82	103.51	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}}$	経常的な収支の関係を表す指標。100%以上なら経常利益が出ている。高いほどよい。
	全国平均			118.53		
使用料単価 (円/m)	上田市	186.19	↑0.30	185.89	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{有収水量}}$	使用料対象水量1m ³ 当たりの使用料。高いほど使用料水準が高いことを示す。
	全国平均			137.01		
汚水処理原価 (円/m ³)	上田市	152.52	↓93.26	245.78	$\frac{\text{汚水処理費用}}{\text{有収水量}}$	使用料対象水量1m ³ 当たりの処理費用。高いほど使用料水準を高くする必要がある。
	全国平均			59.41		
企業債 元利償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	170.50	↑2.00	168.50	$\frac{\text{企業債元利償還金}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	企業債発行額が事業規模に適正かどうかを判断する基準。低いほどよい。
	全国平均			134.39		
企業債 元金償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	119.58	↑4.84	114.74	$\frac{\text{企業債償還金}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	使用料収入のうち、企業債返済に充てられる割合を示す指標。低いほどよい。
	全国平均			97.66		
企業債利息対 料金収入比率 (%)	上田市	50.92	↓2.84	53.76	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	使用料収入のうち、企業債利息に充てられる割合を示す指標。低いほどよい。
	全国平均			36.73		
減価償却率 (%)	上田市	2.04	↓0.01	2.05	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{減価償却対象資産}} \times 100$	償却資産に投資した資金の回収速度を示す。高いほど回収が早くなる。
	全国平均			2.04		

(注) 平均経営資本=(総資本(負債資本合計)-建設仮勘定-投資)の前年度末当年度末平均

(注) 減価償却費対象資産=有形固定資産+無形固定資産-(土地+建設仮勘定)+減価償却費

項目		平成25年度		平成24年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
固定資産 構成比率 (%)	上田市	95.39	↑0.54	94.85	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資産合計}} \times 100$	資産合計に対する固定資産の割合を示す指標。低い方が望ましい。
	全国平均			97.55		
自己資本 構成比率 (%)	上田市	51.17	↑1.78	49.39	$\frac{\text{資本}}{\text{総資本}} \times 100$	企業の自己資本調達度を判断する指標。50%以上が望ましい。
	全国平均			58.69		
固定比率 (%)	上田市	186.42	↓5.62	192.04	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本}} \times 100$	自己資本で固定資産をどの程度賅っているかをみる指標。理論上は100%以下が望ましい。
	全国平均			166.22		
固定負債 構成比率 (%)	上田市	48.66	↓1.15	49.81	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	総資本に対する固定負債の割合を示す指標。低いほどよい。
	全国平均			40.00		
固定資産 長期資本比率 (%)	上田市	95.55	↓0.06	95.61	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本+固定負債}} \times 100$	固定資産への投資の健全性をみる指標。100%以下がよい。
	全国平均			98.85		
流動比率 (%)	上田市	2,787.78	↑2,139.80	647.98	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	企業の短期的な支払能力をみる指標。100%以上で高いほどよい。
	全国平均			185.89		
酸性試験比率 (当座比率) (%)	上田市	2,767.46	↑2,123.73	643.73	$\frac{\text{現金預金+未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	流動比率よりもさらに即時的な支払能力をみる指標。高いほどよい。
	全国平均			150.25		

(注) この表では、借入資本金を資本ではなく固定負債に分類して算出を行っている。

* 全国平均は、法適用(財務適用を含む)の公共下水道事業及び特定環境公共下水道事業の平均である。

* 出典:地方公営企業年鑑

3 業務の状況

(1) 業務量

年度		平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
A	行政区域内人口 (人)	157,630	△0.16%	157,884
B	対象区域内人口 (人)	127,297	△0.08%	127,402
C	整備済人口 (人)	126,152	-0.17%	126,368
D	処理区域内人口 (人)	126,144	-0.17%	126,360
E	水洗化人口 (人)	113,109	0.45%	112,600
C/A	整備率 (対行政区域内) (%)	80.03	/	80.04
C/B	率 (対対象区域内) (%)	99.10		99.19
D/A	普及率 (対行政区域内) (%)	80.03	/	80.03
D/B	率 (対対象区域内) (%)	99.09		99.18
E/A	水洗化率 (対行政区域内) (%)	71.76	/	71.32
E/B	(対対象区域内) (%)	88.85		88.38
E/D	(対処理区域内) (%)	89.67		89.11
F	処理区域内戸数 (戸)	51,379	0.71%	51,015
G	水洗化戸数 (戸)	45,607	1.35%	44,999
G/F	水洗化率 (%)	88.77	/	88.21
	整備面積 (ha)	4,300.11	0.17%	4,292.69
	処理可能面積 (ha)	4,299.44	0.18%	4,291.56
	使用料調定件数 (件)	286,542	-1.07%	289,647
H	年間処理水量 (m ³)	14,782,025	1.76%	14,526,256
I	年間有収水量 (m ³)	12,742,963	0.53%	12,675,944
I/H	有収率 (%)	86.21	/	87.26

(注) 人口は、外国人登録者を含まない。

(2) 水洗化人口の推移

(単位:人)

事業・処理区	年度	平成25年度末		平成24年度末	
		水洗化率	対前年度比		
上田公共下水道事業		89,347	89.84%	0.55%	88,854
上田処理区		48,152	93.60%	0.25%	48,031
南部処理区		24,598	87.21%	1.05%	24,343
別所温泉処理区		1,261	91.51%	△0.79%	1,271
中塩田処理区		7,941	83.28%	△0.31%	7,966
神川東処理区		7,395	83.21%	2.10%	7,243
丸子公共下水道事業		18,662	88.59%	0.44%	18,581
丸子処理区(丸子分区)		12,847	89.31%	0.58%	12,773
西内処理区		1,073	94.21%	△2.19%	1,097
丸子処理区(依田分区)		4,742	85.58%	0.66%	4,711
真田公共下水道事業		5,100	90.57%	△1.26%	5,165
菅平処理区		708	94.91%	△3.01%	730
真田処理区		4,392	89.91%	△0.97%	4,435
計		113,109	89.67%	0.45%	112,600

(注) 人口は、外国人登録者を含まない。

(3) 処理可能面積の推移

(単位:ha)

事業・処理区	年度	平成25年度末		平成24年度末
		対前年度比		
上田公共下水道事業		3,207.98	0.20%	3,201.48
上田処理区		1,777.00	0.04%	1,776.24
南部処理区		776.50	0.74%	770.76
別所温泉処理区		68.12	0.00%	68.12
中塩田処理区		330.25	0.00%	330.25
神川東処理区		256.11	0.00%	256.11
丸子公共下水道事業		765.46	0.18%	764.08
丸子処理区(丸子分区)		499.55	0.16%	498.77
西内処理区		85.00	0.00%	85.00
丸子処理区(依田分区)		180.91	0.33%	180.31
真田公共下水道事業		326.00	0.00%	326.00
菅平処理区		172.00	0.00%	172.00
真田処理区		154.00	0.00%	154.00
計		4,299.44	0.18%	4,291.56

(4) 受益者負担金・分担金の状況

(1㎡あたり・単位:円)

区分・処理区	期間	平成18年3月6日～
上田地域		560
丸子地域		810

(5) 収納状況の推移

ア 下水道使用料

(税込・単位:円)

年度	調定額	収入額	収入未済額	現年収納率		不納欠損額
					前年との差	
平成24年度	2,474,087,827	2,443,315,273	30,772,554	98.76%	△0.15	18,675,184
平成25年度	2,491,208,876	2,462,664,886	28,543,990	98.85%	0.10	16,347,999

(注) それぞれ、翌年度5月末日時点の数値である。

イ 受益者負担金

(税込・単位:円)

年度	調定額	収入額	収入未済額	現年収納率		不納欠損額
					前年との差	
平成24年度	89,552,860	85,763,080	3,789,780	95.77%	△0.32	7,975,260
平成25年度	89,255,610	86,079,310	3,176,300	96.44%	0.67	9,647,610

(注) それぞれ、5月末日時点の数値である。

(6) 下水道使用料の納付方法(1期当たり平均)

(単位:件)

納付方法	年度	平成25年度	
		件数	構成比
口座振替		24,134	82.57%
直接納付		5,095	17.43%
コンビニエンスストア		3,491	11.94%
その他		1,604	5.49%
合計		29,229	100.00%

(注) 旧上田市で実施していたコンビニ収納を平成18年7月から全地域で始めた。

(7) 下水道排水設備資金融資利子補給制度

ア 制度の概要

融資限度額	100万円	利率	各金融機関の定める利率（市の利子補給率は1.9%以内）
償還方法	元金均等又は元利均等によるほか融資機関の定める方法		
利子補給期間	5年以内		
利子補給要件	① 下水道排水設備資金であること。（公共・特環区域内の一般住宅） ② 建築物の所有者又は所有者の同意を得た占有者 ③ 市税、受益者負担金、水道料金等を滞納していない者 ④ 供用開始後3年以内に排水設備工事が完了見込みの者。		
借入手続	各金融機関、上下水道局サービス課または各地域自治センター上下水道課窓口にて手続きをする。		

イ 融資利用状況

年度	確認申請戸数	融資利用戸数	利用率	利子補給件数	融資金額	利子補給額
	(戸)	(戸)	(%)	(件)	(千円)	(千円)
平成17年度	291	0	0.00	0	-	-
18年度	2,263	3	0.13	37	2,600	217
19年度	2,103	3	0.14	30	3,000	168
20年度	1,868	2	0.11	27	1,526	142
21年度	1,388	1	0.07	19	1,000	98
22年度	1,180	0	0.00	10	-	50
23年度	1,414	0	0.00	7	-	23
24年度	1,043	2	0.19	5	1,270	13
25年度	1,054	0	0.00	3	-	26

(注) 平成17年度の数値は、合併前の旧上田市、丸子町の数値を含めない。
平成20年度は地方公営企業法を適用した特環真田、菅平処理区の数値を含む。

ウ 制度の変遷

年度	融資限度額	約定利率	本人利率	市負担率	利子補給期間	備考		
平成17年度	100万円	各金融機関 取決めによる		1.9%以内	5年以内			
18年度								
19年度								
20年度								
21年度								
22年度								
23年度								
24年度								
25年度	▽					▽	▽	

4 施設の状況

(1) 処理場の状況

ア 上田終末処理場

処理区	上田処理区/神川東処理区
位置	上田市秋和29番地
敷地面積	約53,600㎡
処理方式	標準活性汚泥法
供用開始	昭和47年7月1日
放流水先	千曲川
計画処理水量	

	全体計画	事業認可	現在の処理能力
日平均	36,900m ³ /日	33,600m ³ /日	28,200m ³ /日
日最大	46,400m ³ /日	42,000m ³ /日	35,250m ³ /日
計画処理人口	68,200人	65,775人	

(注) 計画処理人口には、観光人口を含む。

計画流入水質
計画放流水質
主要施設

BOD:250mg/L・SS:180mg/L
BOD:15mg/L・SS:30mg/L

施設名称	形式及び能力
管理棟	1階 RC造 事務所、宿直室、電気室、更衣室 延べ面積: 706.6m ² 2階 RC造 水質検査室、会議室、更衣室
沈砂棟	鉄骨造平屋建 延べ面積: 412.29m ² 沈砂池 平行流重力式 長8.0m×幅1.0m×深さ0.75m 2池 長8.0m×幅1.6m×深さ0.75m 1池
汚水ポンプ室	立軸渦巻斜流ポンプ φ300×5.5m×10.0m ³ ×15kW 1台 φ400×5.5m×20.0m ³ ×15kW 1台 φ300×5.0m×11.0m ³ ×15kW 1台 φ400×5.0m×22.0m ³ ×30kW 1台
1系流量計	1系流入流量計 超音波式流量計 伝播時間差式 φ900 1基 1系放流流量計 超音波式流量計 伝播時間差式 φ1000 1基
最初沈殿池	平行流長方形 RC造 長30.0m×幅10.0m×深さ2.8m×2池 3系列
反応タンク	散気式旋回流方式 RC造 長35.0m×幅6.0m×深さ5.0m×2池 5系列
最終沈殿池	平行流長方形 RC造 長28.0m×幅4.0m×深さ3.5m×2池 1系列 長28.0m×幅4.1m×深さ3.0m×2池 2系列
塩素滅菌室	塩素注入機 2kg/時 2台
送風機	多段式ターボブロワ φ300×70m ³ /min×5,800mmHg×130kW 2台 多段式ターボブロワ(インレットベーン) φ300×80m ³ /min×56.8kpa×130kW 1台
脱臭機	活性炭吸着方式 299m ³ /min 1台 脱臭ファン 270m ³ /min×2.4Kpa×18.5kw 1台 生物脱臭方式 角形充填塔式 29m ³ /min 1台 脱臭ファン 29m ³ /min×3.5Kpa×5.5kw 1台
砂ろ過器	移床式連続砂ろ過器 5.0m ² 1,000m ³ /日 2台
スカム処理室	スカム分離機 回転ドラムスクリーン φ800×長28.0m 1台
汚泥ポンプ室	返送汚泥ポンプ φ200×6.3m ³ /min×14m×30kW 2台 余剰汚泥ポンプ φ80×0.7m ³ /min×16m×7.5kW 2台
汚泥貯留槽	内径7.0m×深4.0m・容量308m ³
機械濃縮棟	RC造 延べ面積: 80.60m ² 常圧浮上濃縮装置(NIAS) 内径2.3m×高3.2m×2.2kW 2基
汚泥消化タンク	円錐形 RC造 嫌気性加温式段消化 φ12.0×9.0m 2槽
ガスタンク	有水式ガスホルダ 内径9.4m×高8.4m・容量500m ³ 2基

汚泥処理施設

施設名称	形式及び能力
汚泥処理棟	RC造 延べ面積: 706.6㎡ ボイラー設備 炉筒煙管ボイラー 1台
新汚泥処理棟	RC造 地下1階 地上3階 延べ床面積: 2,345.44㎡ 常圧浮上濃縮装置 浮上面積 7.2㎡ φ 3.2×3.9mH 9.2kW 2基 遠心脱水機 5㎡/時 15kW 3基 活性炭吸着方式 44㎡/min 1台 脱臭ファン 44㎡/min×2.0Kpa×5.5kw 1台 生物脱臭方式 角形充填塔式 44㎡/min 1台 監視制御施設 第1系列、第2系列、汚泥処理、焼却設備 受変電施設 第1系列、第2系列、汚泥処理、焼却設備
消化タンク棟	RC造 地上4階 地下1階 延べ面積: 1,019㎡ 温水器150,000kcal/min 熱交換器124,400kcal/min 各1基 消化汚泥引抜きポンプ φ 100×1.0㎡/min×20m×7.5kw 2台 濃縮汚泥移送リレーポンプ φ 80×11㎡/min×30m×3.7kw 2台 汚泥循環ポンプ φ 100×1.0㎡/min×25m×11kw 2台 消化槽:動力制御盤 コントロールセンタ 補助リレー盤 一式 脱硫装置:動力制御盤 監視制御装置 一式
消化タンク	PC造 2,400㎡ φ 16m H=26.5m 1基 スクルー式攪拌機 11kw 1台 ドラフトチューブ φ 500×13.5m 1台
脱硫棟	鉄骨造 平屋 延べ面積: 172㎡ 高機能脱硫装置 85N㎡/h×0.9MPa×4kw 1基 消化ガス圧縮機 85N㎡/h×0.9MPa×45kw(VVVF) 2基 高圧水給水ポンプ 35㎡/h×140m×22kw(VVVF) 2基 受水槽 FRP10㎡ 1基 生物脱臭方式 角形充填塔式 2.8㎡/min 1基 余剰ガス燃焼装置 φ 1.7m H=10m 170N㎡/h 1基
ガスホルダ	横型円筒形ガスホルダ φ 3.0m L=9.5m 0.97MPa 容量74㎡ 1基
バイオガス充填機	第2種製造 72N㎡/日 19.6MPa 1基
トイレ棟	男子(小便器1基、洋式便器1基)女子(洋式便器1基) 手洗器各1台 延べ面積: 15.7㎡
焼却棟	鉄骨造 延べ面積: 731.21㎡ 流動床式汚泥焼却炉 能力25t/日 1基 空気予熱器 60.4㎡×1,520MJ/h×650℃ 1基 白煙防止予熱器 60.7㎡×1,063MJ/h×300℃ 1基 サイクロン φ 565mm×高5,175mm 5,400㎡/h 1基 電気集塵機 乾式上向流式 6,100㎡ 55kW 1基
電気棟	RC造 地下1階 地上2階 延べ面積: 707.72㎡

第2系列水処理施設

施設名称	形式及び能力
水処理棟	RC造 地上2階 延べ面積: 1,681.5㎡ 送風機室、脱臭機室、換気機械室、電気室、スカム処理室、砂ろ過機室、塩素注入室
流量計	流入流量計 超音波式流量計 伝播時間差式 φ600 1基 放流流量計 電磁式流量計 潜水式 φ400 1基
最初沈殿池	平行流長方形 長18.0m×幅3.5m×深さ3.0m×2池 1/2列
反応タンク	散気式全面曝気方式、水中攪拌式曝気方式 長53.1m×幅7.5m×深さ5.5m×1池 1/2列
最終沈殿池	平行流長方形 長45.0m×幅3.5m×深さ3.5m×2池 1/2列
送風機	ルーツ式ブロワ φ150×24m³/min×75.5Kpa×55kw 2台
脱臭機	活性炭吸着方式 30m³/min 1/2台 脱臭ファン 30m³/min×2Kpa×3.7kw 1/2台
スカム分離機	スカム分離機 脱水機構付ドラムスクリーン φ780×長3.5m×2.4m³/min×1.5kw 1台
消毒設備	次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ φ25×0.1~0.55ℓ/min×0.4kw 2台
汚泥ポンプ	返送汚泥ポンプ φ150×2.2m³/min×4m×3.7kW 2台 余剰汚泥ポンプ φ100×0.7m³/min×4m×2.2kW 2台
電気計装設備	変電設備 6kv 一式 運転操作設備 コントロールセンタ、補助継電器盤、プログラマブル コントローラ、動力制御盤、インバータ式可変速制御装置 一式 計装設備 一式

イ 南部終末処理場

処 理 区 南部処理区/中塩田処理区
 位 置 上田市下之条1155-15
 敷 地 面 積 約40,000m²
 処 理 方 式 標準活性汚泥法
 供用開始年月日 平成11年12月1日
 放 流 先 鯉座川
 計 画 処 理 水 量

	全体計画	事業認可	現在の処理能力
日 平 均	15,200m ³ /日	14,000m ³ /日	16,800m ³ /日
日 最 大	19,400m ³ /日	17,900m ³ /日	21,450m ³ /日
計画処理人口	41,600人	39,558人	

(注)計画処理人口には、観光人口を含む。

計画流入水質
 計画放流水質
 主要施設

BOD:200mg/L・SS:190mg/L
 BOD:15mg/L・SS:30mg/L

施設名称	形式及び能力
管理棟	1階 事務室、作業員控室、宿直室、理化学実験室、自家発電機室 2階 会議室、電気室、管理制御室 延べ面積1,763.1m ² 自家発電機 単純開放サイクル1軸式ガスタービン 581PS 交流発電機 500kVA、6,600V 1台
沈殿池	平行重力式 長6.0m×幅2.0m×深2.0m 1池
水中ポンプ	水中ベレードレスポンプ φ200mm×3.7m ³ /分×13m×15kW 2台 φ250mm×7.4m ³ /分×13m×37kW 2台
流量計	電磁流量計 φ300mm 1基
最初沈殿池	平行流式長方形沈殿池 長14.9m×幅5.1m×深3.0m 6池
反応タンク	水中攪拌式曝気方式 長43.9m×幅10.6m×深5.5m 2池 散気式全面曝気方式、水中攪拌式曝気方式 長43.9m×幅10.6m×深5.5m 1池
最終沈殿池	平行流式長方形沈殿池 長39.9m×幅5.1m×深3.5m 6池
塩素混和池	次亜塩素酸ソーダ流入ポンプ 0.04~0.20/分 2台 0.02~0.40/分 2台
送風機	ルーツ式ブロア φ150mm×25m ³ /分×60.8kpa×55kW 4台
汚泥ポンプ	返送汚泥ポンプ φ150mm×2.6m ³ /分×6.5m×7.5kW 2台 φ150mm×2.5m ³ /分×5.0m×5.5kW 2台 余剰汚泥ポンプ φ100mm×0.7m ³ /分×13m×7.5kW 4台 初沈生汚泥ポンプ φ100mm×0.6m ³ /分×15m×7.5kW 4台
重力濃縮機	直径6.7m×深3.6m・容量 127m ³ 2台
汚泥処理棟	造粒濃縮機 延べ面積2,077.4m ² 360kgDS/時 II型 1.5kw 1台 汚泥脱水機 ベルトプレス ろ布幅2.0m 1台 汚泥脱水機 圧入式スクリーブレス φ800 290 kgDS/h 1台

ウ 丸子浄化センター

処 理 区 丸子処理区(丸子分区・依田分区)
 位 置 上田市生田2600
 敷 地 面 積 約30,000m²
 処 理 方 式 オキシデーションディッチ法
 供 用 開 始 平成11年3月27日
 放 流 先 依田川
 計 画 処 理 水 量

	全体計画	事業認可	現在の処理能力
日 平 均	9,500m ³ /日	8,800m ³ /日	7,100m ³ /日
日 最 大	11,700m ³ /日	10,800m ³ /日	8,800m ³ /日
計画処理人口	20,100人	19,266人	

計画流入水質
 計画放流水質
 主要施設

BOD:250mg/L・SS:210mg/L
 BOD:15mg/L・SS:30mg/L

施設名称	形式及び能力
管理棟	地上2階建 RC造 延べ床面積: 421.86m ² 1階 会議室、水質試験室、倉庫 2階 事務室、集中監視室
沈砂池ポンプ棟	地上2階地下2階 延べ床面積: 773.56m ² 水中汚水ポンプ φ150mm×2.5m ³ ×21m×15kW 2台 φ250mm×5.0m ³ ×20m×30kW 2台 揚砂ポンプ φ100mm×0.3m ³ ×27m×22kW 1台 破碎機 立軸ドラム回転式 1.5kw 1台 スクリーンユニット 1,200×3,750×1,300mm 1.54kW 1台 活性炭吸着塔 立形3層式 16m ³ /min 1台
反応タンク	オキシデーションディッチ RC造 43.6m×23.55m×5.15m 実長150.2m×幅5.5m×深3.0m 4池
最終沈殿池	RC造 直径 20.8m×深さ 4.75m 4池 掻寄機 中央駆動支柱形 φ20.0m×水深3.5m×0.4kw 4台
塩素混和池	地上1階地下1階 RC造 延べ床面積: 69.68m ² φ1,600mm、H=2,000mm 最大貯留容量6.3m ³ 2基
曝気装置	縦軸型 機械式 φ2300×22kW 酸素供給能力28.8kgO ₂ /kWH以上×22kW 6基 酸素供給能力46.2kgO ₂ /kWH以上×30kW 2基
汚泥棟	地上3階 地下1階 RC造 延べ床面積: 1,395.16m ² 脱水機 多重円盤型スクリーブレス(5軸) 2.0kW 2台 ケーキホッパ 角形電動開閉式 12m ³ 1台 活性炭吸着塔 立形3層式 10m ³ /min 1基
汚泥ポンプ	返送汚泥ポンプ φ100×1.7m ³ /min×8m×5.5kW 6台 返送汚泥ポンプ φ150×3.4m ³ /min×7m×1.1kW 1台 余剰汚泥ポンプ φ80×0.6m ³ /min×13m×3.7kW 3台 φ100×0.6m ³ /min×18m×5.5kW 2台

エ 別所温泉終末処理場

処 理 区 別所温泉処理区
 位 置 上田市別所温泉字山王田9-1
 敷 地 面 積 約9,940㎡
 処 理 方 式 オキシデーションディッチ法
 供 用 開 始 平成7年12月1日
 放 流 先 湯川
 計 画 処 理 水 量

	全体計画	事業認可	現在の処理能力
日 平 均	900m ³ /日	900m ³ /日	1,700m ³ /日
日 最 大	1,260m ³ /日	1,240m ³ /日	2,400m ³ /日
計画処理人口	4,900人	4,837人	

(注) 計画処理人口には、観光人口を含む。

計 画 流 入 水 質
 計 画 放 流 水 質
 主 要 施 設

BOD:170mg/L・SS:90mg/L
 BOD:15mg/L・SS:30mg/L

施設名称	形式及び能力
管理棟	地上2階建 RC造 延べ床面積: 512.76m ² 1階 会議室、水質試験室 2階 電気室、倉庫
反応タンク	オキシデーションディッチ RC造 長130.6m×幅4.0m×深2.5m 2池
最終沈殿池	RC造 直径14.0m×深さ3.5m 2池 掻寄機 中央駆動式懸垂形 φ14m×水深3.5m×0.4kW 2台
塩素接触タンク	RC造 長19.5m×幅1.0m×深1.25m 塩素接触装置 導入水溶解型 175m ³ /時 1池
曝気装置	スクリー形曝気機 酸素供給能力2.0kgO ₂ /kWH以上×4.5kW 6台
汚泥分配槽	鋼板製分配槽 約1.0W×3.0L×1.5H
機械棟	地上1階 地下1階 RC造 延べ床面積: 702.94m ² 造粒濃縮装置 ベストユニット 処理量0.1tDS/時 7.75kW 1基 脱水機 ベルトプレス ろ布幅1.0m 2.25kW 1台 ケーキホッパ 鋼板製角型電動カットゲージ式 6m ³ 1基 活性炭吸着塔 立型充填塔(カートリッジ) 20m ³ /min 1基
汚泥ポンプ	返送汚泥ポンプ φ150×1.3m ³ /min×9m×3.7kW 3台 余剰汚泥ポンプ φ125×8.3~25m ³ /時×10mH×11kW 2台
砂ろ過器	移床式上向流連続砂ろ過器 100m ³ /日 1基

オ 西内浄化センター

処 理 区 西内処理区
 位 置 上田市平井1756-5
 敷 地 面 積 約11,670m²
 処 理 方 式 オキシデーションディッチ法
 供 用 開 始 昭和62年12月15日
 放 流 先 内村川
 計 画 処 理 水 量

	全体計画	事業認可	現在の処理能力
日 平 均	2,000m ³ /日	1,900m ³ /日	2,600m ³ /日
日 最 大	2,500m ³ /日	2,400m ³ /日	3,300m ³ /日
計画処理人口	3,700人	3,651人	

(注)計画処理人口には、観光人口を含む。

計画流入水質
 計画放流水質
 主要施設

BOD:100mg/L・SS:80mg/L
 BOD:15mg/L・SS:30mg/L

施設名称	形式及び能力
管理機械棟	地上2階地下1階 RC造 延べ床面積: 796.64m ² B1階 機械室 1階 事務室兼監視室、水質試験室、機械室 2階 会議室、電気室
反応タンク	オキシデーションディッチ RC造 長52.4m×幅10.4m×深5.2m 実長98m×幅4.6m×深3.1m 3池
最終沈殿池	RC造 直径10.8m×深さ5.1m 2池 直径14.3m×深さ5.1m 2池 掻寄機 中央駆動式懸垂形 φ10m×水深5.1m×0.4kW 2台 中央駆動式懸垂形 φ13m×水深2.5m×0.4kW 2台
塩素接触タンク	塩素接触装置 導入水型 φ420×H900 1基
曝気装置	横軸ローター φ1,000×2,500mmL 2基×3池 ベベルヘリカル減速機 減速比1/18インバータ制御 200V×60Hz 6基
機械棟	脱水機 多重円盤外銅スクリーブプレス 1基 脱水機 ベルトプレス長4.4m×幅1.35m×高2m 2.65kW 1台 コンベア トラフ形コンベア ベルト500mm×機長13m15° 1台 ケーキホッパー 角形鋼板製電動式ホッパー 4m ³ 1基 活性炭吸着塔 角形定着式鋼板製吸着棟 20m ³ /min 1基
汚泥ポンプ	返送汚泥ポンプ φ100×0.77m ³ /min×4m×1.5kW 2台 返送汚泥ポンプ φ150×1.5m ³ /min×4m×1.5kW 2台 余剰汚泥ポンプ φ65×0.4m ³ /min×10m×1.5kW 2台

カ 菅平浄化センター

処 理 区
位 置
敷 地 面 積
処 理 方 法
供 用 開 始
放 流 先
計 画 処 理 水 量

菅平処理区
上田市菅平高原1278-2826
約22,000m²
オキシデーションディッチ法
昭和60年6月24日
神川

	全体計画	事業認可	現在の処理能力
日 平 均	1,900m ³ /日	1,900m ³ /日	1,900m ³ /日
日 最 大	4,500m ³ /日	4,400m ³ /日	4,500m ³ /日
計画処理人口	9,200人	9,016人	

(注)計画処理人口には、観光人口を含む。

BOD:350mg/L・SS:200mg/L

BOD:15mg/L・SS:30mg/L

計 画 流 入 水 質
計 画 放 流 水 質
主 要 施 設

施設名称	形式及び能力
管理棟	地上2階地下2階 RC造 延べ床面積: 1,631.7m ² 1階 自家発電室、宿直室、受変電室 2階 事務室、水質試験室、会議室、中央管理室
沈砂池棟	RC造 延べ床面積: 180m ² エアレーション沈砂池 長2.0×幅2.0×深さ2.5m 2池
調整槽	長16.3m×幅3.73×深さ3.1m 4池 ブロー φ80mm×3m ³ ×3.5mAq×3.7kW 2台 φ100mm×6.4m ³ ×3.5mAq×7.5kW 2台
流量計	パーシャルフリューム流量計 スロート幅 9cm 1基
オキシデーション ディッチ棟	平屋建 RC造 延べ床面積: 496.77m ²
反応タンク (OD)	オキシデーションディッチ RC造 水路長55.6m×幅6.2m×有効水深5.0m 2池
最終沈殿池	地上1階 地下1階 RC造 放射流式円形 RC造 内径19m×深さ4.3m 2池
汚泥棟	地上1階 地下1階 RC造 延べ面積: 383.06m ² 脱水機室、搬出室、換気機械室

キ 真田浄化センター

処 理 区 真田処理区
 住 所 上田市真田町長6247-1
 敷 地 面 積 約5,570m²
 処 理 方 式 オキシデーションディッチ法
 供 用 開 始 平成9年4月1日
 放 流 先 神川
 計 画 処 理 水 量

	全体計画	事業認可	現在の処理能力
日 平 均	1,600m ³ /日	1,600m ³ /日	2,500m ³ /日
日 最 大	2,000m ³ /日	2,000m ³ /日	3,200m ³ /日
計画処理人口	5,000人	4,978人	

計画流入水質
 計画放流水質
 主要施設

BOD:260mg/L・SS:180mg/L
 BOD:15mg/L・SS:30mg/L

施設名称	形式及び能力
管理汚泥棟	地上2階地下1階 RC造 延べ床面積: 1,092m ² 1階 事務・管理制御室、水質試験室、会議室、宿直室 2階 換気機械室 地下1階 電気室、脱水機室、搬出室、汚泥貯留槽、濃縮タンク 遠心脱水機 処理能力 7m ³ /日 1基
反応タンク	オキシデーションディッチ RC造 水路長120.4m×幅9.0m×有効水深3.0m 2池
最終沈殿池	RC造 直径 16.0m×有効水深 3.5m 放射流円形 2池
塩素接触水路	RC造 水路幅1.0m×水路長31m×深さ1.1m 1水路
汚泥貯留濃縮槽	内径4.0m×深さ3.0m 1槽
汚泥貯留槽	幅4.0m×長さ4.0m×深さ3.0m 1槽

(2) ポンプ場の状況

ア 上塩尻中継ポンプ場

処 理 区 上田処理区
 住 所 上田市上塩尻彦坊941-14
 敷 地 面 積 2,000m²
 供 用 開 始 平成2年12月

主 要 施 設

施設名称	形式及び能力
汚水ポンプ棟	RC造 2階建 延べ床面積: 646.44m ²
流入ゲート	外ネジ式鋳鉄製角形ゲート(電動自動下降式) W500×H750×0.4kW 2門
自動除塵機	全面掻揚形間欠式 目巾200mm×75° ×0.75kw 1台
しき搬出コンベア	No.1 トラフ形ベルトコンベア W500×L約8m×1.5kw 1台 No.2 横棧耳付傾斜コンベア W500×水平9.4m×1.5kW 1台
揚砂ポンプ	水中汚水ポンプ φ100×0.75m ³ /分×29m×11kw 1台
沈砂掻寄機	スクリーコンベア式 φ300×1.3m ³ /時×0.75kw 1台
しき脱水機	スクリー式 約1m ³ /時×5.5kw+0.4kw 1台
汚水ポンプ	スクリー遠心型水中ポンプ φ200×5.3m ³ /分×45kw 3台
脱臭設備	活性炭吸着塔 二層カートリッジ式 26m ³ /分 1台 脱臭ファン 耐食性ターボファン 2.2kw 1台
遠方監視制御装置	屋内自立形 200bit/s 1面
自家発電機	搭載形(ディーゼル機関) 3φ3W 420V 60Hz 100KVA 300PS 1台

イ 下塩尻中継ポンプ場

処 理 区 上田処理区
 住 所 上田市下塩尻字下川原 1688
 敷 地 面 積 2,000m²
 供 用 開 始 平成4年10月

主 要 施 設

施設名称	形式及び能力
汚水ポンプ棟	RC造 1階建 延べ床面積: 295.76m ²
流入ゲート	外ネジ式鋳鉄製角形ゲート(電動式) W400×H600×0.4kw 1門
破碎機	立軸回転式 7,000m ³ /日 φ381×42rpm×0.75kw 1台
汚水ポンプ	吸込スクリー付遠心型水中ポンプ φ150×2.4m ³ /分×27m×22kw 3台
ポンプ井攪拌機	水中プロペラ式 φ200×7.2m ³ /分×1,130rpm×1.1kw 1台
脱臭設備	活性炭吸着塔 三層カートリッジ式 10m ³ /分 1台 脱臭ファン 片吸込ターボファン 1.5kw 1台
遠方監視制御装置	屋内自立形 200bit/s 1面
自家発電機	搭載形(ディーゼル機関) 3φ3W 420V 60Hz 100KVA 300PS 1台

ウ 神川東中継ポンプ場

処 理 区 神川東処理区
 住 所 上田市岩下字加賀川原15-3
 敷 地 面 積 2,365m²
 供 用 開 始 平成15年12月

主 要 施 設

施設名称	形式及び能力
汚水ポンプ棟	RC造 2階建 地下1階 延べ床面積: 444.32m ²
流入ゲート	主流入ゲート 外ネジ式丸形鋳鉄製(電動式) φ 600×0.4kw 1門 流入ゲート 外ネジ式角形鋳鉄製(手動式) W600×H600 2門
自動除塵機	ダブルチェーン式背面かき揚げ形 目巾2.5mm×60° ×0.4kw 1台
しき脱水機	二軸対向スクリー式 600L/H投入形 0.75kw×200V×60Hz 1台
汚水ポンプ	吸込スクリー付水中汚水ポンプ φ 200×3.8m ³ /分×22m×30kw 2台
脱臭設備	活性炭吸着塔 カートリッジ式 14m ³ /分 1台 脱臭ファン 片吸込ターボファン 1.5kw 1台
給水装置	給水ユニット 40L/分×22m 0.4kw×2 1台
井戸ポンプ	水中井戸ポンプ 160L/分×40m 2.2kw 1台
自家発電機	搭載形(ディーゼル機関) 3φ 3W 200V 60Hz 175KVA 1台

(3) 管渠延長等の状況

公共下水道計

(単位:m)

管種・口径	年度	年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
			布設	除却	
ヒューム管	350mm以下	30,097.8	0.0	0.0	30,097.8
	400～500mm	19,704.6	0.0	0.0	19,704.6
	600～800mm	19,786.5	0.0	0.0	19,786.5
	900mm以上	3,383.7	0.0	0.0	3,383.7
	ヒューム管延長計	72,972.6	0.0	0.0	72,972.6
陶管	250mm以下	23,178.0	1,188.3	0.0	21,989.7
	300mm	3,522.5	0.0	0.0	3,522.5
	350～800mm	699.5	0.0	0.0	699.5
	陶管延長計	27,400.0	1,188.3	0.0	26,211.7
塩化ビニール管	200mm以下	651,069.5	1,267.1	0.0	649,802.4
	250mm	122,808.7	0.0	0.0	122,808.7
	300～800mm	13,628.2	0.0	0.0	13,628.2
	塩化ビニール管延長計	787,506.4	1,267.1	0.0	786,239.3
	FRP管(全口径)	3,806.5	0.0	0.0	3,806.5
	鋳鉄管(全口径)	15,997.1	0.0	0.0	15,997.1
	鋼管(全口径)	596.2	0.0	0.0	596.2
	その他	1,780.6	0.0	0.0	1,780.6
	管路延長計	910,059.4	2,455.4	0.0	907,604.0

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成25年度		平成24年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	726	0	0	726
	750mm(0号)	958	0	0	958
	900mm(1号)	21,788	36	0	21,752
	1,200mm(2号)	840	0	0	840
	1,500mm(3号)	102	0	0	102
	1,800mm	3	0	0	3
	小判型	28	0	0	28
	矩形	3	0	0	3
	特殊	521	0	0	521
	小口径・楕円	13,866	107	0	13,759
	マンホール計	38,835	143	0	38,692
マンホールポンプ	124	2	0	122	

ア 上田処理区

(単位:m)

管種・口径	年度	年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
			布設	除却	
ヒューム管	350mm以下	7,684.0	0.0	0.0	7,684.0
	400～500mm	5,696.1	0.0	0.0	5,696.1
	600～800mm	12,317.6	0.0	0.0	12,317.6
	900mm以上	2,868.3	0.0	0.0	2,868.3
	ヒューム管延長計	28,566.0	0.0	0.0	28,566.0
陶管	250mm以下	19,325.6	0.0	0.0	19,325.6
	300mm	3,027.2	0.0	0.0	3,027.2
	350～800mm	699.5	0.0	0.0	699.5
	陶管延長計	23,052.3	0.0	0.0	23,052.3
塩化ビニール管	200mm以下	162,507.6	904.3	0.0	161,603.3
	250mm	95,841.0	0.0	0.0	95,841.0
	300～800mm	7,762.0	0.0	0.0	7,762.0
	塩化ビニール管延長計	266,110.6	904.3	0.0	265,206.3
FRP管(全口径)	3,615.1	0.0	0.0	3,615.1	
铸铁管(全口径)	5,189.7	0.0	0.0	5,189.7	
鋼管(全口径)	405.9	0.0	0.0	405.9	
その他	204.7	0.0	0.0	204.7	
管路延長計	327,144.3	904.3	0.0	326,240.0	

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成25年度		平成24年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	723	0	0	723
	750mm(0号)	444	0	0	444
	900mm(1号)	8,168	5	0	8,163
	1,200mm(2号)	356	0	0	356
	1,500mm(3号)	61	0	0	61
	1,800mm	3	0	0	3
	小判型	28	0	0	28
	矩形	3	0	0	3
	特殊	79	0	0	79
	小口径・楕円	3,351	53	0	3,298
	マンホール計	13,216	58	0	13,158
	マンホールポンプ	27	0	0	27

イ 南部処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	平成25年度		平成24年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	1,069.4	0.0	0.0	1,069.4
	400～500mm	9,455.3	0.0	0.0	9,455.3
	600～800mm	2,618.9	0.0	0.0	2,618.9
	900mm以上	229.5	0.0	0.0	229.5
	ヒューム管延長計	13,373.1	0.0	0.0	13,373.1
陶管	250mm以下	1,188.3	1,188.3	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	1,188.3	1,188.3	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	129,247.8	0.0	0.0	129,247.8
	250mm	5,820.1	0.0	0.0	5,820.1
	300～800mm	2,242.7	0.0	0.0	2,242.7
	塩化ビニール管延長計	137,310.6	0.0	0.0	137,310.6
	FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	鋳鉄管(全口径)	1,896.7	0.0	0.0	1,896.7
	鋼管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	688.5	0.0	0.0	688.5
	管路延長計	154,457.2	1,188.3	0.0	153,268.9

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成25年度		平成24年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	3	0	0	3
	750mm(0号)	344	0	0	344
	900mm(1号)	3,328	27	0	3,301
	1,200mm(2号)	378	0	0	378
	1,500mm(3号)	0	0	0	15
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	0	0	0	1
	小口径・楕円	2,765	33	0	2,732
	マンホール計	6,834	60	0	6,774
	マンホールポンプ	26	1	0	25

ウ 丸子処理区(丸子分区)

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	平成25年度		平成24年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	3,880.9	0.0	0.0	3,880.9
	400～500mm	2,438.4	0.0	0.0	2,438.4
	600～800mm	2,830.9	0.0	0.0	2,830.9
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	9,150.2	0.0	0.0	9,150.2
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	109,227.2	67.0	0.0	109,160.2
	250mm	419.8	0.0	0.0	419.8
	300～800mm	70.3	0.0	0.0	70.3
塩化ビニール管延長計	109,717.3	67.0	0.0	109,650.3	
FRP管(全口径)		0.0	0.0	0.0	0.0
鋳鉄管(全口径)		18.8	0.0	0.0	18.8
鋼管(全口径)		0.0	0.0	0.0	0.0
その他		35.6	0.0	0.0	35.6
管路延長計		118,921.9	67.0	0.0	118,854.9

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成25年度		平成24年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	0	0	0	0
	900mm(1号)	4,570	4	0	4,566
	1,200mm(2号)	60	0	0	60
	1,500mm(3号)	3	0	0	3
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	432	0	0	432
	小口径・楕円	3,505	18	0	3,487
	マンホール計	8,570	22	0	8,548
マンホールポンプ	14	1	0	13	

(注) マンホール・マンホールポンプの設置個数は、依田分区を含む。

エ 別所温泉処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	平成25年度		平成24年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	400~500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	600~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
陶管	250mm以下	608.8	0.0	0.0	608.8
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	608.8	0.0	0.0	608.8
塩化ビニール管	200mm以下	11,392.9	30.7	0.0	11,362.2
	250mm	349.7	0.0	0.0	349.7
	300~800mm	832.6	0.0	0.0	832.6
	塩化ビニール管延長計	12,575.2	30.7	0.0	12,544.5
	FRP管(全口径)	87.0	0.0	0.0	87.0
	鋳鉄管(全口径)	263.1	0.0	0.0	263.1
	鋼管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0
	管路延長計	13,534.1	30.7	0.0	13,503.4

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成25年度		平成24年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	5	0	0	5
	900mm(1号)	451	0	0	451
	1,200mm(2号)	4	0	0	4
	1,500mm(3号)	2	0	0	2
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	0	0	0	0
	小口径・楕円	187	1	0	186
	マンホール計	649	1	0	648
	マンホールポンプ	4	0	0	4

オ 中塩田処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	平成25年度		平成24年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	400～500mm	719.7	0.0	0.0	719.7
	600～800mm	1,929.3	0.0	0.0	1,929.3
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	2,649.0	0.0	0.0	2,649.0
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	60,629.9	36.1	0.0	60,593.8
	250mm	8,586.4	0.0	0.0	8,586.4
	300～800mm	678.1	0.0	0.0	678.1
	塩化ビニール管延長計	69,894.4	36.1	0.0	69,858.3
	FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	鋳鉄管(全口径)	1,907.8	0.0	0.0	1,907.8
	鋼管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0
	管路延長計	74,451.2	36.1	0.0	74,415.1

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成25年度		平成24年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	71	0	0	71
	900mm(1号)	1,481	0	0	1,481
	1,200mm(2号)	21	0	0	21
	1,500mm(3号)	1	0	0	1
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	6	0	0	6
	小口径・楕円	1,327	2	0	1,325
	マンホール計	2,907	2	0	2,905
	マンホールポンプ	13	0	0	13

カ 神川東処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	平成25年度		平成24年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	698.7	0.0	0.0	698.7
	400～500mm	1,175.0	0.0	0.0	1,175.0
	600～800mm	50.8	0.0	0.0	50.8
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	1,924.5	0.0	0.0	1,924.5
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	46,641.4	0.0	0.0	46,641.4
	250mm	3,080.4	0.0	0.0	3,080.4
	300～800mm	418.6	0.0	0.0	418.6
	塩化ビニール管延長計	50,140.4	0.0	0.0	50,140.4
FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0	
铸铁管(全口径)	1,976.9	0.0	0.0	1,976.9	
鋼管(全口径)	138.0	0.0	0.0	138.0	
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	
管路延長計	54,179.8	0.0	0.0	54,179.8	

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成25年度		平成24年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	35	0	0	35
	900mm(1号)	1,248	0	0	1,248
	1,200mm(2号)	13	0	0	13
	1,500mm(3号)	3	0	0	3
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	2	0	0	2
	小口径・楕円	1,110	0	0	1,110
	マンホール計	2,411	0	0	2,411
マンホールポンプ	11	0	0	11	

キ 丸子処理区(依田分区)

(単位:m)

管種・口径	年度	平成25年度			平成24年度 年度末 延長
		年度末 延長	布設	除却	
ヒューム管	350mm以下	598.0	0.0	0.0	598.0
	400～500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	600～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	598.0	0.0	0.0	598.0
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	63,121.9	229.0	0.0	62,892.9
	250mm	599.4	0.0	0.0	599.4
	300～800mm	58.7	0.0	0.0	58.7
	塩化ビニール管延長計	63,780.0	229.0	0.0	63,551.0
	FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	鋳鉄管(全口径)	189.0	0.0	0.0	189.0
	鋼管(全口径)	20.5	0.0	0.0	20.5
	その他	210.7	0.0	0.0	210.7
	管路延長計	64,798.2	229.0	0.0	64,569.2

(注) マンホール・マンホールポンプの設置個数は、丸子分区に含まれている。

ク 西内処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	平成25年度		平成24年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	10,069.1	0.0	0.0	10,069.1
	400~500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	600~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	10,069.1	0.0	0.0	10,069.1
陶管	250mm以下	2,055.3	0.0	0.0	2,055.3
	300mm	495.3	0.0	0.0	495.3
	350~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	2,550.6	0.0	0.0	2,550.6
塩化ビニール管	200mm以下	6,232.3	0.0	0.0	6,232.3
	250mm	54.9	0.0	0.0	54.9
	300~800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	塩化ビニール管延長計	6,287.2	0.0	0.0	6,287.2
	FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	鋳鉄管(全口径)	2,232.1	0.0	0.0	2,232.1
	鋼管(全口径)	31.8	0.0	0.0	31.8
	その他	284.0	0.0	0.0	284.0
	管路延長計	21,454.8	0.0	0.0	21,454.8

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成25年度		平成24年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	47	0	0	47
	900mm(1号)	660	0	0	660
	1,200mm(2号)	0	0	0	0
	1,500mm(3号)	4	0	0	4
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	0	0	0	0
	小口径・楕円	191	0	0	191
	マンホール計	902	0	0	902
	マンホールポンプ	8	0	0	8

ケ 菅平処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	平成25年度		平成24年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	4,942.3	0.0	0.0	4,942.3
	400～500mm	220.1	0.0	0.0	220.1
	600～800mm	39.0	0.0	0.0	39.0
	900mm以上	285.9	0.0	0.0	285.9
	ヒューム管延長計	5,487.3	0.0	0.0	5,487.3
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	7,432.6	0.0	0.0	7,432.6
	250mm	7,228.3	0.0	0.0	7,228.3
	300～800mm	1,415.2	0.0	0.0	1,415.2
	塩化ビニール管延長計	16,076.1	0.0	0.0	16,076.1
	FRP管(全口径)	104.4	0.0	0.0	104.4
	鋳鉄管(全口径)	1,780.2	0.0	0.0	1,780.2
	鋼管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	102.2	0.0	0.0	102.2
	管路延長計	23,550.2	0.0	0.0	23,550.2

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成25年度		平成24年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	12	0	0	12
	900mm(1号)	621	0	0	621
	1,200mm(2号)	3	0	0	3
	1,500mm(3号)	9	0	0	9
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	0	0	0	0
	小口径・楕円	21	0	0	21
	マンホール計	666	0	0	666
	マンホールポンプ	7	0	0	7

コ 真田処理区

(単位:m・個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 延長・個数	平成25年度		平成24年度 年度末 延長・個数
			布設・設置	除却・撤去	
ヒューム管	350mm以下	1,155.4	0.0	0.0	1,155.4
	400～500mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	600～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	900mm以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	ヒューム管延長計	1,155.4	0.0	0.0	1,155.4
陶管	250mm以下	0.0	0.0	0.0	0.0
	300mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	350～800mm	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶管延長計	0.0	0.0	0.0	0.0
塩化ビニール管	200mm以下	54,635.9	0.0	0.0	54,635.9
	250mm	828.7	0.0	0.0	828.7
	300～800mm	150.0	0.0	0.0	150.0
	塩化ビニール管延長計	55,614.6	0.0	0.0	55,614.6
	FRP管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	鋳鉄管(全口径)	542.8	0.0	0.0	542.8
	鋼管(全口径)	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	254.9	0.0	0.0	254.9
	管路延長計	57,567.7	0.0	0.0	57,567.7

(単位:個・箇所)

管種・口径	年度	年度末 個数	平成25年度		平成24年度 年度末 個数
			設置	撤去	
マンホール	500mm	0	0	0	0
	750mm(0号)	0	0	0	0
	900mm(1号)	1,261	0	0	1,261
	1,200mm(2号)	5	0	0	5
	1,500mm(3号)	4	0	0	4
	1,800mm	0	0	0	0
	小判型	0	0	0	0
	矩形	0	0	0	0
	特殊	1	0	0	1
	小口径・楕円	1,409	0	0	1,409
	マンホール計	2,680	0	0	2,680
	マンホールポンプ	14	0	0	14

(4) 処理水量の推移

(単位: m³・m³/日)

処理場名 項目	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
処理場 処理水量 合計	14,782,025	1.76%	14,526,256
上田終末処理場			
処理水量	8,058,878	1.51%	7,939,064
月最大	726,047	0.42%	723,039
月最小	602,888	1.25%	595,454
晴天時日最大(日付)	28,970 (2/28)	△3.53%	30,030 (8/18)
晴天時日最小(日付)	18,334 (1/1)	△1.79%	18,669 (12/23)
雨天時日最大(日付)	35,148 (9/16)	14.01%	30,829 (8/17)
雨天時日最小(日付)	19,125 (1/2)	1.27%	18,885 (12/22)
日平均	22,077	1.52%	21,747
南部終末処理場			
処理水量	3,072,315	1.78%	3,018,683
月最大	271,736	0.37%	270,747
月最小	228,740	1.11%	226,234
晴天時日最大(日付)	9,661 (9/17)	△2.75%	9,934 (12/31)
晴天時日最小(日付)	7,584 (3/10)	0.12%	7,575 (4/20)
雨天時日最大(日付)	11,771 (9/16)	16.71%	10,086 (8/17)
雨天時日最小(日付)	7,582 (2/15)	△1.11%	7,667 (5/25)
日平均	8,416	1.78%	8,269
別所温泉終末処理場			
処理水量	302,388	△0.24%	303,125
月最大	27,592	3.86%	26,566
月最小	22,853	△2.09%	23,341
晴天時日最大(日付)	1,042 (8/16)	△3.52%	1,080 (1/1)
晴天時日最小(日付)	670 (7/22)	△5.23%	707 (7/5)
雨天時日最大(日付)	1,552 (9/16)	38.70%	1,119 (8/17)
雨天時日最小(日付)	677 (12/18)	△5.71%	718 (9/11)
日平均	828	△0.24%	830
丸子浄化センター			
処理水量	1,752,670	6.38%	1,647,530
月最大	153,680	1.85%	150,890
月最小	132,440	6.88%	123,920
晴天時日最大(日付)	5,800 (9/17)	7.21%	5,410 (8/18)
晴天時日最小(日付)	4,390 (4/1)	5.53%	4,160 (2/11)
雨天時日最大(日付)	6,390 (9/16)	3.90%	6,150 (2/18)
雨天時日最小(日付)	4,240 (2/15)	3.92%	4,080 (1/14)
日平均	4,801	6.38%	4,513
西内浄化センター			
処理水量	600,438	△8.61%	657,005
月最大	61,427	△8.39%	67,054
月最小	38,084	△0.64%	38,329
晴天時日最大(日付)	3,528 (9/17)	9.50%	3,222 (10/1)
晴天時日最小(日付)	1,131 (1/15)	4.34%	1,084 (8/1)
雨天時日最大(日付)	5,204 (9/16)	97.42%	2,636 (10/2)
雨天時日最小(日付)	1,156 (1/8)	△8.11%	1,258 (1/15)
日平均	1,643	△8.62%	1,798
菅平浄化センター			
処理水量	598,595	6.35%	562,829
月最大	94,678	11.21%	85,138
月最小	30,036	41.84%	21,176
晴天時日最大(日付)	4,712 (3/31)	34.55%	3,502 (4/15)
晴天時日最小(日付)	806 (5/27)	89.65%	425 (10/30)
雨天時日最大(日付)	4,688 (3/30)	20.70%	3,884 (4/14)
雨天時日最小(日付)	784 (7/4)	85.78%	422 (10/29)
日平均	1,639	6.36%	1,541
真田浄化センター			
処理水量	396,741	△0.32%	398,020
月最大	35,312	△0.23%	35,394
月最小	29,566	△3.87%	30,757
晴天時日最大(日付)	1,284 (12/31)	△10.15%	1,429 (12/31)
晴天時日最小(日付)	465 (10/28)	△52.74%	984 (6/12)
雨天時日最大(日付)	1,752 (10/21)	37.63%	1,273 (8/17)
雨天時日最小(日付)	923 (2/15)	△3.25%	954 (4/14)
日平均	1,087	△0.28%	1,090

(5) 水質検査結果

平成25年度

項目			上田	南部	別所	丸子	西内	菅平	真田
流入水 (午前9時採水)	水温 (°C)	平均	19.6	19.0	23.9	17.3	21.7	14.0	17.2
		最大	28.0	25.5	30.1	25.0	28.0	22.8	25.0
		最小	12.3	12.8	16.9	9.0	10.0	8.2	10.0
	pH	平均	7.6	7.6	7.2	7.2	7.0	7.2	7.2
		最大	8.4	8.4	7.8	8.0	7.7	7.6	8.1
		最小	6.5	7.0	6.7	6.4	6.7	6.5	6.6
	透視度	平均	3.4	3.2	5.3	3.3	9.3	5.7	3.1
		最大	5.9	4.5	9.0	4.0	21	16.0	6.0
		最小	2.3	2.5	3.5	2.7	4.5	1.5	2.0
	SS (mg/l)	平均	270	260	160	250	98	128	210
		最大	380	330	340	390	190	530	360
		最小	130	220	76	110	32	30	70
	BOD (mg/l)	平均	300	280	170	280	94	154	240
		最大	410	360	280	350	180	380	330
		最小	140	200	100	190	39	37	170
放 流 水	水温 (°C)	平均	20.3	19.5	23.5	16.3	18.8	14.2	17.6
		最大	27.5	26.2	30.7	25.0	27.4	25.0	25.8
		最小	12.7	12.4	16.9	8.7	11.0	8.2	9.6
	pH	平均	7.1	6.9	6.9	6.7	6.8	6.7	6.7
		最大	7.5	7.2	7.2	6.9	7.0	7.4	7.1
		最小	6.8	6.7	6.7	6.4	6.5	6.2	6.4
	透視度	平均	92	90	100	> 100	> 100	100	100
		最大	> 100	> 100	> 100	> 100	> 100	> 100	> 100
		最小	54	65	78	> 100	> 100	52	80
	SS (mg/l)	平均	3	4	1	2	2	1	1
		最大	5	6	4	4	4	3	3
		最小	< 1	1	< 1	< 1	< 1	< 1	< 1
	BOD (mg/l)	平均	6.2	3.2	1.7	1.6	2.7	1.1	1.7
		最大	13	6.8	3.3	2.7	4.7	1.6	3.2
		最小	1.9	1.6	< 1.0	< 1.0	1.0	< 1.0	1.0
	COD (mg/l)	平均	11	12	4.7	6.8	3.7	4.1	7.3
		最大	14	16	7.6	8.3	4.7	6.6	8.7
		最小	8.8	11	3.3	5.5	2.7	2.2	6.6
大腸菌群数 (ヶ/ml)	平均	3	6	250	65	330	8	141	
	最大	24	44	1,000	430	1,000	100	880	
	最小	0	0	0	0	0	0	0	
残留塩素 (mg/l)	平均	0.06	< 0.05	< 0.05	< 0.05	0.05	0.05	0.05	
	最大	0.10	< 0.05	< 0.05	< 0.05	0.05	0.10	0.05	
	最小	0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	

下水排除基準

	対象事業場・排水量	特定施設を設置している事業場		その他の事業場
		50m ³ /日以上	50m ³ /日未満	
処理困難項目	対象物質又は項目			
	有害物質			
	カドミウム及びその化合物 *1	0.1 [0.05]以下	0.1 [0.05]以下	0.1 [0.05]以下
	シアン化合物 *1	1 [0.5]以下	1 [0.5]以下	1 [0.5]以下
	有機りん化合物	1以下	1以下	1以下
	鉛及びその化合物	0.1以下	0.1以下	0.1以下
	六価クロム化合物 *1	0.5 [0.3]以下	0.5 [0.3]以下	0.5 [0.3]以下
	砒素及びその化合物	0.1以下	0.1以下	0.1以下
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物 *1	0.005 [0.003]以下	0.005 [0.003]以下	0.005 [0.003]以下
	アルキル水銀化合物	検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと
	ポリ塩化ビフェニル(PCB)	0.003以下	0.003以下	0.003以下
	トリクロロエチレン	0.3以下	0.3以下	0.3以下
	テトラクロロエチレン	0.1以下	0.1以下	0.1以下
	ジクロロメタン	0.2以下	0.2以下	0.2以下
	四塩化炭素	0.02以下	0.02以下	0.02以下
	1,2-ジクロロエタン	0.04以下	0.04以下	0.04以下
	1,1-ジクロロエチレン	1以下	1以下	1以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4以下	0.4以下	0.4以下
	1,1,1-トリクロロエタン	3以下	3以下	3以下
	1,1,2-トリクロロエタン	0.06以下	0.06以下	0.06以下
	1,3-ジクロロプロペン	0.02以下	0.02以下	0.02以下
	チラウム	0.06以下	0.06以下	0.06以下
	シマジン	0.03以下	0.03以下	0.03以下
	チオベンカルブ	0.2以下	0.2以下	0.2以下
	ベンゼン	0.1以下	0.1以下	0.1以下
	セレン及びその化合物	0.1以下	0.1以下	0.1以下
ほう素及びその化合物 *3	10以下	10以下	10以下	
フッ素及びその化合物 *3	8以下	8以下	8以下	
1,4-ジオキサン *3	0.5以下	0.5以下	0.5以下	
環境項目				
フェノール類	5以下	5以下	5以下	
銅及びその化合物 *2	3[2]以下	[3以下] 3以下	3以下	
亜鉛及びその化合物 *2/*3	2以下	[5以下] 2以下	2以下	
鉄及びその化合物(溶解性)	10以下	10以下	10以下	
マンガン及びその化合物(溶解性)	10以下	10以下	10以下	
クロム及びその化合物 *2	2[1]以下	[2以下] 2以下	2以下	
物質有害				
ダイオキシン類 *4	10以下	10以下	10以下	
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量 *3/*5	380未満	380未満	380未満	
その他の項目				
環境項目				
水素イオン濃度(pH) *5	5を超え9未満	5を超え9未満	5を超え9未満	
生物化学的酸素要求量(BOD) *5/*6	600未満	600未満	600未満	
浮遊物質質量(SS) *5/*6	600未満	600未満	600未満	
ノルマルヘキサン 鉱油類	5以下	5以下	5以下	
抽出物質含有量 動植物油脂類	30以下	30以下	30以下	
温度 *5	45未満	45未満	45未満	
よう素消費量	220未満	220未満	220未満	

- 単位は、ダイオキシン類はpg-TEQ/l、pHは水素指数、温度は℃、その他はmg/lで示す。
- []内は直罰が適用される基準を、それ以外は除害施設の設置等に係る基準を示す。
- *1 カドミウム、シアン、六価クロム、総水銀の[]内の数値は上乗せ基準を示し、昭和54年10月31日において既に設置されている排水量が500m³/日未満の特定施設設置者等を除き適用される。
- *2 銅、亜鉛、クロムの[]内の数値は上乗せ基準を示し、水質汚濁防止法施行令別表第1の26,27,47,49,52,53,58,61,62,63,65,66の各号に掲げる施設を設置し排水量が500m³/日以上又は50m³/日未満の事業場に適用される。
- *3 ほう素、ふっ素、アンモニア性窒素等含有量は業種ごとに平成28年6月30日まで、1,4-ジオキサンは業種ごとに平成26年5月24日又は平成27年5月24日まで、亜鉛は業種ごとに平成28年12月10日までそれぞれ暫定基準が適用される。
- *4 ダイオキシン類の直罰基準は、ダイオキシン類対策特別措置法第2条第2項による特定施設を設置する事業場に適用される。
- *5 アンモニア性窒素等含有量、pH、BOD、SS、温度は、排水量が終末処理場で処理される量の4分の1以上である事業場について、上乗せ基準が適用される場合がある。
- *6 BOD、SSは、排水量が10m³/日未満である場合には適用されない。
- 農業集落排水は、その他の事業場に係る排除基準が適用される。ただし、[]内の数値は適用されない。

(6) 電力(動力)使用量の推移

ア 動力用電力使用量の推移

(単位:kwh)

	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
処理場及びポンプ場			
合計	9,149,963	△2.75%	9,409,052
上田終末処理場			
水処理			
流入他	792,150	△0.01%	792,240
ブロー	941,130	0.40%	937,390
汚泥処理			
既設汚泥	46,890	△20.45%	58,942
動力1次	1,522,990	△1.36%	1,543,910
汚泥焼却	1,303,870	△8.09%	1,418,580
その他	396,080	△12.39%	452,100
計	5,003,110	△3.84%	5,203,162
上塩尻ポンプ場	89,120	△1.42%	90,400
下塩尻ポンプ場	55,040	△0.72%	55,440
神川東ポンプ場	87,694	0.89%	86,924
南部終末処理場			
水処理棟			
ブロー	787,353	7.03%	735,642
その他	193,767	△41.33%	330,248
管理棟			
沈砂池ポンプ棟(動力き電)	281,618	18.84%	236,980
汚泥棟(動力き電)	164,448	30.80%	125,720
管理棟(動力き電)	45,364	56.70%	28,950
照明き電	63,150	△5.34%	66,710
その他	50,800	5.72%	48,050
計	1,586,500	0.90%	1,572,300
別所温泉終末処理場			
水処理	146,460	△6.47%	156,595
汚泥処理	68,070	△0.87%	68,670
その他	35,770	12.00%	31,938
計	250,300	△2.68%	257,203
丸子浄化センター			
水処理	953,502	7.47%	887,240
汚泥処理	52,831	1.81%	51,893
その他	70,317	△45.58%	129,207
計	1,076,650	0.78%	1,068,340
西内浄化センター			
水処理・その他	175,005	△11.92%	198,682
汚泥処理	5,394	△26.14%	7,303
計	180,399	△12.42%	205,985
菅平浄化センター			
水処理	180,027	△1.00%	181,848
汚泥処理	22,119	0.24%	22,066
その他	297,624	△17.42%	360,424
計	499,770	△11.44%	564,338
真田浄化センター			
水処理	202,240	5.93%	190,910
汚泥処理	73,320	5.66%	69,390
その他	45,820	2.60%	44,660
計	321,380	5.38%	304,960

イ 燃料使用量の推移 (上田終末処理場)

年度	A 重油使用量				消化ガス使用量		
	搬入量	焼却炉	ボイラー	合計	ボイラー	焼却炉	合計
	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	m ³	m ³	m ³
24	0	0	0	0	0	305,395	305,395
25	0	0	0	0	0	306,184	306,184

年度	都市ガス使用量		
	焼却炉	温水ボイラー	合計
			m ³
25	161,319	42,948	204,267

(7) 薬品使用量の推移

ア 消毒用薬品(塩素滅菌：次亜塩素酸ナトリウム)

(単位:ℓ・mg/ℓ)

		平成25年度		平成24年度
		対前年度比		
上田終末処理場				
1	注入量	97,490	10.12%	88,530
系	注入率	2.12		1.97
2	注入量	11,435	△10.56%	12,785
系	注入率	0.88		0.99
南部終末処理場				
	注入量	39,617	8.36%	36,559
	注入率	1.36		1.28
丸子浄化センター				
	注入量	13,200	5.10%	12,560
	注入率	0.94		0.94
菅平浄化センター				
	注入量	3,861	△19.81%	4,815
	注入率	0.72		1.11

イ 消毒用薬品(塩素滅菌：固形塩素)

(単位:kg)

		平成25年度		平成24年度
		対前年度比		
別所温泉終末処理場		207	1.47%	204
西内浄化センター		205	42.36%	144
真田浄化センター		272	45.45%	187

ウ 高分子凝集剤

(単位:kg)

		平成25年度		平成24年度
		対前年度比		
上田終末処理場	濃縮	10,276	△11.16%	11,567
上田終末処理場	脱水	13,484	1.33%	13,307
南部終末処理場	脱水	6,114	5.40%	5,801
別所温泉終末処理場	脱水	235	5.86%	222
丸子浄化センター	脱水	1,713	2.33%	1,674
西内浄化センター	脱水	185	69.72%	109
菅平浄化センター	脱水	302	17.05%	258
真田浄化センター	脱水	1,113	△8.99%	1,223

エ 無機凝集剤

(単位:kg)

		平成25年度		平成24年度
		対前年度比		
上田終末処理場		0		0
南部終末処理場		0		0
別所温泉終末処理場		4,077	4.97%	3,884
丸子浄化センター		46,763	4.44%	44,776
西内浄化センター		5,844	24.21%	4,705
菅平浄化センター		6,397	△32.76%	9,513
真田浄化センター		0		0

農業集落排水事業編

1 事業の概要

(1) 事業の沿革

上田市の農業集落排水事業は、上田地域の下組地区が昭和 61 年に事業化され、以後上田地区 18 地区、丸子地域 3 地区、真田地域 3 地区、武石地域 3 地区、合計 27 地区 27 施設で事業を進めてきました。

平成元年に最初の下組地区が供用開始となり、平成 16 年には最後の殿城地区が供用開始となり全 27 地区で計画面積 1,209ha、計画人口 41,790 人の整備が終了しております。

今後は、効率的な維持管理を目指し、コスト縮減及び廃棄物の再資源化に取り組み、循環型社会の形成を目指していきます。その一環として、平成 20 年度から平成 21 年度にかけ下組地区を下之郷地区へ統合する機能強化事業に着手し、平成 22 年度から農業集落排水処理施設は 1 箇所減となり 26 箇所となっています。

(2) 事業のあゆみ

ア 上田地域

上田地域の農業集落排水事業は、昭和 61 年に下組地区が事業採択され事業に着手した。その後、管渠施設の整備と処理施設の建設を進め、平成元年には下組地区農業集落排水処理施設の供用開始に至り、平成 16 年に上田地域で最後の殿城地区農業集落排水処理施設の供用開始に至っている。

また、農業集落排水事業計画は、当初昭和 61 年の下組地区 17.5ha の着手から各地区を追加し、平成 10 年には殿城地区を加えて現在 825.5ha となっている。

昭和60年	9月	下組地区陳情
昭和61年	5月	下組地区事業採択
	12月	仁古田地区陳情
昭和62年	3月	上田市農業集落排水事業費分担金条例及び施行規程施行
昭和63年	3月	下之郷地区陳情
	5月	仁古田地区事業採択
	7月	岡地区陳情
	12月	下小島地区陳情
	12月	古安曾地区陳情
平成元年	3月	上田市農業集落排水施設条例及び施行規程施行
	5月	下組地区供用開始
		下之郷地区事業採択
	9月	保野舞田地区陳情
		富士山地区陳情
	12月	浦里地区陳情
平成 3年	2月	室賀地区陳情
	5月	岡地区事業採択
	7月	仁古田地区供用開始
	8月	小井田地区陳情

平成 3年	8月	豊殿南部地区陳情
	9月	八木沢地区陳情
平成 4年	1月	林之郷地区陳情
	3月	小泉地区陳情
	4月	山田地区陳情
	5月	下小島地区事業採択 小井田地区事業採択
	6月	殿城地区陳情
平成 5年	5月	古安曾地区事業採択 保野舞田地区事業採択
平成 6年	4月	岡地区供用開始
	5月	富士山地区事業採択 豊殿南部地区事業採択
平成 7年	1月	下之郷地区供用開始 下小島地区供用開始
	5月	八木沢地区事業採択 浦里地区事業採択
	10月	小井田地区供用開始
平成 8年	5月	室賀地区事業採択 林之郷地区事業採択
平成 9年	5月	山田地区事業採択 小泉地区事業採択
平成10年	4月	古安曾地区供用開始 保野舞田地区供用開始 殿城地区事業採択
		仁古田地区処理機能強化事業採択(脱臭設備)
平成11年	3月	豊殿南部地区供用開始 富士山地区供用開始
	12月	八木沢地区供用開始 浦里地区供用開始
平成13年	4月	地方公営企業法を全部適用
	7月	林之郷地区供用開始
	12月	室賀地区供用開始
平成14年	4月	山田地区供用開始
	10月	小泉地区供用開始
平成16年	4月	殿城地区供用開始
平成20年	4月	下組・下之郷地区資源循環統合補助事業採択
平成22年	4月	下組・下之郷地区統合及び下組処理場廃止
平成26年	7月	仁古田地区処理機能強化事業採択(防食)

イ 丸子地域

丸子地域の農業集落排水事業は、平成 4 年に藤原田地区が事業採択され事業に着手した。その後、管渠施設の整備と処理施設の建設を進め、平成 7 年には藤原田地区農業集落排水処理施設の供用開始に至り、平成 12 年に丸子地域で最後の和子地区農業集落排水処理施設の供用開始に至っている。

また、農業集落排水事業計画は、当初平成 4 年の藤原田地区 17ha の着手から、平成 6 年に荻窪地区 17ha、平成 8 年には和子地区 27ha を追加し、現在 61ha となっている。

平成4年度	藤原田地区事業採択承認 藤原田地区管渠工事着手 丸子町農業集落排水事業分担金条例制定
平成5年度	藤原田地区処理施設建設工事着手
平成6年度	荻窪地区事業採択承認 荻窪地区管渠工事着手 丸子町農業集落排水施設条例制定
平成7年度	藤原田地区供用開始(4月1日) 藤原田地区事業完了
平成8年度	和子地区事業採択承認 和子地区管渠工事着手 荻窪地区処理施設建設工事着手
平成10年度	荻窪地区供用開始(4月1日)
平成12年度	和子地区供用開始(4月1日)
平成17年度	地方公営企業法を全部適用

ウ 真田地域

真田地域の農業集落排水事業は、昭和 63 年に本原地区が事業採択され事業に着手した。その後、管渠施設の整備と処理施設の建設を進め、平成 3 年には本原地区農業集落排水処理施設の供用開始に至り、平成 12 年に真田地域で最後の本原南地区農業集落排水処理施設の供用開始に至っている。

また、農業集落排水事業計画は、当初昭和 63 年の本原地区 32ha の着手から、平成 4 年に上洗馬地区 22ha、平成 8 年には本原南地区 68ha を追加し、現在 122ha となっている。

昭和63年	4月	本原地区事業採択承認
平成元年	2月	本原地区管渠工事着手
平成2年	9月	本原地区処理施設建設工事着手
平成3年	4月	本原地区供用開始(4月20日)
	10月	本原地区事業完了
平成4年	4月	上洗馬地区事業採択承認
	7月	上洗馬地区管渠工事着手

平成5年	9月	上洗馬地区処理施設建設工事着手
平成7年	4月	上洗馬地区供用開始(4月26日)
平成8年	3月	上洗馬地区事業完了
	5月	本原南地区事業採択承認
	12月	本原南地区管渠工事着手
平成10年	12月	本原南地区処理施設建設工事着手
平成12年	12月	本原南地区供用開始(12月8日)
平成13年	10月	本原南地区事業完了
平成20年	4月	地方公営企業法を全部適用

エ 武石地域

武石地域の農業集落排水事業は、平成5年に武石地区が事業採択され、事業に着手した。その後、管渠施設の整備と処理施設の建設を進め、平成9年には武石地区農業集落排水処理施設の供用開始に至り、平成14年に武石地域で最後の余里小沢根地区農業集落排水処理施設の供用開始に至っている。

また、農業集落排水事業計画は、当初平成5年の武石地区153haの着手から、平成7年に本入地区28ha、平成9年には余里小沢根地区13.7haを追加し、現在194.7haとなっている。

平成5年	3月	武石村農業集落排水事業分担金徴収条例制定
	4月	武石地区事業採択承認
	10月	武石地区管渠工事着手
平成6年	11月	武石地区処理施設建設工事着手
平成7年		本入地区事業採択承認
	12月	本入地区管渠工事着手
平成9年	3月	武石村農業集落排水施設条例制定
	4月	武石地区供用開始(4月1日)
		余里小沢根地区事業採択承認
平成10年	6月	余里小沢根地区管渠工事着手
	10月	本入地区処理施設建設工事着手
平成12年	4月	本入地区供用開始(4月1日)
	12月	余里小沢根地区処理施設建設工事着手
平成14年	4月	余里小沢根地区供用開始(4月1日)
平成20年	4月	地方公営企業法を全部適用

(3) 事業計画

	対象集落	事業年度	採択 年度	供用開始 年月日	計画			排除 方式
					面積 (ha)	人口 (人)	戸数 (戸)	
下組	(下之郷地区と統合し下組・下之郷)	S61～S63	S61	H1. 5. 12	17. 5	650	160	分流式
下之郷	(下組地区と統合し下組・下之郷)	H1～H7	H1	H7. 1. 1	55. 0	2, 700	443	分流式
仁古田	仁古田	S63～H5	S63	H3. 7. 17	41. 0	1, 400	261	分流式
岡	岡	H3～H6	H3	H6. 4. 1	28. 0	940	214	分流式
下組・下之郷	下之郷、下組	H1～H21	H20	H7. 1. 1	72. 5	2, 690	537	分流式
下小島	下小島	H4～H7	H4	H7. 1. 1	16. 0	660	153	分流式
小井田	小井田	H4～H8	H4	H7. 10. 1	11. 0	300	70	分流式
古安曾	石神、鈴子、平井寺、柳沢	H5～H11	H5	H10. 4. 1	142. 0	2, 820	584	分流式
保野舞田	保野、舞田	H5～H11	H5	H10. 4. 1	75. 0	2, 990	609	分流式
豊殿南部	森、大日木、漆戸	H6～H11	H6	H11. 3. 1	18. 0	730	195	分流式
富士山	中組、奈良尾	H6～H11	H6	H11. 3. 1	52. 0	1, 610	353	分流式
八木沢	八木沢、八舞	H7～H12	H7	H11. 12. 1	45. 0	1, 800	416	分流式
浦里	越戸、浦野、藤之木	H7～H12	H7	H11. 12. 1	52. 0	2, 600	681	分流式
林之郷	林之郷	H8～H13	H8	H13. 7. 1	19. 0	1, 320	239	分流式
室賀	上室賀、下室賀、ひばりヶ丘	H8～H14	H8	H13. 12. 1	75. 0	2, 780	655	分流式
山田	山田	H9～H13	H9	H14. 4. 1	14. 0	550	105	分流式
小泉	小泉	H9～H14	H9	H14. 10. 1	68. 0	2, 990	626	分流式
殿城	矢沢、赤坂、下郷、宮之上、岩清水	H10～H16	H10	H16. 4. 1	95. 0	2, 460	620	分流式
布引	下之郷の一部	H6～H8	H6	H9. 10. 1	2. 0	180	18	分流式
藤原田	藤原田	H4～H7	H4	H7. 4. 3	17. 0	420	114	分流式
荻窪	荻窪	H6～H10	H6	H10. 4. 1	17. 0	670	140	分流式
和子	和子、下和子	H8～H12	H8	H12. 4. 1	27. 0	1, 060	266	分流式
本原	上原、下郷沢、中原、出早、町原の一部	S63～H4	S63	H3. 4. 20	32. 0	1, 270	306	分流式
上洗馬	田中、下横道、中横道、上横道	H4～H7	H4	H7. 4. 26	22. 0	970	234	分流式
本原南	大畑、下原、中原、表木、町原の一部	H8～H13	H8	H12. 12. 8	68. 0	2, 960	674	分流式
武石	鳥屋、沖、藪合、中島、七ヶ、片羽、堀の内、市ノ瀬、腰越の一部	H5～H9	H5	H9. 4. 1	153. 0	3, 570	820	分流式
本入	下本入、権現、下小寺尾、上小寺尾、唐沢、築地原	H7～H12	H7	H12. 4. 1	28. 0	870	255	分流式
余里小沢根	小沢根、余里	H9～H13	H9	H14. 4. 1	13. 7	520	169	分流式
					1, 275. 7	44, 480	9, 917	

計画汚水量			処理水の放流先名称
日最大 (m ³ /日)	日平均 (m ³ /日)	時間最大 (m ³ /hr)	
214.5	175.5	21.13	一級河川 駒瀬川
891.0	729.0	87.75	一級河川 尻無川
462.0	378.0	45.50	一級河川 浦野川
310.2	253.8	30.55	一級河川 浦野川
888.0	727.0	87.45	一級河川 尻無川
217.8	178.2	21.45	一級河川 産川
99.0	81.0	9.75	一級河川 瀬沢川
930.6	761.4	91.65	農業用排水路 ⇒ 一級河川 尻無川
986.7	807.3	97.18	一級河川 湯川
240.9	197.1	23.73	道路側溝 ⇒ 一級河川 神川
531.3	434.7	52.33	一級河川 尾根川
594.0	486.0	58.50	準用河川 腰巻川
858.0	702.0	84.50	用悪水路 ⇒ 一級河川 浦野川
435.6	356.4	42.90	道路側溝 ⇒ 一級河川 神川
917.4	750.6	90.35	一級河川 室賀川
181.5	148.5	17.88	農業用排水路 ⇒ 一級河川 追開沢川
986.7	807.3	97.18	農業用排水路 ⇒ 一級河川 浦野川
811.8	664.2	79.95	一級河川 神川
59.4	48.6	5.85	普通河川 三郎川
139.0	114.0	13.70	普通河川 郷尻沢川
222.0	181.0	21.80	一級河川 内村川
350.0	286.2	34.50	一級河川 内村川
419.0	219.0	41.30	農業用排水路 ⇒ 一級河川 神川
320.0	150.0	31.50	一級河川 洗馬川
800.0	390.0	78.80	農業用排水路 ⇒ 一級河川 神川
1,176.1	964.0	116.00	一級河川 依田川
286.7	235.0	28.30	一級河川 武石川
172.0	141.0	16.90	砂防河川 小沢根川
14,501.2	11,366.8	1,428.38	

2 財政の状況

(1) 収益的収支及び損益勘定留保資金の推移

(税込・単位:円)

項目	平成25年度		平成24年度
	年度	対前年度比	
農業集落排水事業収益	1,138,919,956	△0.80%	1,148,144,722
営業収益	403,190,427	0.47%	401,310,041
営業外収益	735,729,529	△1.49%	746,834,681
特別利益	-	—	-
農業集落排水事業費用	1,220,180,708	△3.99%	1,270,914,967
営業費用	924,685,922	△4.31%	966,305,149
営業外費用	288,386,404	△5.33%	304,609,818
特別損失	7,108,382	皆増	-
収支差引額	△81,260,752	△33.81%	△122,770,245

(税込・単位:円)

項目	平成25年度		平成24年度
	年度	対前年度比	
損益勘定留保資金発生額	469,419,197	4.82%	447,824,299
減価償却費	543,571,567	△4.74%	570,594,544
固定資産除却費	-	—	-
固定資産売却損	-	—	-
固定資産譲渡損	-	—	-
繰延勘定償却	-	—	-
固定資産除却損	7,108,382	皆増	-
消費税資本的収支調整額(△)	△11,665,332	△2.38%	△11,949,402
欠損金(△)	△69,595,420	△37.20%	△110,820,843
欠損金処理額	-	—	-
その他	-	—	-
損益勘定留保資金補てん額	428,656,705	3.19%	415,424,695
過年度不足分補てん額	-	—	-
過年度分修正	-	—	-
損益勘定留保資金残高	910,419,081	4.69%	869,656,589

(2) 資本的収支及び補てん財源の推移

(税込・単位:円)

項目	年度		平成24年度
	平成25年度	対前年度比	
資本的収入	291,059,000	△1.55%	295,638,000
企業債	-	-	-
県補助金	-	-	-
受益者分担金	-	-	-
工事負担金	30,086,000	△22.59%	38,866,000
他会計補助金	260,973,000	1.64%	256,772,000
固定資産売却代金	-	-	-
貸付金返還金	-	-	-
他会計長期借入金	-	-	-
他会計出資金	-	-	-
その他資本的収入	-	-	-
資本的支出	719,715,705	1.22%	711,062,695
建設改良費	10,745,229	25.30%	8,575,350
企業債償還金	708,970,476	0.92%	702,487,345
補助金返還金	-	-	-
受益者分担金返還金	-	-	-
他会計長期借入金返還金	-	-	-
投資	-	-	-
開発費	-	-	-
退職給与金	-	-	-
試験研究費	-	-	-
災害損失	-	-	-
その他資本的支出	-	-	-
収支差引額	△428,656,705	3.19%	△415,424,695
翌年度繰越充当額	-	-	-

(税込・単位:円)

項目	年度		平成24年度
	平成25年度	対前年度比	
補てん財源	428,656,705	3.19%	415,424,695
消費税資本的収支調整額	-	-	-
繰越工事資金	-	-	-
引継金	-	-	-
損益勘定留保資金	428,656,705	3.19%	415,424,695
利益剰余金処分数額	-	-	-
減債積立金	-	-	-
建設改良積立金	-	-	-
未処分利益剰余金	-	-	-
その他	-	-	-
補てん不足額	-	-	-

(3) 財務諸表の推移

ア 比較損益計算書

(単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
営業収益		383,994,879	0.47%	382,204,266
農業集落排水使用料		383,911,079	0.47%	382,115,866
一般会計負担金		-	—	-
受託事業収益		-	—	-
その他の営業収益		83,800	△5.20%	88,400
営業費用		909,658,306	△4.38%	951,366,566
管渠費		43,603,428	△20.25%	54,674,896
処理場費		271,129,251	△1.97%	276,565,561
受託事業費		-	—	-
水質規制費		1,072,000	785.95%	121,000
普及促進費		12,210	△42.67%	21,297
業務費		9,039,535	△0.37%	9,073,253
総係費		41,230,315	2.27%	40,316,015
減価償却費		543,571,567	△4.74%	570,594,544
資産減耗費		-	—	-
その他の営業費用		-	—	-
営業利益・損失		△525,663,427	△7.64%	△569,162,300
営業外収益		735,876,312	△1.49%	746,972,675
受取利息及び配当金		977,916	△28.87%	1,374,747
他会計補助金		734,712,000	△1.39%	745,083,000
その他の雑収益		186,396	△63.80%	514,928
営業外費用		272,699,923	△5.52%	288,631,218
支払利息及び企業債取扱諸費		269,612,090	△5.62%	285,662,937
繰延勘定償却		-	—	-
その他の雑支出		3,087,833	4.03%	2,968,281
経常利益・損失		△62,487,038	△43.61%	△110,820,843
特別利益		-	—	-
固定資産売却益		-	—	-
過年度損益修正益		-	—	-
その他の特別利益		-	—	-
特別損失		7,108,382	皆増	-
固定資産売却損		-	—	-
過年度損益修正損		-	—	-
固定資産除却損		7,108,382	皆増	-
当年度純利益・損失		△69,595,420	△37.20%	△110,820,843
前年度繰越利益剰余金・欠損金		△750,963,292		△640,142,449
当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金		△820,558,712		△750,963,292

イ 剰余金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
利益剰余金	前年度繰入額	-	—	-
	前年度処分額	-	—	-
	当年度末残高	-	—	-
	積立金合計	-	—	-
(欠損金)の部	前年度利益剰余金処分額	-	—	-
	減債積立金	-	—	-
	前年度欠損金処理額	-	—	-
	当年度純利益・損失	△69,595,420	△37.20%	△110,820,843
当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金	△820,558,712	9.27%	△750,963,292	
資本剰余金の部	前年度処分額	-	—	-
	受贈財産評価額	109,447,395	皆増	-
	当年度処分額	-	—	-
本剰余金の部	前年度末残高	114,204,825	2300.56%	4,757,430
	前年度処分額	-	—	-
	当年度発生高	13,522,634,937	皆増	-
他剰余金の部	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	1,263,263,807	413.31%	246,100,428
	当年度処分額	-	—	-
受贈者分担金の部	前年度末残高	2,963,221,693	74.31%	1,699,957,886
	前年度処分額	-	—	-
	当年度発生高	614,999,385	皆増	-
工事負担金の部	前年度処分額	-	—	-
	前年度発生高	2,908,207,138	7722.00%	37,179,820
	当年度処分額	-	—	-
翌年度繰越資本剰余金	当年度末残高	3,143,425,994	1236.38%	235,218,856
	翌年度繰越資本剰余金	20,401,828,385	928.69%	1,983,275,723

ウ 比較貸借対照表

(単位:円)

項目	年度	平成25年度末		平成24年度末
			対前年度比	
固定資産		31,784,203,012	△1.67%	32,324,649,409
有形固定資産		31,775,641,004	△1.67%	32,316,087,401
土地		945,424,130	0.00%	945,424,130
建物		1,393,448,287	△1.70%	1,417,477,339
構築物		26,380,485,151	△1.48%	26,776,082,611
機械及び装置		3,048,211,544	△3.63%	3,163,121,635
車両運搬具		1,020,125	△22.24%	1,311,950
工具器具及び備品		7,051,767	26.80%	5,561,354
建設仮勘定		-	皆減	7,108,382
無形固定資産		8,562,008	0.00%	8,562,008
地上権		4,462,553	0.00%	4,462,553
地役権		2,227,455	0.00%	2,227,455
電話加入権		1,872,000	0.00%	1,872,000
流動資産		1,196,521,549	5.36%	1,135,599,128
現金及び預金		1,140,991,131	5.55%	1,080,982,864
現金		-	-	-
預金		1,140,991,131	5.55%	1,080,982,864
未収金		55,530,418	1.67%	54,616,264
営業未収金		53,774,418	△0.30%	53,938,264
営業外未収金		-	-	-
その他の未収金		1,756,000	159.00%	678,000
前払金		-	-	-
繰延勘定資産		-	-	-
資産合計		32,980,724,561	△1.43%	33,460,248,537
固定負債		254,127,483	9.74%	231,580,662
引当金		254,127,483	9.74%	231,580,662
修繕引当金		244,110,250	9.81%	222,293,591
退職給与引当金		10,017,233	7.86%	9,287,071
流動負債		31,974,985	△6.95%	34,361,877
未払金		31,952,359	△6.98%	34,349,207
営業未払金		26,938,839	△5.81%	28,600,957
営業外未払金		3,692,200	△14.35%	4,310,800
その他の未払金		1,321,320	△8.08%	1,437,450
その他の流動負債		22,626	78.58%	12,670
預り金		22,626	78.58%	12,670
負債合計		286,102,468	7.58%	265,942,539
資本		13,113,352,420	△58.97%	31,961,993,567
自己資本		1,334,652,289	△93.15%	19,474,322,960
引継資本		1,334,652,289	△93.15%	19,474,322,960
借入金		11,778,700,131	△5.68%	12,487,670,607
企業債		11,778,700,131	△5.68%	12,487,670,607
剰余金		19,581,269,673	1488.99%	1,232,312,431
資本剰余金		20,401,828,385	928.69%	1,983,275,723
受贈財産評価額		114,204,825	2300.56%	4,757,430
受県補助金		13,565,702,842	31398.40%	43,067,905
他会計補助金		2,963,221,693	74.31%	1,699,957,886
受益者負担金		615,273,031	224742.69%	273,646
工事負担金		3,143,425,994	1236.38%	235,218,856
利益剰余金		△820,558,712	9.27%	△750,963,292
当年度末処分利益剰余金・未処理欠損金		△820,558,712	9.27%	△750,963,292
資本合計		32,694,622,093	△1.51%	33,194,305,998
負債資本合計		32,980,724,561	△1.43%	33,460,248,537

(4) 資金の推移

(単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
収	入	1,426,535,499	△1.23%	1,444,305,185
事業	収益	1,094,520,452	△0.92%	1,104,649,897
前年度	未収金	42,712,047	△1.36%	43,298,749
企業	債	-	-	-
県	補助金	-	-	-
受益者	負担金	-	-	-
工事	負担金	28,330,000	△28.36%	39,544,000
他会計	補助金	260,973,000	1.64%	256,772,000
一時	借入金	-	-	-
短期	貸付金	-	-	-
前払	金戻入	-	-	-
契約	保証金	-	-	-
還付	預り金	-	-	-
その他	預り金	-	-	-
事業	費用戻入	-	皆減	40,539
支	出	1,366,527,232	△0.28%	1,370,432,432
事業	費用	601,209,705	△2.02%	613,573,783
前年度	未払金	34,349,207	2.81%	33,409,478
建設	改良費	9,423,909	32.03%	7,137,900
企業	債償還金	708,970,476	0.92%	702,487,345
一時	借入金返済	-	-	-
短期	貸付金	-	-	-
前払	金	12,023,580	2.95%	11,679,300
契約	保証金返還	-	-	-
還付	金	550,355	△74.34%	2,144,626
その他	預り金	-	-	-
補助	金返還金	-	-	-
収支	差引額	60,008,267	△18.77%	73,872,753
前年度	末現金預金残高	1,080,982,864	7.34%	1,007,110,111
当年度	末現金預金残高	1,140,991,131	5.55%	1,080,982,864

(5) 費用構成の推移

(税抜・単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度		
		構成比	対前年度比	構成比	対前年度比	
費用合計		1,182,358,229	100.00%	△4.65%	1,239,997,784	100.00%
維持管理費①		369,174,572	31.22%	△3.80%	383,740,303	30.95%
職員給与費		38,001,907	3.21%	2.77%	36,977,262	2.98%
動力費		67,704,916	5.73%	3.74%	65,261,172	5.26%
光熱水費		621,102	0.05%	1.18%	613,857	0.05%
通信運搬費		4,437,879	0.38%	0.07%	4,434,784	0.36%
修繕費		57,351,859	4.85%	△18.30%	70,198,970	5.66%
材料品費		10,500	0.00%	△25.00%	14,000	0.00%
薬品費		2,188,800	0.19%	△5.62%	2,319,072	0.19%
路面復旧費		-	0.00%	—	-	0.00%
委託料		185,285,668	15.67%	△2.50%	190,037,421	15.33%
その他		13,571,941	1.15%	△2.25%	13,883,765	1.12%
資本費②		813,183,657	68.78%	△5.03%	856,257,481	69.05%
支払利息		269,612,090	22.80%	△5.62%	285,662,937	23.04%
減価償却費		543,571,567	45.97%	△4.74%	570,594,544	46.02%
その他		-	0.00%	—	-	0.00%
公費負担分		743,769,210	62.91%	△2.92%	766,107,177	61.78%
維持管理費①'		1,084,210	0.09%	661.93%	142,297	0.01%
資本費②'		742,685,000	62.81%	△3.04%	765,964,880	61.77%
使用料対象経費③		438,589,019	37.09%	△7.45%	473,890,607	38.22%
維持管理費①-①'		368,090,362	31.13%	△4.04%	383,598,006	30.94%
資本費②-②'		70,498,657	5.96%	△21.92%	90,292,601	7.28%

(税抜・単位:円)

項目	年度	平成25年度		平成24年度	
		対前年度比	対前年度比	対前年度比	対前年度比
年間有収水量 (m ³) ④		2,090,787	0.24%	2,085,687	0.96%
汚水処理原価 (円/m ³) ③/④		209.77	△7.68%	227.21	△11.20%
維持管理分		176.05	△4.28%	183.92	△3.90%
資本費分		33.72	△22.11%	43.29	△64.02%
使用料収入 (円) ⑤		383,911,079	0.47%	382,115,866	△0.92%
使用料単価 (円/m ³) ⑤/④		183.62	0.22%	183.21	△1.86%

(6) 固定資産の推移

ア 有形固定資産

(単位:円)

資産名	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
土地		945,424,130	0.00%	945,424,130
施設用地		945,424,130	0.00%	945,424,130
建物		1,393,448,287	△1.70%	1,417,477,339
施設用建物		1,393,448,287	△1.70%	1,417,477,339
構築物		26,380,485,151	△1.48%	26,776,082,611
排水設備		22,868,515,910	△1.53%	23,223,455,087
処理設備		3,300,509,711	△1.10%	3,337,385,187
その他構築物		211,459,530	△1.76%	215,242,337
機械及び装置		3,048,211,544	△3.63%	3,163,121,635
電気設備		735,443,502	△4.40%	769,271,524
ポンプ設備		366,403,732	△4.25%	382,661,886
滅菌設備		123,220,058	△0.33%	123,622,541
その他機械装置		1,823,144,252	△3.41%	1,887,565,684
車両運搬具		1,020,125	△22.24%	1,311,950
工具器具及び備品		7,051,767	26.80%	5,561,354
建設仮勘定		-	皆減	7,108,382

(注) 金額は減価償却累計額を減じた純額で掲載している。

イ 無形固定資産

(単位:円)

資産名	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
地上権		4,462,553	0.00%	4,462,553
地役権		2,227,455	0.00%	2,227,455
電話加入権		1,872,000	0.00%	1,872,000

(7) 企業債残高の推移

ア 借入先別内訳

(単位:円)

借入先		年度	平成25年度		平成24年度
				対前年度比	
財政 資金	借入額	-	-	-	-
	返済額	443,633,561	0.12%	443,091,471	
	年度末未償還残高	7,789,848,432	△5.39%	8,233,481,993	
地方 公共 機構	借入額	-	-	-	-
	返済額	265,336,915	2.29%	259,395,874	
	年度末未償還残高	3,988,851,699	△6.24%	4,254,188,614	
簡易 生命 保険 資金	借入額	-	-	-	-
	返済額	-	-	-	-
	年度末未償還残高	-	-	-	-
合 計	借入額	-	-	-	-
	返済額	708,970,476	0.92%	702,487,345	
	年度末未償還残高	11,778,700,131	△5.68%	12,487,670,607	

イ 利率別年度末残高

(単位:円)

利率	年度	平成25年度		平成24年度
			対前年度比	
起債前借	-	-	-	-
1.0%未満	-	-	-	-
1.0%以上2.0%未満	3,336,118,668	△5.43%	3,527,511,204	
2.0%以上3.0%未満	6,753,409,181	△5.35%	7,135,350,811	
3.0%以上4.0%未満	1,097,453,877	△6.89%	1,178,716,699	
4.0%以上5.0%未満	591,718,405	△8.42%	646,091,893	
5.0%以上6.0%未満	-	-	-	
6.0%以上7.0%未満	-	-	-	
7.0%以上7.5%未満	-	-	-	
7.5%以上8.0%未満	-	-	-	
8.0%以上	-	-	-	

(8) 繰入金の推移

(単位:円)

項目		年度	平成25年度		平成24年度
				対前年度比	
損 益 勘 定 繰 入 金	営業収益	-	-	-	-
	基準内繰入金	-	-	-	-
	基準外繰入金	-	-	-	-
資本 勘 定 繰 入 金	営業外収益	734,712,000	△1.39%	745,083,000	
	基準内繰入金	550,026,000	△1.77%	559,918,000	
	基準外繰入金	184,686,000	△0.26%	185,165,000	
合 計	計	734,712,000	△1.39%	745,083,000	
	基準内繰入金	550,026,000	△1.77%	559,918,000	
	基準外繰入金	184,686,000	△0.26%	185,165,000	
資本 勘 定 繰 入 金	定繰入金	260,973,000	1.64%	256,772,000	
	基準内繰入金	260,463,000	2.01%	255,322,000	
	基準外繰入金	510,000	△64.83%	1,450,000	
合 計	計	995,685,000	△0.62%	1,001,855,000	
	基準内繰入金	810,489,000	△0.58%	815,240,000	
	基準外繰入金	185,196,000	△0.76%	186,615,000	

(9) 経営分析

ア 労働の生産性

項目		平成25年度		平成24年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
平均給与 (千円)	上田市	7,600	↑ 204	7,396	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの職員給与費を示し、高すぎても低すぎてもよくない。
	全国平均			7,586		
労働生産性 (千円)	上田市	76,799	↑ 358	76,441	$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの営業収益を示し高いほどよい。
	全国平均			64,566		
労働分配率 (%)	上田市	9.90	↑ 0.23	9.67	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうち、職員に分配される割合を示し高すぎても低すぎてもよくない。
	全国平均			11.75		
職員1人あたり有収水量 (m/人)	上田市	418,157	↑ 1,020	417,137	$\frac{\text{有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	高いほど効率的な経営がなされていると言える。
	全国平均			410,129		

イ 施設の効率性

項目		平成25年度		平成24年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
施設利用率 (%)	上田市	57.85	↑ 0.31	57.54	$\frac{\text{1日平均処理水量}}{\text{処理能力}} \times 100$	施設の能力のうち、実際に利用されている割合を表す指標。高いほどよい。
	全国平均			51.72		
負荷率 (%)	上田市	59.94	↓ 11.97	71.91	$\frac{\text{1日平均処理水量}}{\text{1日最大処理水量}} \times 100$	高いほどよい。なお、この値が低いとピーク時以外に利用しない容量が生じ、非効率となる。
	全国平均			60.89		
最大稼働率 (%)	上田市	96.51	↑ 16.49	80.02	$\frac{\text{1日最大処理水量}}{\text{処理能力}} \times 100$	高いほどよいが、100%に近い場合は施設能力が限界に近いいため、注意が必要である。
	全国平均			84.94		
有収率 (%)	上田市	94.62	↓ 0.01	94.63	$\frac{\text{有収水量}}{\text{年間処理水量}} \times 100$	処理水量のうち、実際に使用料収入に結びつく水量の割合。高いほどよい。
	全国平均			90.84		
管渠使用効率 (m³/m)	上田市	7.76	↑ 0.02	7.74	$\frac{\text{年間処理水量}}{\text{管渠総延長}}$	管1mあたり、年間どのくらいの汚水が流れたかをみる指標。高いほど効率的である。
	全国平均			6.16		

ウ 経営資本の効率性及び財政状態の健全性

項目		平成25年度		平成24年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
経営資本 営業利益率 (%)	上田市	△ 1.58	↑ 0.11	△ 1.69	$\frac{\text{営業利益}}{\text{平均経営資本}} \times 100$	投下した経営資本と営業利益との関係を表す指標。高いほどよい。
	全国平均			△ 2.02		
営業収益 営業利益率 (%)	上田市	△ 136.89	↑ 12.03	△ 148.92	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$	営業収益のうちどの程度の割合が利益であるのかを示す指標。高いほどよい。
	全国平均			△ 194.39		
経営資本 回転率 (回)	上田市	0.01	0.00	0.01	$\frac{\text{営業収益}}{\text{平均経営資本}}$	投下した経営資本と営業収益との関係を表す指標。高いほどよい。
	全国平均			0.01		
経常収支比率 (%)	上田市	94.72	↑ 3.66	91.06	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}}$	経常的な収支の関係を表す指標。100%以上なら経常利益が出ている。高いほどよい。
	全国平均			92.59		
使用料単価 (円/m)	上田市	183.62	↑ 0.41	183.21	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{有収水量}}$	使用料対象水量1m当たりの使用料。高いほど使用料水準が高いことを示す。
	全国平均			156.26		
汚水処理原価 (円/m)	上田市	209.77	↓ 17.44	227.21	$\frac{\text{汚水処理費用}}{\text{有収水量}}$	使用料対象水量1m当たりの処理費用。高いほど使用料水準を高くする必要がある。
	全国平均			289.64		
企業債 元償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	254.90	↓ 3.70	258.60	$\frac{\text{企業債元償還金}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	企業債発行額が事業規模に適正かどうかを判断する基準。低いほどよい。
	全国平均			326.31		
企業債 元償還金対 料金収入比率 (%)	上田市	184.67	↑ 0.83	183.84	$\frac{\text{企業債償還金}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	使用料収入のうち、企業債返済に充てられる割合を示す指標。低いほどよい。
	全国平均			228.02		
企業債利息対 料金収入比率 (%)	上田市	70.23	↓ 4.53	74.76	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{下水道使用料}} \times 100$	使用料収入のうち、企業債利息に充てられる割合を示す指標。低いほどよい。
	全国平均			98.29		
減価償却率 (%)	上田市	1.73	↓ 0.06	1.79	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{減価償却対象資産}} \times 100$	償却資産に投資した資金の回収速度を示す。高いほど回収が早くなる。
	全国平均			1.73		

(注) 平均経営資本=(総資本(負債資本合計)-建設仮勘定-投資)の前年度末当年度末平均

(注) 減価償却費対象資産=有形固定資産+無形固定資産-(土地+建設仮勘定)+減価償却費

項目		平成25年度		平成24年度	算式	説明
		数値	対前年度	数値		
固定資産 構成比率 (%)	上田市	96.37	↓ 0.24	96.61	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資産合計}} \times 100$	資産合計に対する固定資産の割合を示す指標。低い方が望ましい。
	全国平均			98.47		
自己資本 構成比率 (%)	上田市	63.42	↑ 1.54	61.88	$\frac{\text{資本}}{\text{総資本}} \times 100$	企業の自己資本調達度を判断する指標。50%以上が望ましい。
	全国平均			58.08		
固定比率 (%)	上田市	151.96	↓ 4.15	156.11	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本}} \times 100$	自己資本で固定資産をどの程度賅っているかをみる指標。理論上は100%以下が望ましい。
	全国平均			169.51		
固定負債 構成比率 (%)	上田市	36.48	↓ 1.53	38.01	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	総資本に対する固定負債の割合を示す指標。低いほどよい。
	全国平均			41.05		
固定資産 長期資本比率 (%)	上田市	96.47	↓ 0.24	96.71	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本+固定負債}} \times 100$	固定資産への投資の健全性をみる指標。100%以下がよい。
	全国平均			99.32		
流動比率 (%)	上田市	3,742.05	↑ 437.24	3,304.81	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	企業の短期的な支払能力をみる指標。100%以上で高いほどよい。
	全国平均			175.58		
酸性試験比率 (当座比率) (%)	上田市	3,742.05	↑ 437.24	3,304.81	$\frac{\text{現金預金+未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	流動比率よりもさらに即時的な支払能力をみる指標。高いほどよい。
	全国平均			170.33		

(注) この表では、借入資本金を資本ではなく固定負債に分類して算出を行っている。

* 全国平均は、法適用(財務適用を含む)の農業集落排水事業及び小規模集合排水処理施設事業の平均である。

* 出典:地方公営企業年鑑

3 業務の状況

(1) 業務量

年度		平成25年度		平成24年度	
			対前年度比		
A	行政区域内人口 (人)	157,630	△0.16%	157,884	
B	対象区域内人口 (人)	26,964	△0.11%	26,995	
C	整備済人口 (人)	26,964	△0.11%	26,995	
D	処理区域内人口 (人)	26,964	△0.11%	26,995	
E	水洗化人口 (人)	24,890	0.57%	24,749	
C/A	整備率 (対行政区域内) (%)	17.11	/	17.10	
C/B		(対対象区域内) (%)		100.00	100.00
D/A	普及率 (対行政区域内) (%)	17.11	/	17.10	
D/B		(対対象区域内) (%)		100.00	100.00
E/A	水洗化率 (対行政区域内) (%)	15.79	/	15.68	
E/B		(対対象区域内) (%)		92.31	91.68
E/D		(対処理区域内) (%)		92.31	91.68
F	処理区域内戸数 (戸)	10,242	1.58%	10,083	
G	水洗化戸数 (戸)	9,288	2.18%	9,090	
G/F	水洗化率 (%)	90.69	/	90.15	
	整備面積 (ha)	1,202.20	0.00%	1,202.20	
	処理可能面積 (ha)	1,202.20	0.00%	1,202.20	
	使用料調定件数 (件)	54,581	0.84%	54,125	
H	年間処理水量 (m ³)	2,209,566	0.25%	2,204,095	
I	年間有収水量 (m ³)	2,090,787	0.24%	2,085,687	
I/H	有収率 (%)	94.62	/	94.63	

(注) 人口は、外国人登録者を含まない。

(2) 水洗化人口の推移

(単位:人)

事業・処理区	年度	平成25年度末		平成24年度末	
		水洗化率	対前年度比		
上田農業集落排水事業		17,074	91.1%	1.29%	16,856
下組		572	95.3%	△2.56%	587
仁古田		976	98.8%	2.09%	956
下之郷		1,406	103.8%	13.20%	1,242
岡		660	93.9%	△1.35%	669
下小島		318	95.5%	△1.55%	323
小井田		199	97.5%	6.42%	187
古安曾		1,741	92.5%	△1.69%	1,771
保野舞田		1,897	94.3%	0.69%	1,884
豊殿南部		418	83.9%	△2.34%	428
富士山		1,254	94.3%	0.48%	1,248
浦里		1,370	90.1%	△1.08%	1,385
八木沢		906	95.1%	2.26%	886
室賀		1,561	85.2%	0.58%	1,552
林之郷		544	85.3%	4.02%	523
山田		231	95.5%	△1.70%	235
小泉		1,752	90.0%	△0.40%	1,759
殿城		1,269	74.3%	3.93%	1,221
丸子農業集落排水事業		1,336	93.6%	△0.74%	1,346
藤原田		356	98.6%	△1.11%	360
荻窪		328	91.6%	△0.30%	329
和子		652	92.0%	△0.76%	657
真田農業集落排水事業		3,348	92.8%	△0.30%	3,358
本原		1,100	98.5%	1.38%	1,085
上洗馬		599	92.4%	△2.28%	613
本原南		1,649	89.4%	△0.66%	1,660
武石農業集落排水事業		3,096	83.8%	△1.93%	3,157
武石		2,339	86.0%	△1.64%	2,378
本入		444	77.1%	△2.20%	454
余里小沢根		313	78.3%	△3.69%	325
上田小規模集合排水処理施設事業		36	87.8%	12.50%	32
布引		36	87.8%	12.50%	32
計		24,890	90.4%	0.57%	24,749

(注) 人口は、外国人登録者を含まない。

(3) 加入金の状況

(単位:円)

期間		平成18年3月6日～
区分・処理区		
一般住宅	下組	678,000
	仁古田	
	岡	
	下之郷	
	下小島	
	小井田	
	古安曾	
	保野舞田	
	豊殿南部	
	富士山	
八木沢	400,000	
浦里		
林之郷		
室賀		
山田	660,000	
小泉		
殿城		
布引		
藤原田	670,000	
荻窪	550,000	
和子		
本原		
上洗馬	400,000	
本原南		
武石		
本入		
余里小沢根		
その他	全地区	管理者が定める。

(4) 収納状況の推移

(税込・単位:円)

年度	調定額	収入額	収入未済額	現年収納率		不納欠損額
					前年との差	
平成24年度	401,221,641	397,128,290	4,093,351	98.98%	0.04	2,620,779
平成25年度	403,106,627	398,714,951	4,391,676	98.91%	△0.07	2,738,183

(注) それぞれ、翌年度5月末日時点の数値である。

(5) 農集排使用料の納付方法(1期当たり平均)

(単位:件)

納付方法	年度	平成25年度	
		構成比	
口座振替	5,224	87.02%	
直接納付	779	12.98%	
コンビニエンスストア	545	9.08%	
その他	234	3.90%	
合計	6,003	100.00%	

(注) 旧上田市で実施していたコンビニ収納を平成18年7月から全地域で始めた。

4 施設の状況

(1) 処理場の状況

処理場名	処理方式	位置	系列数	構造	延べ床面積(m ²)
下組	JARUS-Ⅲ型	上田市富士山字下川原1742-2	平成22年4月	廃止	
仁古田	JARUS-Ⅲ型	上田市仁古田字花之木477-1	2系列	RC造	168.82
岡	JARUS-Ⅲ型	上田市岡字久保93-1	2系列	RC造	208.07
下之郷	JARUS-OD型	上田市下之郷字西原田436	1系列	RC造	588.43
下小島	JARUS-Ⅲ型	上田市本郷字北沖1170-2	2系列	RC造	201.98
小井田	JARUS-Ⅲ型	上田市芳田字井戸田388-2	1系列	RC造	106.51
古安曾	JARUS-OD型	上田市古安曾字三ヶ沖2585	1系列	RC造	531.91
保野舞田	JARUS-OD型	上田市保野字才勝木981-2	1系列	RC造	524.74
豊殿南部	JARUS-Ⅲ型	上田市漆戸字長峰226-1	2系列	RC造	221.96
富士山	JARUS-Ⅲ型	上田市富士山字上大吹3012	2系列	RC造	277.03
八木沢	JARUS-Ⅲ型	上田市八木沢字久保田1	2系列	RC造	333.12
浦里	JARUS-OD型	上田市越戸字湯道158-1	1系列	RC造	452.70
林之郷	JARUS-XⅣ型	上田市林之郷字中河原482-3	1系列	RC造	415.27
室賀	JARUS-OD型	上田市下室賀字嶽ノ里164-1	1系列	RC造	633.49
山田	JARUS-XⅣ型	上田市山田字長丁473-3	1系列	RC造	131.40
小泉	JARUS-XⅣ型	上田市小泉字醤油久保1302-28	2系列	RC造	478.41
殿城	JARUS-XⅣ型	上田市殿城字川原618	1系列	RC造	508.14
布引	JARUS-S型	上田市下之郷字中布引乙714-4	1系列	RC造	10.00
藤原田	JARUS-Ⅲ型	上田市藤原田794-1	1系列	RC造	143.37
荻窪	JARUS-Ⅲ型	上田市東内3129-1	1系列	RC造	168.78
和子	JARUS-OD型	上田市東内1147	1系列	RC造	253.50
本原	JARUS-Ⅲ型	上田市真田町本原1988-1	1系列	RC造	142.4
上洗馬	JARUS-Ⅲ型	上田市真田町傍陽5107	2系列	RC造	271.5
本原南	JARUS-OD型	上田市真田町本原679-1外	1系列	RC造	261.8
武石	JARUS-OD型	上田市武石沖5番地	1系列	RC造	623.04
本入	JARUS-Ⅲ型	上田市武石下本入93番地1	1系列	RC造	173.29
余里小沢根	JARUS-Ⅲ型	上田市武石小沢根834番地	1系列	RC造	152.95

- ・JARUS-S型 ……(接触ばっ気方式)
槽内に設置した接触材の表面に好気性微生物を固着させ、ばっ気攪拌により微生物が汚水中の有機物を分解する方式
- ・JARUS-Ⅲ型 ……(嫌気濾床併用接触ばっ気方式)
「汚水と嫌気性微生物が接触して、汚水中の有機物を分解する方式」と「槽内に設置した接触材の表面に好気性微生物を固着させ、ばっ気攪拌により微生物が汚水中の有機物を分解する方式」を組み合わせた方式
- ・JARUS-OD型 ……(オキシデーションディッチ方式)
反応槽としての循環水路(OD槽)と沈澱槽から構成され、循環水路内にばっ気装置を設け、これにより汚水と活性汚泥を混合・循環させながら酸素を供給し処理を行う方式
- ・JARUS-XⅣ型 ……(連続流入間欠ばっ気方式)
汚水の流入を連続で受け入れつつ、ばっ気槽での運転(嫌気・好気)を制御機器等を活用して間欠で行う方式

(2) 管渠延長等の状況

ア 管路延長の状況

(単位:m)

処理区	年度	年度末 延長	平成25年度		平成24年度 年度末 延長
			布設	除却	
上田地区	下組	4,333	0	0	4,333
	仁古田	7,426	0	0	7,426
	岡	6,880	0	0	6,880
	下之郷	12,025	0	0	12,025
	下小島	3,568	0	0	3,568
	小井田	2,948	0	0	2,948
	古安曾	20,905	0	0	20,905
	保野舞田	16,053	0	0	16,053
	豊殿南部	5,333	0	0	5,333
	富士山	13,108	0	0	13,108
	八木沢	10,278	0	0	10,278
	浦里	13,718	0	0	13,718
	林之郷	5,182	0	0	5,182
	室賀	21,167	0	0	21,167
	山田	4,283	0	0	4,283
	小泉	21,245	0	0	21,245
	殿城	20,422	0	0	20,422
	布引	506	0	0	506
丸子地区	藤原田	4,295	0	0	4,295
	荻窪	5,138	0	0	5,138
	和子	9,083	0	0	9,083
真田地区	本原	7,424	0	0	7,424
	上洗馬	7,797	0	0	7,797
武石地区	本原南	13,755	0	0	13,755
	武石	27,475	0	0	27,475
	本入	12,735	0	0	12,735
	余里小沢根	7,508	0	0	7,508
合計		284,590	0	0	284,590

イ マンホールポンプの設置状況

(単位:箇所)

処理区	年度	年度末 箇所数	平成25年度		平成24年度 年度末 箇所数
			布設	除却	
上田地区	下組	6	0	0	6
	仁古田	1	0	0	1
	岡	9	0	0	9
	下之郷	10	0	0	10
	下小島	1	0	0	1
	小井田	2	0	0	2
	古安曾	7	0	0	7
	保野舞田	8	0	0	8
	豊殿南部	2	0	0	2
	富士山	6	0	0	6
	八木沢	12	0	0	12
	浦里	6	0	0	6
	林之郷	3	0	0	3
	室賀	9	0	0	9
	山田	4	0	0	4
	小泉	7	0	0	7
	殿城	10	0	0	10
布引	0	0	0	0	
丸子地区	藤原田	0	0	0	0
	荻窪	7	0	0	7
	和子	1	0	0	1
真田地区	本原	0	0	0	0
	上洗馬	0	0	0	0
	本原南	2	0	0	2
武石地区	武石	16	0	0	16
	本入	4	0	0	4
	余里小沢根	8	0	0	8
合計		141	0	0	141

(3) 処理水量の推移

(単位: m³)

処理場名	平成25年度		平成24年度
	平成22年4月	対前年度比	
下組	平成22年4月 廃止		
仁古田	114,672	△2.36%	117,440
岡	65,368	1.98%	64,101
下之郷	175,298	0.63%	174,202
下小島	34,246	2.14%	33,529
小井田	17,517	0.33%	17,459
古安曾	150,678	1.12%	149,008
保野舞田	168,281	△0.34%	168,852
豊殿南部	36,409	0.13%	36,360
富士山	108,895	△0.21%	109,122
八木沢	81,150	6.69%	76,065
浦里	112,327	2.16%	109,947
林之郷	44,193	△4.15%	46,108
室賀	116,901	1.69%	114,955
山田	14,984	△8.39%	16,356
小泉	153,666	1.53%	151,357
殿城	117,364	4.59%	112,213
布引	4,870	1.56%	4,795
小計	1,516,819	1.00%	1,501,869
丸子地区			
藤原田	28,117	△0.35%	28,215
荻窪	30,418	3.80%	29,305
和子	51,608	△0.77%	52,011
小計	110,143	0.56%	109,531
真田地区			
本原	99,276	4.84%	94,693
上洗馬	45,461	△4.30%	47,505
本原南	146,635	△7.02%	157,712
小計	291,372	△2.85%	299,910
武石地区			
武石	232,029	0.00%	232,029
本入	36,511	9.72%	33,278
余里小沢根	22,683	4.81%	21,643
小計	291,223	1.49%	286,950
合計	2,209,557	0.51%	2,198,260

(4) 電力(動力)量の推移

(単位:kwh)

処理区	平成25年度		平成24年度
	対前年度比		
下組	4月	0	0
	5月	0	0
	6月	0	0
	7月	0	0
	8月	0	0
	9月	0	0
	10月	0	0
	11月	0	0
	12月	0	0
	1月	0	0
	2月	0	0
	3月	0	0
	合計	0	0
仁古田	4月	11,313 18.62%	9,537
	5月	13,791 1.49%	13,589
	6月	11,906 △5.09%	12,544
	7月	12,059 △5.83%	12,805
	8月	12,057 △6.11%	12,842
	9月	13,007 △6.10%	13,852
	10月	10,708 △10.68%	11,988
	11月	12,094 △7.67%	13,099
	12月	9,131 △10.28%	10,177
	1月	11,825 1.48%	11,653
	2月	10,432 5.79%	9,861
	3月	9,507 2.26%	9,297
	合計	137,830 △2.42%	141,244
岡	4月	9,232 16.02%	7,957
	5月	10,771 33.42%	8,073
	6月	9,228 △6.28%	9,846
	7月	9,204 △9.64%	10,186
	8月	10,864 7.08%	10,146
	9月	9,848 △6.43%	10,525
	10月	8,747 △1.46%	8,877
	11月	10,175 8.05%	9,417
	12月	8,711 △1.10%	8,808
	1月	11,342 37.41%	8,254
	2月	11,342 54.84%	7,325
	3月	6,540 △20.98%	8,276
	合計	116,004 7.72%	107,690
下之郷	4月	22,902 1.32%	22,603
	5月	22,512 1.07%	22,273
	6月	23,721 0.48%	23,607
	7月	23,435 0.48%	23,322
	8月	23,723 △3.47%	24,575
	9月	24,776 △0.10%	24,802
	10月	22,074 △6.22%	23,537
	11月	23,092 △2.85%	23,770
	12月	21,452 △6.73%	22,999
	1月	22,182 △5.08%	23,369
	2月	23,158 1.21%	22,882
	3月	20,926 0.32%	20,859
	合計	273,953 △1.67%	278,598
下小島	4月	7,819 0.37%	7,790
	5月	8,412 9.59%	7,676
	6月	8,396 4.94%	8,001
	7月	8,689 △7.78%	9,422
	8月	10,282 15.42%	8,908
	9月	10,513 8.04%	9,731
	10月	8,165 3.37%	7,899
	11月	6,892 △7.14%	7,422
	12月	7,685 △2.20%	7,858
	1月	9,961 26.42%	7,879
	2月	9,961 26.26%	7,889
	3月	5,868 △6.75%	6,293
	合計	102,643 6.07%	96,768

(単位:kwh)

処理区	平成25年度		平成24年度
	対前年度比		
小井田	4月	4,238 3.06%	4,112
	5月	4,953 5.83%	4,680
	6月	4,233 0.79%	4,200
	7月	3,813 △12.24%	4,345
	8月	5,212 38.84%	3,754
	9月	4,440 16.29%	3,818
	10月	4,285 4.44%	4,103
	11月	4,291 △8.14%	4,671
	12月	3,885 △11.04%	4,367
	1月	4,937 △3.82%	5,133
	2月	4,152 △2.81%	4,272
	3月	3,901 △4.48%	4,084
	合計	52,340 1.55%	51,539
古安曾	4月	19,226 △3.72%	19,968
	5月	18,430 △4.04%	19,206
	6月	19,594 △1.31%	19,854
	7月	19,527 1.37%	19,264
	8月	20,186 1.59%	19,871
	9月	20,267 2.44%	19,784
	10月	19,256 1.80%	18,916
	11月	19,554 △0.55%	19,663
	12月	18,986 0.36%	18,917
	1月	20,151 3.18%	19,530
	2月	20,041 3.14%	19,430
	3月	17,982 2.54%	17,536
	合計	233,200 0.54%	231,939
保野舞田	4月	21,092 2.25%	20,628
	5月	20,213 1.69%	19,878
	6月	20,601 △0.92%	20,793
	7月	20,342 △1.52%	20,656
	8月	21,164 △0.95%	21,368
	9月	21,388 3.53%	20,659
	10月	20,228 2.39%	19,755
	11月	20,936 △0.64%	21,070
	12月	20,329 △1.23%	20,582
	1月	20,639 △3.34%	21,353
	2月	20,809 △2.04%	21,242
	3月	18,592 △2.66%	19,101
	合計	246,333 △0.30%	247,085
豊殿南部	4月	6,666 △2.00%	6,802
	5月	8,153 5.01%	7,764
	6月	6,870 0.59%	6,830
	7月	6,890 △1.03%	6,962
	8月	7,970 5.41%	7,561
	9月	7,163 △0.17%	7,175
	10月	7,353 12.19%	6,554
	11月	7,320 △1.63%	7,441
	12月	6,561 △4.08%	6,840
	1月	8,360 4.76%	7,980
	2月	6,868 △0.48%	6,901
	3月	6,562 △1.20%	6,642
	合計	86,736 1.50%	85,452
富士山	4月	15,740 △16.73%	18,902
	5月	19,155 △11.63%	21,677
	6月	16,649 △15.97%	19,812
	7月	18,849 △0.35%	18,915
	8月	22,774 18.02%	19,296
	9月	20,434 11.66%	18,300
	10月	18,071 6.58%	16,955
	11月	17,133 △7.99%	18,620
	12月	13,304 △27.18%	18,270
	1月	16,444 △15.40%	19,438
	2月	16,444 △0.79%	16,575
	3月	9,659 △39.92%	16,078
	合計	204,656 △8.16%	222,838

(単位:kwh)

処理区	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
八木沢	4月	11,983 △3.43%	12,409
	5月	14,510 2.33%	14,180
	6月	12,541 △1.01%	12,669
	7月	12,459 △1.94%	12,705
	8月	14,244 4.12%	13,680
	9月	13,263 2.40%	12,952
	10月	13,588 16.21%	11,693
	11月	13,611 0.90%	13,490
	12月	12,414 △2.02%	12,670
	1月	16,184 11.22%	14,551
	2月	12,992 4.29%	12,457
	3月	11,298 △5.56%	11,963
合計	159,087 2.36%	155,419	
浦里	4月	14,735 △6.55%	15,768
	5月	14,501 △4.81%	15,234
	6月	15,095 △5.99%	16,057
	7月	15,366 △0.16%	15,391
	8月	16,095 △2.53%	16,513
	9月	16,591 2.68%	16,158
	10月	14,928 0.19%	14,899
	11月	15,384 2.38%	15,026
	12月	14,605 6.15%	13,759
	1月	16,268 9.79%	14,818
	2月	16,251 11.08%	14,630
	3月	15,049 11.23%	13,530
合計	184,868 1.70%	181,783	
林之郷	4月	7,237 △0.01%	7,238
	5月	7,038 4.22%	6,753
	6月	7,409 4.44%	7,094
	7月	7,213 △6.34%	7,701
	8月	7,678 △1.01%	7,756
	9月	7,524 △3.41%	7,790
	10月	7,629 3.43%	7,376
	11月	6,961 △7.12%	7,495
	12月	6,692 △9.19%	7,369
	1月	7,175 △8.39%	7,832
	2月	7,090 △4.97%	7,461
	3月	6,538 △5.26%	6,901
合計	86,184 △2.91%	88,766	
室賀	4月	16,317 △0.60%	16,415
	5月	16,140 △1.72%	16,423
	6月	17,536 3.01%	17,024
	7月	17,724 7.07%	16,554
	8月	18,302 3.34%	17,710
	9月	18,243 2.12%	17,864
	10月	17,143 1.22%	16,936
	11月	17,479 2.41%	17,068
	12月	15,657 △11.35%	17,662
	1月	15,984 △9.81%	17,723
	2月	15,030 △13.44%	17,364
	3月	13,721 △4.40%	14,352
合計	199,276 △1.88%	203,095	
山田	4月	6,131 △4.86%	6,444
	5月	7,623 △0.07%	7,628
	6月	6,474 △19.57%	8,049
	7月	5,902 △21.48%	7,517
	8月	5,899 △13.73%	6,838
	9月	5,503 △26.22%	7,459
	10月	4,728 △25.94%	6,384
	11月	5,421 △25.53%	7,279
	12月	4,822 △26.83%	6,590
	1月	5,798 △20.71%	7,312
	2月	5,063 △21.11%	6,418
	3月	4,796 △23.30%	6,253
合計	68,160 △19.02%	84,171	

(単位:kwh)

処理区	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
小泉	4月	21,419 5.35%	20,331
	5月	21,074 8.12%	19,491
	6月	21,913 4.32%	21,005
	7月	21,363 3.37%	20,667
	8月	22,038 3.02%	21,393
	9月	21,988 2.38%	21,477
	10月	20,435 △0.10%	20,455
	11月	20,968 1.83%	20,591
	12月	19,868 0.00%	19,868
	1月	20,484 △1.38%	20,770
	2月	20,731 △0.74%	20,886
	3月	18,595 △2.13%	18,999
合計	250,876 2.01%	245,933	
殿城	4月	10,276 △43.55%	18,203
	5月	9,513 △41.32%	16,212
	6月	9,968 △38.45%	16,194
	7月	9,491 △42.06%	16,382
	8月	10,017 △44.47%	18,038
	9月	10,129 △34.20%	15,394
	10月	9,669 △29.99%	13,810
	11月	10,124 △5.19%	10,678
	12月	10,016 0.86%	9,931
	1月	10,587 1.92%	10,388
	2月	10,636 1.51%	10,478
	3月	9,575 2.92%	9,303
合計	120,001 △27.28%	165,011	
布引	4月	1,890 42.43%	1,327
	5月	2,109 61.86%	1,303
	6月	1,599 △6.76%	1,715
	7月	1,556 △2.87%	1,602
	8月	1,952 19.90%	1,628
	9月	1,812 △0.55%	1,822
	10月	1,242 △23.19%	1,617
	11月	1,487 19.53%	1,244
	12月	1,190 △13.33%	1,373
	1月	1,281 △7.97%	1,392
	2月	1,281 14.17%	1,122
	3月	783 △54.08%	1,705
合計	18,182 1.86%	17,850	
藤原田	4月	4,574 △16.68%	5,490
	5月	5,269 △5.52%	5,577
	6月	4,472 △20.34%	5,614
	7月	5,426 △1.18%	5,491
	8月	5,475 15.19%	4,753
	9月	4,729 △11.46%	5,341
	10月	4,581 △5.91%	4,869
	11月	5,385 2.01%	5,279
	12月	4,368 △4.67%	4,582
	1月	5,552 9.18%	5,085
	2月	4,464 △3.56%	4,629
	3月	4,455 △3.68%	4,625
合計	58,750 △4.21%	61,335	
荻窪	4月	9,169 37.96%	6,646
	5月	9,284 10.58%	8,396
	6月	9,139 9.54%	8,343
	7月	8,528 △0.37%	8,560
	8月	8,846 △2.57%	9,079
	9月	9,436 10.11%	8,570
	10月	8,437 △12.99%	9,697
	11月	8,587 0.46%	8,548
	12月	6,900 △20.03%	8,628
	1月	8,898 △11.35%	10,037
	2月	8,207 1.23%	8,107
	3月	7,751 △9.88%	8,601
合計	103,182 △0.03%	103,212	

(単位:kwh)

処理区	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
和子	4月	9,752 △6.91%	10,476
	5月	9,409 △16.24%	11,233
	6月	9,501 △1.81%	9,676
	7月	9,151 △8.69%	10,022
	8月	9,711 △7.56%	10,505
	9月	7,292 △28.13%	10,146
	10月	6,363 △41.27%	10,835
	11月	7,169 △25.97%	9,684
	12月	6,324 △31.37%	9,215
	1月	7,409 △20.73%	9,346
	2月	7,409 10.75%	6,690
	3月	7,187 △27.91%	9,970
	合計	96,677 △17.93%	117,798
本原	4月	13,647 △12.55%	15,605
	5月	17,000 29.52%	13,125
	6月	13,639 10.96%	12,292
	7月	13,511 △15.04%	15,903
	8月	17,126 29.24%	13,251
	9月	13,762 △16.12%	16,406
	10月	13,939 6.75%	13,057
	11月	17,042 28.72%	13,240
	12月	15,020 △3.42%	15,552
	1月	14,836 4.19%	14,239
	2月	13,644 4.85%	13,013
	3月	13,176 △19.84%	16,438
	合計	176,342 2.45%	172,121
上洗馬	4月	11,514 26.02%	9,137
	5月	9,439 △15.96%	11,232
	6月	8,596 △3.19%	8,879
	7月	10,611 17.26%	9,049
	8月	8,461 △26.61%	11,529
	9月	8,695 △4.03%	9,060
	10月	10,497 17.15%	8,960
	11月	8,952 △19.29%	11,092
	12月	10,709 10.60%	9,683
	1月	9,228 △22.47%	11,903
	2月	8,887 △5.88%	9,442
	3月	8,912 △5.44%	9,425
	合計	114,501 △4.10%	119,391
本原南	4月	18,512 22.62%	15,097
	5月	15,928 △19.50%	19,786
	6月	14,956 △2.40%	15,324
	7月	18,443 20.76%	15,272
	8月	15,012 △23.73%	19,683
	9月	15,157 △1.42%	15,375
	10月	19,358 28.64%	15,048
	11月	14,260 △22.34%	18,362
	12月	17,980 15.00%	15,635
	1月	15,703 △15.60%	18,606
	2月	14,966 1.05%	14,810
	3月	14,615 △2.49%	14,988
	合計	194,890 △1.56%	197,986
武石	4月	25,076 △0.70%	25,252
	5月	24,735 1.27%	24,425
	6月	25,887 3.81%	24,936
	7月	25,351 0.90%	25,124
	8月	26,453 △1.34%	26,811
	9月	26,359 △0.66%	26,533
	10月	25,500 2.58%	24,859
	11月	25,355 △1.84%	25,829
	12月	23,222 △6.16%	24,746
	1月	24,276 △7.37%	26,208
	2月	24,441 2.16%	23,924
	3月	22,207 1.66%	21,845
	合計	298,862 △0.54%	300,492

(単位:kwh)

処理区	平成25年度		平成24年度
		対前年度比	
本入	4月	5,733 △15.57%	6,790
	5月	6,358 △8.68%	6,962
	6月	6,104 △11.37%	6,887
	7月	5,705 △21.41%	7,259
	8月	6,050 △16.25%	7,224
	9月	7,088 △5.09%	7,468
	10月	5,748 △4.91%	6,045
	11月	6,676 3.57%	6,446
	12月	5,809 △15.07%	6,840
	1月	7,067 16.46%	6,068
	2月	5,566 △16.01%	6,627
	3月	5,569 16.75%	4,770
	合計	73,473 △7.45%	79,386
余里小沢根	4月	3,798 3.71%	3,662
	5月	4,686 19.57%	3,919
	6月	3,984 2.13%	3,901
	7月	3,919 2.75%	3,814
	8月	5,183 31.58%	3,939
	9月	4,679 13.98%	4,105
	10月	4,310 22.55%	3,517
	11月	5,114 22.73%	4,167
	12月	4,533 21.76%	3,723
	1月	5,642 36.84%	4,123
	2月	4,729 33.59%	3,540
	3月	4,556 31.98%	3,452
	合計	55,133 20.21%	45,862
合計	4月	309,991 △1.46%	314,589
	5月	321,006 △1.74%	326,695
	6月	310,011 △3.47%	321,146
	7月	314,527 △3.19%	324,890
	8月	332,774 △1.74%	338,651
	9月	324,086 △2.55%	332,566
	10月	306,982 △0.54%	308,641
	11月	311,462 △2.88%	320,691
	12月	290,173 △5.37%	306,644
	1月	318,213 △2.09%	324,990
	2月	304,594 2.22%	297,975
	3月	268,320 △5.95%	285,286
	合計	3,712,139 △2.38%	3,802,764

付録

1 長野県内の上下水道料金比較

(1) 県内19市等上下水道料金一覧表

(口径13mm又は家庭用:1か月:20㎡使用)

(平成26年4月1日現在・税込・単位:円)

		水道料金		公共下水道使用料		農業集落排水使用料		合計	
長野市	5	3,391円	12	3,470円	12	3,470円	6	6,861円	
松本市	16	2,670円	17	3,080円	5	3,780円	16	5,750円	
上田市	15	2,696円	5	3,754円	6	3,754円	14	6,450円	
岡谷市	18	2,300円	15	3,218円		—	18	5,518円	
飯田市	13	2,920円	6	3,727円	7	3,727円	11	6,647円	
諏訪市	19	1,777円	18	3,062円		—	19	4,839円	
須坂市	7	3,240円	9	3,570円	10	3,570円	7	6,810円	
小諸市	12	3,024円	8	3,680円	14	3,250円	10	6,704円	
伊那市	3	3,542円	4	3,834円	4	3,834円	3	7,376円	
駒ヶ根市	7	3,240円	14	3,240円	16	2,800円	13	6,480円	
中野市	7	3,240円	11	3,510円	11	3,510円	8	6,750円	
大町市	14	2,800円	7	3,720円	8	3,720円	12	6,520円	
飯山市	1	4,210円	10	3,560円	9	3,580円	2	7,770円	
茅野市	17	2,538円	19	3,061円		—	17	5,599円	
塩尻市	11	3,070円	2	3,920円	2	3,920円	4	6,990円	
佐久市	2	3,618円	1	4,428円	1	4,428円	1	8,046円	
千曲市	6	3,258円	16	3,186円	15	3,186円	15	6,444円	
東御市	4	3,445円	13	3,294円	13	3,294円	9	6,739円	
安曇野市	10	3,090円	3	3,888円	3	3,888円	5	6,978円	
19市平均		3,056円		3,537円		3,607円		6,593円	

(参考)

県水地区		3,258円		3,754円		3,754円		7,012円
------	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------

(注) 合計は、水道料金と公共下水道使用料の合計である

(2) 長野県内の水道使用量別料金比較

	料金体系	口径13mm又は家庭用							
		5m ³		10m ³		20m ³		50m ³	
長野市	用途別 口径別	7	1,339円	7	1,674円	5	3,391円	4	9,482円
松本市	口径別	11	1,190円	9	1,540円	16	2,670円	14	7,860円
上田市	その他	17	886円	18	1,186円	15	2,696円	15	7,586円
岡谷市	口径別	6	1,382円	8	1,598円	18	2,300円	19	5,648円
飯田市	用途別 口径別	13	1,096円	14	1,400円	13	2,920円	12	7,930円
諏訪市	用途別	19	784円	19	784円	19	1,777円	18	6,119円
須坂市	口径別	14	1,050円	11	1,520円	7	3,240円	9	8,820円
小諸市	口径別	16	928円	12	1,512円	12	3,024円	13	7,884円
伊那市	口径別	8	1,328円	1	1,954円	3	3,542円	3	9,676円
駒ヶ根市	口径別	4	1,390円	3	1,940円	7	3,240円	5	9,370円
中野市	口径別	18	858円	13	1,425円	7	3,240円	10	8,683円
大町市	用途別 口径別	9	1,290円	17	1,290円	14	2,800円	16	7,340円
飯山市	口径別	1	1,950円	2	1,950円	1	4,210円	1	10,990円
茅野市	口径別	10	1,242円	16	1,296円	17	2,538円	17	6,696円
塩尻市	口径別	3	1,430円	4	1,830円	11	3,070円	7	9,010円
佐久水道企業団	用途別 口径別	12	1,188円	5	1,728円	2	3,618円	6	9,288円
千曲市	口径別	5	1,388円	15	1,388円	6	3,258円	8	8,868円
東御市	その他	15	1,026円	6	1,717円	4	3,445円	2	9,925円
安曇野市	口径別	2	1,540円	9	1,540円	10	3,090円	11	8,360円
19市平均	——		1,226円		1,541円		3,056円		8,397円
長和町	——		950円		1,242円		2,700円		7,657円
立科町	用途別		1,590円		1,590円		3,430円		9,590円
青木村	——		1,471円		1,471円		1,934円		7,934円

(参考)

県水地区	口径別		1,388円		1,388円		3,258円		8,868円
------	-----	--	--------	--	--------	--	--------	--	--------

(注1) 料金体系の「その他」は、用途別・口径別以外の体系があることを示す。

(平成26年4月1日現在・1ヶ月料金・税込)

口径50mm又は工場用								現行料金 適用年月日	平均 改定率
100m ³		200m ³		500m ³		1,000m ³			
11	30,164 円	6	56,624 円	3	136,004 円	2	268,304 円	平成25年6月1日	7.86%
1	64,000 円	1	80,000 円	7	128,000 円	10	208,000 円	平成19年8月1日	△5.56%
7	34,544 円	11	52,344 円	13	105,744 円	13	194,744 円	平成25年4月1日	0.00%
2	48,546 円	4	60,426 円	15	96,066 円	19	155,466 円	平成11年4月1日	9.80%
15	24,297 円	16	40,997 円	17	91,097 円	17	174,597 円	平成20年4月1日	5.77%
19	16,453 円	19	34,813 円	18	89,893 円	16	181,693 円	平成16年5月1日	1.14%
8	32,240 円	10	54,600 円	8	121,670 円	6	237,770 円	平成8年5月1日	27.90%
13	25,434 円	14	45,954 円	12	107,514 円	9	220,914 円	平成14年6月1日	8.20%
3	44,830 円	2	67,942 円	2	137,278 円	3	252,838 円	平成22年10月1日	0.00%
5	36,840 円	5	58,340 円	4	129,290 円	5	247,550 円	平成10年4月1日	4.92%
10	30,585 円	9	55,101 円	5	128,649 円	4	251,229 円	平成24年4月1日	0.00%
17	18,790 円	18	36,070 円	19	87,910 円	18	174,310 円	平成15年4月1日	0.00%
14	24,450 円	13	47,050 円	9	114,850 円	8	227,850 円	平成13年9月1日	10.90%
9	30,780 円	12	50,220 円	11	108,549 円	12	205,740 円	平成14年7月1日	△6.00%
4	41,630 円	3	63,230 円	6	128,030 円	7	236,030 円	平成19年10月20日	△5.13%
6	36,774 円	8	55,674 円	10	112,374 円	11	206,874 円	平成24年4月1日	0.00%
18	18,459 円	17	37,159 円	16	93,259 円	15	186,759 円	平成17年4月1日	1.12%
16	23,965 円	7	56,365 円	1	153,565 円	1	315,565 円	平成18年4月1日	12.70%
12	26,400 円	15	45,000 円	14	100,800 円	14	193,800 円	平成22年9月1日	0.00%
	32,062 円		52,522 円		114,239 円		217,896 円	—	—
	16,567 円		34,387 円		87,847 円		176,947 円	平成17年10月1日	0.00%
	21,810 円		47,300 円		128,950 円		280,150 円	平成22年4月1日	△5.38%
	17,934 円		37,934 円		97,934 円		197,934 円	平成18年4月1日	5.00%
	18,218 円		36,918 円		93,018 円		186,518 円	平成14年4月1日	0.00%

(3) 長野県内の公共下水道使用量別使用料比較

		使用料体系	5m ³		10m ³		20m ³		50m ³	
長野市	従量制	進制	13	1,461円	10	1,796円	12	3,470円	11	9,204円
松本市	従量制	進制	15	1,420円	17	1,420円	17	3,080円	19	8,000円
上田市	従量制	進制	7	1,619円	5	1,974円	5	3,754円	10	9,334円
岡谷市	従量制	進制 水質使用料制	12	1,490円	16	1,490円	15	3,218円	14	8,683円
飯田市	従量制	進制	8	1,584円	7	1,912円	6	3,727円	2	11,027円
諏訪市	従量制	進制 水質使用料制	16	1,410円	18	1,410円	18	3,062円	16	8,344円
須坂市	従量制	進制	18	1,150円	11	1,670円	9	3,570円	9	9,730円
小諸市	従量制	進制	19	910円	8	1,830円	8	3,680円	8	9,800円
伊那市	従量制	進制	1	2,025円	2	2,106円	4	3,834円	6	10,314円
駒ヶ根市	従量制	進額制	10	1,560円	3	2,050円	14	3,240円	12	8,870円
中野市	従量制	進制	9	1,566円	14	1,566円	11	3,510円	4	10,551円
大町市	従量制	進制	5	1,670円	11	1,670円	7	3,720円	5	10,420円
飯山市	従量制	進制	14	1,440円	4	2,000円	10	3,560円	13	8,700円
茅野市	従量制	進制 水質使用料制	17	1,409円	19	1,409円	19	3,061円	17	8,343円
塩尻市	従量制	進額制	4	1,810円	9	1,810円	2	3,920円	3	10,990円
佐久市	従量制	進制	2	1,944円	1	2,700円	1	4,428円	1	11,988円
千曲市	従量制	進制	11	1,512円	15	1,512円	16	3,186円	18	8,316円
東御市	従量制	進制	6	1,620円	13	1,620円	13	3,294円	15	8,532円
安曇野市	従量制	進制	2	1,944円	6	1,944円	3	3,888円	7	9,936円
19市平均	—			1,555円		1,784円		3,537円		9,531円
長和町	従量制			1,209円		1,209円		1,620円		4,914円
坂城町	従量制	進制		1,512円		1,512円		3,186円		8,316円
立科町	従量制	進額制		2,260円		2,910円		4,210円		8,100円
青木村	従量制			1,594円		1,594円		2,010円		5,115円

(平成26年4月1日現在・1ヶ月料金・税込)

100m ³		200m ³		500m ³		1,000m ³		現行料金 適用年月日	平均 改定率
9	20,382 円	8	45,870 円	7	127,950 円	6	280,230 円	平成18年6月1日	0.00%
18	17,750 円	15	38,750 円	19	10,950 円	13	217,950 円	平成13年4月1日	9.40%
11	19,084 円	14	39,184 円	16	100,284 円	17	202,784 円	平成25年4月1日	0.00%
12	18,943 円	13	39,463 円	15	101,023 円	16	203,623 円	平成10年4月1日	0.00%
2	24,977 円	2	55,577 円	2	150,677 円	2	311,177 円	平成25年10月1日	8.71%
14	18,226 円	11	39,826 円	10	107,650 円	10	226,990 円	平成21年6月1日	9.72%
7	22,100 円	7	46,830 円	9	121,030 円	9	249,550 円	平成16年4月1日	10.44%
8	21,300 円	9	44,380 円	8	122,820 円	8	263,760 円	平成18年8月1日	10.20%
5	23,274 円	4	51,894 円	4	142,074 円	4	295,974 円	平成26年4月1日	△0.50%
13	18,810 円	16	38,680 円	13	104,780 円	14	214,940 円	平成6年11月30日	——
4	23,943 円	5	51,375 円	5	135,399 円	5	284,439 円	平成25年4月1日	0.00%
6	22,300 円	6	48,220 円	6	128,140 円	7	268,540 円	平成25年4月1日	4.00%
17	17,910 円	18	37,410 円	14	102,310 円	12	218,310 円	平成24年4月1日	1.80%
15	18,225 円	12	39,825 円	11	107,649 円	11	226,989 円	平成22年4月1日	10.40%
3	24,240 円	3	53,940 円	3	147,440 円	3	306,940 円	平成19年10月20日	5.06%
1	26,028 円	1	56,268 円	1	151,308 円	1	324,108 円	平成24年4月1日	0.50%
19	17,226 円	19	35,588 円	18	91,746 円	19	186,246 円	平成15年9月1日	0.00%
16	17,982 円	17	38,502 円	17	100,062 円	18	202,662 円	平成18年4月1日	——
10	20,196 円	10	41,796 円	12	106,596 円	15	214,596 円	平成22年4月1日	0.00%
	20,679 円		44,388 円		113,678 円		247,358 円	——	——
	12,160 円		28,900 円		79,120 円		162,820 円	平成17年10月1日	——
	17,226 円		35,586 円		91,746 円		186,246 円	平成26年4月1日	3.00%
	14,580 円		27,540 円		66,420 円		131,220 円	平成8年3月15日	0.00%
	10,290 円		20,640 円		51,690 円		103,440 円	平成18年4月1日	5.00%

(4) 長野県内の農業集落排水使用量別使用料比較

	使用料体系			5m ³		10m ³		20m ³		50m ³	
	従 累 量 進 制	定 額 制	制 制								
長野市	従累量進制			14	1,461 円	11	1,796 円	12	3,470 円	10	9,204 円
松本市	従累定額制			3	2,160 円	3	2,700 円	5	3,780 円	14	6,480 円
上田市	従累量進制			10	1,619 円	7	1,974 円	6	3,754 円	9	9,334 円
飯田市	従累量進制			11	1,584 円	9	1,912 円	7	3,727 円	2	11,027 円
須坂市	従累量進制			16	1,150 円	12	1,670 円	10	3,570 円	8	9,730 円
小諸市	定額制			1	3,250 円	1	3,250 円	14	3,250 円	15	3,250 円
伊那市	従累量進制			4	2,025 円	5	2,106 円	4	3,834 円	6	10,314 円
駒ヶ根市	定額制			2	2,800 円	2	2,800 円	16	2,800 円	16	2,800 円
中野市	従累量進制			12	1,566 円	15	1,566 円	11	3,510 円	4	10,551 円
大町市	従累量進制			8	1,670 円	12	1,670 円	8	3,720 円	5	10,420 円
飯山市	従累量進制			15	1,430 円	6	2,030 円	9	3,580 円	11	8,550 円
塩尻市	従累定額制			7	1,810 円	10	1,810 円	2	3,920 円	3	10,990 円
佐久市	従累量進制			5	1,944 円	3	2,700 円	1	4,428 円	1	11,988 円
千曲市	従累量進制			13	1,512 円	16	1,512 円	15	3,186 円	13	8,316 円
東御市	従累量進制			9	1,620 円	14	1,620 円	13	3,294 円	12	8,532 円
安曇野市	従累量進制			5	1,944 円	8	1,944 円	3	3,888 円	7	9,936 円
19市平均	——				1,847 円		2,066 円		3,607 円		8,839 円
立科町	従定額制				2,260 円		2,910 円		4,210 円		8,100 円

(参考)

(注1) 松本市は、安曇地区の下水道使用料金。

(注2) 駒ヶ根市は、使用口数が最も多い地区の料金。

(平成26年4月1日現在・1ヶ月料金・税込)

100m ³		200m ³		500m ³		1,000m ³		現行料金 適用年月日	平均 改定率
8	20,382 円	8	45,870 円	7	127,950 円	6	280,230 円	平成21年4月1日	0.00%
14	10,800 円	14	19,440 円	14	45,360 円	14	88,560 円	平成13年4月1日	5.50%
10	19,084 円	10	39,184 円	10	100,284 円	10	202,784 円	平成25年4月1日	0.00%
2	24,977 円	2	55,577 円	2	150,677 円	2	311,177 円	平成25年10月1日	8.71%
7	22,100 円	7	46,830 円	8	121,030 円	8	249,550 円	平成16年4月1日	10.33%
15	3,250 円	15	3,250 円	15	3,250 円	15	3,250 円	平成9年10月1日	——
5	23,274 円	4	51,894 円	4	142,074 円	4	295,974 円	平成26年4月1日	-0.50%
16	2,800 円	16	2,800 円	16	2,800 円	16	2,800 円	平成16年8月1日	——
4	23,943 円	5	51,375 円	5	135,399 円	5	284,439 円	平成25年4月1日	0.00%
6	22,300 円	6	48,220 円	6	128,140 円	7	268,540 円	平成25年4月1日	4.00%
13	17,050 円	13	34,650 円	13	90,650 円	12	186,650 円	平成24年4月1日	1.80%
3	24,240 円	3	53,940 円	3	147,440 円	3	306,940 円	平成19年10月20日	5.06%
1	26,028 円	1	56,268 円	1	151,308 円	1	324,108 円	平成24年4月1日	△ 0.30
12	17,226 円	12	35,586 円	12	91,746 円	13	186,246 円	平成23年1月1日	0.00%
11	17,982 円	11	38,502 円	11	100,062 円	11	202,662 円	平成18年4月1日	——
9	20,196 円	9	41,796 円	9	106,596 円	9	214,596 円	平成22年4月1日	0.0%
	18,477 円		39,074 円		102,798 円		213,032 円	——	——
	14,580 円		27,540 円		66,420 円		131,220 円	平成5年4月1日	0.00%

2 長野県内の上下水道事業の経営の状況

(1) 水道事業

経営(事業)主体	給水人口 (人)	普及率 (対給水区域内人口) (%)	年間 総配水量 (千m ³)	年間 有収水量 (千m ³)	有収率		給水収益 (千円)	経常損益 (千円)	当年度 純損益 (千円)
						(%)			
長野県	191,134	100.00	21,287.10	18,891.27	2	88.75	3,241,884	286,988	286,988
長野市	279,234	99.83	34,845.65	30,781.82	3	88.34	6,042,520	921,893	923,530
松本市	237,803	100.00	29,646.99	25,954.33	4	87.54	4,189,313	126,898	121,367
上田市	136,775	99.79	17,959.81	14,966.00	13	83.33	2,285,401	260,477	260,012
岡谷市	51,878	99.69	6,669.04	5,640.15	6	84.57	776,723	48,281	47,019
飯田市	101,711	98.94	11,522.39	9,735.09	7	84.49	1,504,109	△ 4,438	△ 5,509
諏訪市	50,989	100.00	8,707.93	7,315.53	9	84.01	855,173	72,034	71,350
須坂市	52,029	99.98	6,610.71	5,604.60	5	84.78	1,092,398	101,820	102,818
小諸市	42,339	100.00	5,959.64	4,883.85	14	81.95	815,919	142,217	142,217
伊那市	66,362	100.00	8,697.69	6,795.62	17	78.13	1,337,463	30,225	20,980
駒ヶ根市	33,413	100.00	3,829.64	3,452.73	1	90.16	664,962	30,212	26,326
中野市	45,023	97.38	5,566.33	4,652.98	11	83.59	817,852	117,950	115,599
大町市	26,937	100.00	4,106.26	2,914.58	20	70.98	434,547	38,937	37,488
飯山市	17,191	99.36	2,449.61	1,861.58	19	75.99	399,700	42,743	42,743
茅野市	54,450	99.97	9,341.79	7,344.31	16	78.62	1,135,516	122,315	122,315
塩尻市	64,960	100.00	8,612.50	6,931.67	15	80.48	1,289,062	83,265	79,937
千曲市	7,221	100.00	844.00	704.09	12	83.42	120,776	2,358	2,037
東御市	28,207	100.00	3,683.39	3,103.70	8	84.26	622,575	56,521	52,481
安曇野市	97,957	98.99	13,060.79	10,004.86	18	76.60	1,780,739	152,376	148,603
佐久水道企業団	119,899	99.76	15,975.07	13,364.84	10	83.66	2,731,131	671,778	669,968
長和町	6,836	100.00	1,270.28	800.97		63.05	129,507	—	—
立科町	7,949	99.99	1,520.90	1,112.33		73.14	238,328	15,952	13,196
青木村	4,640	100.00	494.83	394.44		79.71	85,846	—	—

(注1) 有収率・労働生産性・施設利用率・経営資本経常利益率・自己資本構成比率の左欄は、県・市及び企業団で比較した順位を示す。

(注2) 長和町・青木村は、地方公営企業法を適用していない。

数値は、平成25年度又は平成26年3月31日現在

企業債残高 (千円)	供給単価 (円/㎡)	給水原価 (円/㎡)	所属職員数			労働生産性 (千円)	施設利用率 (%)	経営資本 営業利益率 (%)		自己資本 構成比率 (%)			
			損益勘定 (人)	資本勘定 (人)	計 (人)								
21,641,315	171.61	166.33	29	17	46	4	114,413	6	62.58	7	1.37	19	54.03
30,558,139	196.30	186.12	89	23	112	12	68,316	14	57.06	6	1.43	18	54.67
8,755,782	161.41	168.02	54	13	67	9	83,293	11	59.33	16	0.84	5	75.08
8,631,795	152.71	146.86	44	11	55	17	52,249	17	54.06	11	1.11	9	68.86
1,604,853	137.71	134.07	14	2	16	16	56,030	18	52.20	13	1.02	4	76.65
8,252,426	154.50	182.18	15	4	19	6	106,205	3	67.55	20	0.18	13	65.27
2,240,646	116.90	107.04	20	0	20	19	43,172	16	54.26	8	1.35	12	66.64
3,912,238	194.91	193.78	18	4	22	14	64,204	12	58.33	9	1.21	6	73.56
2,417,117	167.06	151.23	19	0	19	18	45,838	9	59.80	2	2.43	10	66.75
6,398,830	196.81	199.22	13	5	18	7	103,936	19	45.24	15	0.88	16	62.96
3,151,285	192.59	190.07	6	0	6	5	113,637	5	65.58	14	0.91	17	58.64
4,064,770	175.77	159.33	6	4	10	1	141,579	10	59.62	5	1.62	15	64.22
2,043,729	149.09	159.60	12	2	14	20	38,906	7	62.50	18	0.68	7	69.72
1,512,608	214.71	202.53	6	0	6	11	70,412	2	73.75	17	0.80	8	69.18
958,088	154.61	140.00	15	5	20	10	78,897	8	61.97	1	7.74	1	92.14
4,848,810	185.97	191.54	11	6	17	3	125,306	4	65.97	12	1.07	11	66.73
435,393	171.53	174.49	2	2	4	15	61,661	20	42.92	19	0.60	2	81.90
3,395,113	200.59	185.24	5	1	6	2	125,985	13	57.09	4	2.21	20	51.90
9,660,321	177.99	178.20	19	0	19	8	101,292	15	55.48	9	1.21	14	64.57
5,724,592	204.35	169.33	45	5	50	13	64,795	1	76.02	3	2.42	3	78.47
1,834,464	161.69	216.54	1	0	1		—		37.88		—		—
736,461	214.26	217.77	3	0	3		81,322		34.69		0.62		83.09
783,811	217.64	288.93	1	0	1		—		54.34		—		—

(2) 公共下水道事業

	経営(事業)主体	水洗化人口 (人)	水洗化率 (対処理区域内人口) (%)	年間汚水 処理水量 (m ³)	年間 有収水量 (m ³)	有収率		下水道 使用料 (千円)	経常損益 (千円)	当年度 純損益 (千円)
							(%)			
法 適 用	長野市	332,185	94.11	39,054,469	36,425,443	6	93.27	6,980,454	798,748	798,748
	松本市	228,427	97.85	37,111,485	28,504,259	15	76.81	4,908,933	479,590	482,191
	上田市	115,568	89.56	14,782,025	12,742,963	8	86.21	2,372,580	321,724	321,724
	岡谷市	50,361	97.41	7,675,472	5,833,541	16	76.00	993,061	56,727	54,615
	伊那市	38,326	81.77	3,952,709	4,013,767	2	101.54	871,454	66,083	61,008
	駒ヶ根市	15,492	80.07	2,348,945	1,987,335	11	84.61	362,876	△ 112,969	△ 113,843
	茅野市	53,362	98.63	9,098,209	6,888,563	17	75.71	1,212,470	213,554	213,554
	塩尻市	58,143	95.75	7,652,211	6,200,001	13	81.02	1,355,921	69,121	62,642
	千曲市	47,454	84.18	4,953,931	4,953,931	3	100.00	802,046	57,159	55,598
	須坂市	44,841	93.83	4,649,058	4,649,058	3	100.00	880,743	156,424	156,424
	東御市	17,957	93.30	2,224,048	1,902,359	9	85.54	314,412	109,501	108,554
	佐久市	61,057	92.42	7,261,251	6,604,904	7	90.96	1,632,539	168,534	140,349
	諏訪市	49,649	98.61	9,548,675	7,436,285	14	77.88	1,302,335	315,459	313,378
	小諸市	24,769	86.71	2,606,495	2,209,082	10	84.75	425,335	189,234	188,755
法 非 適 用	飯田市	77,247	89.13	11,670,578	8,088,360	18	69.31	——	——	——
	中野市	27,028	86.90	3,122,011	2,618,148	12	83.86	——	——	——
	大町市	14,278	67.01	1,323,612	1,713,444	1	129.45	——	——	——
	飯山市	14,882	89.06	2,310,768	1,579,219	19	68.34	——	——	——
	安曇野市	76,453	89.00	7,369,682	7,369,682	3	100.00	——	——	——
	長和町	5,729	95.61	596,798	546,143		91.51	——	——	——
	坂城町	7,977	71.53	673,318	675,638		100.34	——	——	——
	立科町	2,273	88.13	265,963	269,497		101.33	——	——	——
青木村	3,745	90.70	291,560	291,560		100.00	——	——	——	

(注1) 有収率の左欄は、19市で比較した順位を示す。

(注2) 労働生産性・経営資本経常利益率・自己資本構成比率の左欄は、法適用事業体で比較した順位を示す。

(注3) 施設利用率の左欄は、19市かつ自己処理を行っている事業体で比較した順位を示す。

(注4) 上記によるもののほか、公共・特環・特地を含む。

(注5) 水洗化人口、水洗化率は外国人を含む。

数値は、平成25年度又は平成26年3月31日現在

企業債残高 (千円)	使用料単価 (円/㎡)	汚水処理 原価 (円/㎡)	所属職員数			労働生産性 (千円)	施設利用率		経営資本 営業利益率		自己資本 構成比率		
			損益勘定 (人)	資本勘定 (人)	計 (人)		(%)	(%)	(%)				
104,127,362	191.64	175.81	39	29	68	3	190,767	7	59.41	3	0.06	3	56.40
45,528,564	172.22	152.58	36	7	43	9	137,485	1	71.73	1	0.51	1	65.07
54,510,443	186.19	152.52	12	12	24	2	197,798	10	51.33	10	△ 0.69	7	51.17
11,635,920	170.23	141.87	9	1	10	11	110,533	—	—	4	△ 0.10	4	53.65
27,969,252	217.12	211.09	13	8	21	13	67,931	9	51.78	8	△ 0.67	13	37.83
9,500,917	182.59	137.89	3	4	7	10	121,294	5	61.80	9	△ 0.68	5	53.28
19,067,062	176.01	135.85	7	4	11	5	179,482	—	—	12	△ 0.94	11	42.46
20,727,310	218.70	209.10	9	2	11	6	163,782	4	62.16	2	0.10	9	50.90
31,408,845	161.90	139.25	6	7	13	8	149,414	—	—	11	△ 0.92	12	41.70
21,636,046	189.45	166.56	3	3	6	1	294,375	—	—	7	△ 0.47	14	32.47
9,269,067	165.27	122.93	6	1	7	14	53,090	3	63.05	13	△ 1.23	6	51.85
24,334,398	247.17	223.85	11	5	16	7	149,735	2	64.87	6	△ 0.16	2	62.69
16,488,945	175.13	184.76	7	4	11	4	186,190	—	—	5	△ 0.11	8	51.02
10,371,986	192.54	116.26	4	3	7	12	106,606	6	59.98	14	△ 1.39	10	44.28
—	211.37	265.47	18	6	24	—	—	8	58.67	—	—	—	—
—	205.51	239.89	6	3	9	—	—	11	49.10	—	—	—	—
—	188.36	220.17	6	5	11	—	—	12	46.49	—	—	—	—
—	184.03	255.63	4	0	4	—	—	13	39.85	—	—	—	—
—	202.37	259.00	12	4	16	—	—	14	30.65	—	—	—	—
—	225.24	252.46	2	1	3	—	—	—	45.99	—	—	—	—
—	164.11	173.32	0	4	4	—	—	—	—	—	—	—	—
—	187.69	205.25	0	0	0	—	—	—	44.53	—	—	—	—
—	210.23	341.48	1	0	1	—	—	—	44.76	—	—	—	—

(3) 農業集落排水事業

	経営(事業) 主体	水洗化人口 (人)	水洗化率 (対処理区域内人口) (%)	年間汚水 処理水量 (m ³)	年間 有収水量 (m ³)	有収率		下水道 使用料 (千円)	経常損益 (千円)	当年度 純損益 (千円)
							(%)			
法 適 用	長野市	6,927	80.04	706,297	574,824	15	81.39	105,441	△ 205,811	△ 205,811
	上田市	25,040	92.17	2,209,566	2,090,787	10	94.62	383,911	△ 62,488	△ 69,596
	須坂市	2,683	95.41	192,590	192,590	2	100.00	33,773	10,597	10,597
	伊那市	10,389	89.90	916,130	957,006	1	104.46	193,393	△ 32,570	△ 32,991
	塩尻市	6,075	91.38	532,331	491,418	11	92.31	99,796	6,265	6,207
	千曲市	4,603	94.34	431,576	382,729	13	88.68	60,563	△ 18,354	△ 18,520
	東御市	8,094	92.14	676,788	652,397	8	96.40	106,976	22,176	21,836
	佐久市	10,342	91.79	857,119	847,333	6	98.86	187,612	△ 14,838	△ 17,304
法 非 適 用	松本市	1,265	100.00	120,694	120,694	2	100.00	——	——	——
	飯田市	5,846	91.62	567,314	521,204	12	91.87	——	——	——
	小諸市	6,113	75.62	539,174	539,174	2	100.00	——	——	——
	駒ヶ根市	10,557	92.21	985,465	985,465	2	100.00	——	——	——
	中野市	10,055	80.37	859,483	816,761	9	95.03	——	——	——
	大町市	910	89.74	94,901	72,237	16	76.12	——	——	——
	飯山市	5,355	91.90	549,670	485,562	14	88.34	——	——	——
	安曇野市	2,821	91.03	239,919	231,537	7	96.51	——	——	——
	立科町	3,285	93.14	289,604	267,728		92.45	——	——	——

(注1) 有収率・施設利用率の左欄は、19市で比較した順位を示す。

(注2) 労働生産性・経営資本経常利益率・自己資本構成比率の左欄は、法適用事業体で比較した順位を示す。

数値は、平成25年度又は平成26年3月31日現在

企業債残高 (千円)	使用料単価 (円/m ³)	汚水処理 原価 (円/m ³)	所属職員数			労働生産性 (千円)	施設利用率 (%)		経営資本 営業利益率 (%)		自己資本 構成比率 (%)		
			損益勘定 (人)	資本勘定 (人)	計 (人)								
7,653,032	183.43	553.72	4	0	4	7	27,268	3	57.27	8	△ 2.23	8	56.87
11,778,700	183.62	209.77	5	0	5	4	76,799	2	57.85	6	△ 1.58	5	63.42
1,114,068	175.36	196.81	1	0	1	6	34,568	13	46.52	7	△ 1.78	7	58.24
5,111,100	202.08	175.75	1	0	1	1	193,774	11	47.70	3	△ 1.05	6	60.77
3,039,070	203.08	190.60	1	0	1	3	99,871	4	55.63	5	△ 1.41	4	63.51
877,803	158.24	189.99	1	0	1	5	62,764	1	66.48	4	△ 1.14	2	77.70
2,606,323	163.97	130.05	1	0	1	2	106,978	9	51.40	2	△ 1.04	3	69.57
1,655,744	221.41	229.74	0	0	0	—	—	5	55.63	1	△ 0.83	1	84.22
—	170.30	253.77	0	0	0	—	—	14	46.23	—	—	—	—
—	199.26	299.41	3	0	3	—	—	12	46.86	—	—	—	—
—	176.67	304.42	3	0	3	—	—	8	52.40	—	—	—	—
—	164.53	217.03	2	0	2	—	—	6	55.47	—	—	—	—
—	191.77	219.34	2	0	2	—	—	15	43.94	—	—	—	—
—	201.21	244.36	0	0	0	—	—	10	48.06	—	—	—	—
—	187.54	213.38	1	0	1	—	—	7	52.82	—	—	—	—
—	201.59	257.90	0	0	0	—	—	16	42.07	—	—	—	—
—	211.68	229.76	1	0	1	—	—	—	52.06	—	—	—	—

3 上下水道指定工事店の状況

(1) 指定工事事業者の推移

指定年月日	給水装置工事事業者			下水道指定工事店			指定工事店計
	新規指定	継続指定	合計	新規指定	継続指定	合計	
平成18年3月6日			275			354	392
4月1日	4	275	279	3	354	357	395
19年4月1日	10	273	283	4	347	351	399
20年4月1日	8	274	282	7	318	325	377
21年4月1日	6	277	283	5	305	310	368
22年4月1日	12	283	295	10	292	302	370
23年4月1日	5	293	298	2	287	289	369
24年4月1日	6	298	304	9	276	285	363
25年4月1日	5	293	298	3	264	267	351
26年4月1日	6	293	299	6	247	253	341

(注) 指定工事店計の欄は、給水装置工事事業者、下水道指定工事店いずれかの指定を受けている者の合計である。

(2) 指定工事事業者指定基準

ア 給水装置工事事業者

[指定の基準]・・・上田市水道条例第5条第2項及び上田市指定給水装置工事事業者規程

(指定の基準)

第3条 管理者は、前条第1項の指定の申請をしたものが次の各号のいずれにも適合していると認めるときは、同項の指定をしなければならない。

- (1) 事業所ごとに第10条第1項の規定により主任技術者として選任されることとなる者を置く者であること。
- (2) 次に定める機械器具を有する者であること。
 - ア 金切りのこその他の管の切断用の機械器具
 - イ やすり、パイプねじ切り器その他の管の加工用の機械器具
 - ウ トーチランプ、パイプレンチその他の接合用の機械器具
 - エ 水圧テストポンプ
- (3) 次のいずれにも該当しない者であること。
 - ア 成年被後見人若しくは被保佐人又は破産者で復権を得ない者
 - イ 法に違反して、刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者
 - ウ 第6条の規定により指定を取り消され、その取消しの日から2年を経過しない者
 - エ その業務に関し不正又は不誠実な行為をするおそれがあると認めるに足りる相当の理由がある者
 - オ 法人にあって、その役員のうちにアからエまでのいずれかに該当する者があるもの

イ 下水道指定工事店

[指定の基準]・・・上田市下水道条例

(指定の基準)

第11条 管理者は、前条第1項の申請をした者が次の各号のいずれにも適合していると認めるときは、同項の指定を行う。

- (1) 第13条第1項の規定により責任技術者として登録を受けた者が1人以上常勤していること。
- (2) 営業に必要な設備及び機材を備えていること。
- (3) 長野県内又は管理者の指定する地域に営業所があること。
- (4) 次のいずれにも該当しない者であること。
 - ア 成年被後見人若しくは被保佐人又は破産者で復権を得ないもの
 - イ 第20条の規定により指定工事店の指定を取り消され、その取消しの日から2年を経過していない者
 - ウ その業務に関し不正又は不誠実な行為をするおそれがあると認めるに足りる相当の理由がある者
 - エ 法人にあっては、その役員のうちにアからウまでのいずれかに該当する者があるもの

表紙: 上下水道局イメージキャラクター「あかりちゃん」

上下水道局では、多くの皆様に親しみを感じていただくため、清流に住むゲンジボタルをイメージしたキャラクターを誕生させました。市民の皆様から御応募いただいた中から選考の結果、「あかりちゃん」と名付けられました。

～プロフィール～

性別年齢 : 不明
性格 : おとなしいが、とにかく明るい
特技 : 皆にすぐ可愛がられること
趣味 : むし暑い日の夜の散歩
夢 : 全ての川や湖がいつまでもきれいなこと
住所 : 上田市内のきれいな某水辺

